

会 議 録

会議の名称		令和5年度第1回つくば市図書館協議会	
開催日時		令和5年（2023年）8月17日 開会 14:00 閉会 16:00	
開催場所		つくば市立中央図書館 2階 集会室	
事務局（担当課）		教育局 中央図書館	
出席者	委員	坏 文雄委員（会長）、鷺田 美加委員、齋藤 てる委員、 鈴木 もえみ委員、清水 智子委員、村上 久美子委員、 分領 信一委員、井上 秀次委員、大越 茂委員	
	その他		
	事務局	吉沼 正美教育局長、柴原 徹館長、沼尻 祐一副館長、 玉木 正徳館長補佐、川田 美紀係長、細田 麻美係長、 岩間 彩主任	
公開・非公開の別		<input checked="" type="checkbox"/> 公開 <input type="checkbox"/> 非公開 <input type="checkbox"/> 一部公開	傍聴者数 0名
非公開の場合はその理由			
議題		令和5年度重点事業等について 令和5年度事業計画について 令和4年度図書館運営上の指標に対する実績評価について 蔵書点検報告について 令和4年度利用者満足度調査について 中央図書館施設改修計画について その他	
会議録署名人		確定年月日	年 月 日

1	開会
2	委嘱状の交付
3	教育長挨拶
4	委員及び職員の紹介
5	会長挨拶
6	議題
7	閉会

<審議内容>

1 開会

○事務局：皆さまお忙しいところお集まりいただきありがとうございます。ただいまから、令和5年度第1回つくば市図書館協議会を開催いたします。会議時間は約2時間を予定しております。私は本日の進行を務めさせていただきます中央図書館副館長の沼尻と申します。どうぞよろしくお願いいたします。

本日の会議は委員11名のうち出席者9名、欠席者2名のため、出席者数が委員の過半数に達しておりますので、つくば市図書館協議会運営規則第3条第2項の規定により、会議が成立しますことを御報告いたします。

また、本日の会議内容につきまして、議事録を作成するにあたり、初めに議事録署名人として、委員名簿の上から鷲田委員と齋藤委員の2名にお願いしたいと思いますよろしいでしょうか。

〔「はい」の発声あり〕

○事務局：はい。よろしくお願いいたします。なお、会議内容を録音させていただき議事録を作成いたしますので、御了承いただけますようお願いいたします。

2 委嘱状の交付

○事務局：続きまして委嘱状の交付に移ります。これまで、学校教育関係者として、つくば市教育委員会の国語研究部長と学校図書館研究部長に委員を委嘱しておりますが、今年度両部長が変更となったことに伴いまして、立川英昭様、近藤恒重様、両名の任を令和5年6月30日付けで解き、新たに2名の方を委員に任命いたします。任期はつくば市図書館条例第3条第5項の規定により、前任者の残任期間となる令和5年7月1日から令和6年6月30日までの1年間となります。

それでは、吉沼教育局長から委嘱状を交付いたします。これからお名前を読み上げますので、恐れ入りますが前にお進みください。

〔委員点呼〕

○事務局：委嘱状を交付させていただきます。

〔委嘱状の交付〕

3 教育長挨拶

○事務局：続きまして、教育局長の吉沼から御挨拶申し上げます。局長お願いします。

〔教育局長挨拶〕

○事務局：ありがとうございました。

4 委員及び職員の紹介

○事務局：続きまして、委員及び事務局職員の紹介に移ります。まず、本日御出席をいただきました委員の皆様から簡単に自己紹介をお願いしたいと思います。その場で結構ですので、坪会長からお席の順番でよろしく願います。

〔委員紹介〕

○事務局：皆様ありがとうございました。続きまして、事務局職員の自己紹介をさせていただきます。

〔職員紹介〕

○事務局：以上となります。どうぞよろしく願いいたします。

5 会長挨拶

○事務局：続きまして、坏会長から御挨拶をいただきたいと思います。坏会長よろしく願いいたします。

〔会長挨拶〕

○事務局：ありがとうございました。

6 議題

○事務局：それでは議事に移りたいと思います。つくば市図書館協議会運営規則第2条第3項の規定により「会長は、協議会を代表し、会務を総理し、会議の議長となる。」とありますので、議事進行につきましては、坏会長にお願いいたします。よろしく願いいたします。

○会長：はい。それでは、議題1 令和5年度重点事業について事務局から説明をお願いいたします。

〔配布資料に基づき事務局説明〕

○会長：はい。ありがとうございました。ただいまの重点事業の説明について御意見、御質問等ありますか。5つ示されました。

○委員：いろいろ多方面にわたりお世話になり、ありがとうございます。1番目の中央図書館の施設改修につきましては、後程詳細なお話があるということで、そのときにまとめてよろしいでしょうか。

○事務局：はい。

○委員：そういうことで、そのときにいたします。

- 会長：それでは、そのほかにございますか。今年度の重点事業について。
- 委員：もう一つ。ロボットによるおはなし会、これはオリヒメさんのことですか。
- 事務局：はい。委員のおっしゃるとおり、ロボットによるおはなし会、オリヒメのことです。今、夏休みに入りまして、今日も午前中に開催させていただきました。
- 委員：時間は決まっているんですか。
- 事務局：木曜日に毎週やっているものは10時30分から、およそ30分ということでしています。
- 委員：それは、広報か何かにはちゃんと書いて、人数制限とか募集とかそういうのは、どのような感じで行っているのですか。
- 事務局：事前の募集は行っておりませんが、当日呼びかけています。
- 会長：はい。2番の研究学園小学校図書室については、3月末にこの委員会で視察しまして、やっぱりよかったですね。見て初めて分かるところもあるので。それからかとりだ交流館については、今日行ってきました。谷田部地区の退職校長会の新規開設の学校の視察がありまして、そこを見に行きながら外から見ただけですが。このコミュニティ棟の方でやっているような、そうかそうかと見てきました。
- それから、5番のロボットによる読書会。これも孫を連れて見に来ました。ああ、なるほどこういう様子でやっているのかと。なかなか子供って面白いんですよ。最初、全然関心ないように向こうを向いているのが、始まるとこうやって見ていて、これが子供の読み聞かせなのかと良い勉強をさせてもらいました。
- 委員：私もアバターの読み聞かせオリヒメを拝見しました。本当にどういうことだろうと思っていたんですけどもすばらしかったです。そしてアバターのしゃべっている人が、実は奈良県の方だったんですね。多分、体の

不自由な方で、直接ページを開いたりできないのかもしれない方なんですけれども、奈良県の方がアバターでつくばのロボットのオリヒメの手を動かしたりして、そして奈良県の方が読み聞かせしたのをアバターの声で動きながら子供たちが聞いているという、とてもすてきなことでした。そして先ほどおっしゃったように、「毎週木曜日来てるよ」という女の子がいて、それで普通にアバターに話し掛けているんですね。そして「○○ちゃん今日も来てくれたの」と普通にアバターと会話をして、そして読み聞かせのときはシーンとして聞くっていうのはすごくすてきだなと思いました。体の不自由な方が、ロボットを通して声で参加できるという、アバターの読み聞かせができるということ。私、生じゃないと伝わらないんじゃないかなって初めは思っていたんですけども、全くそういうことはないんだというのが非常に分かりました。ページを開くのは、その場の図書館のスタッフの方が開いているんですね。ですからこれは、たくさんの保護者の方や、あるいは何かちょっと少し体の不自由な方などの励みにもなるので、もっと見たり体験していただけたらいいかなって強く思いました。毎週木曜日で今日を含めてあと3回ぐらいやるので、時間あったらぜひもう1回見に行きたいなと考えています。以上です。

○会長：はい、ありがとうございました。それでは、ほかになれば資料2の方にいきまして、令和5年度の事業計画の方を事務局からお願いします。

〔配布資料に基づき事務局説明〕

○会長：はい。それでは、令和5年度の事業計画について質問意見等ありましたら、どうぞお願いします。

○委員：お世話になります。ちょっとお聞きしたいというか、興味があるんですけど、最初の図書館重点事業の3番、電子図書館サービスの拡充という説明があり、今までの紙ベースの図書館と電子図書館で使い方が変わってきているという、そういう話をおっしゃっていたかと思うんです。その中

から収集方針を定めていくとあったのですが、今年度の事業計画のところで、それがどこに該当するのかが分からないというのが一つ。

私なんかは60歳手前で、本をここに2週間に1回ぐらいは借りに来るんですけど、紙をめくるといふ行動が何となく好きで、1回電子図書館で本をお借りしたんですけど、どうも合わなかったんです。ある年齢層の部分でそういうことないのかなというような、この収集方針というのは、どういう収集方針を定めるのかなと思っています。意見なんですけどね。

○事務局：収集方針については、今までの書籍中心の収集方針がありますので、それをもとに選書委員会という7名から成るメンバーで、見直しをして、そこに電子書籍の内容も含められるかを今検討しているところになります。

○事務局：私から補足させていただきます。先ほど委員の方から、年齢層の部分というお話がありましたが、当初我々も想定していたのは、タブレットとかスマホを使いこなしている、日常的によく使っている若い世代が多いのかなというふうに想定しておりました。ただ、まだ細かい分析はしていないんですが、結構御高齢の方も使っているという状況が見えてきてまして、その辺も収集方針とかに反映できればいいかなと思っています。あと、もう一つ、紙と電子で違うのは紙の本は買えば、いわゆるこの棚にずっと並べておけるんですけども、電子書籍の場合は大きく2種類ございまして、期間限定、回数限定のものと、ずっとアクセスができます、使えますよという2種類があるので、その辺のバランスをどういうふうにまぜ込めるのか、そのあたりを考えどういうふうにしたらいいのかを今検討しているところになります。あと、国内でも電子書籍が大分増えてきた理由としましては、やはりコロナが後押しをしているというところがあります。当館もそうでしたが、臨時に1か月ほど休館する時期が2回ほどございました。そういったところで非来館型のサービスの一つとして、電子書籍の

サービスが公共図書館の中で増えてきました。そういう背景もありまして、これからつくばとしてはどういう品ぞろえで、どういう電子書籍、電子図書館サービスを、どういうふうに展開していくのかというところも含めまして、今検討しているというところでございます。

○委員：御高齢の方は、字を大きく見られるので電子図書がいいっていう方もいるみたいなんですね。文庫だと字が小さいけど、電子図書だと字を大きくして見られるのが良いという。私より年上の方で、結構それをやってる方がいるので、意外とそういう使いの方もいらっしゃるんだなと。私の周りでは、何人かいらっちゃって、私もびっくりしましたが、そういう使い方もあるんですね。私もまだ目がいいので紙派ですけど。

○会長：それでは資料3の方に移りまして、令和4年度指標に対する実績評価、事務局の方からお願いいたします。

〔配布資料に基づき事務局説明〕

○会長：いっぱいあるので、どこをどう言えばいいのか分からないと思うんですが、どこでもいいですから、意見を述べてみてください。順序立ててなくてもいいですから、もしあれば質問でも結構です。

○委員：いろいろとより良い図書館を考える上で重要なデータになりますので、助かります。ありがとうございます。それで、中央図書館ということで、中央図書館のデータなんだと思うんですが、実際には谷田部とかの図書室のデータはどのような形で反映されているのでしょうか。

この資料をどういう方針で作ってくださっているかに関する質問になります。図書室もとても魅力的で、一番近くの中央図書館以外も快適に使わせていただいているんですけども、このデータの見方についての質問です。

○事務局：資料の所蔵資料点数ですとか、個人貸出件数とかには4交流センター図書室のデータを含めて反映させていただいていますので、そのように

数字を見ていただいてもいいかと思います。

- 委員：つくば市の図書館全館ということで考えてよろしいですか。交流センターも貸出とか返却とか何かできるようなシステムありますが、交流センター等の図書室は入っていないというふうに考えてよろしいですか。
- 事務局：資料の4番には入っていませんので、あと視聴覚資料等の交流センター図書室に蔵書がないものとか、そういったものは入っていないです。参考資料で図書館概要の黄色い冊子があると思うんですけども、そちらを見ていただくと、各交流センター図書室についての実績等も載っていますので、ぜひこちらも見ただければと思います。
- 委員：交流センター図書室の利用実績とか貸出実績は、こちらは黄色い冊子の中で確認すればいいということですね。いわゆる中央図書館とシステムで繋がっている分館を含めた図書のデータがこちらに。
- 事務局：そうです。大きな数字になるんですけど、詳細の場合はより細かい数字が載っていますので、黄色い冊子の方見ていただければと思います。
- 委員：ありがとうございます。それから、土浦であるとか下妻であるとか、水戸の図書館の返却等できますけれども、そういった意味での利用数はこちらにも反映されていますか。
- 事務局：相互貸借サービスということで、4-3が貸出冊数ということになります。
- 委員：相互貸借サービスのこちらの方は、つくば市の図書館以外のものも含まれた冊数であるということでしょうか。
- 事務局：4-3については中央図書館が他の市町村の図書館から取り寄せた本を貸出した冊数になります。
- 委員：分かりました。中央図書館を経由して貸出されたという数字。それでは、実際に市民が土浦の図書館まで行って借りてくるとか、下妻の図書館まで行って借りてくるとか、水戸の図書館まで行って借りてきて、返却だ

け中央図書館でやるというのは入ってないということですか。

○事務局：そういったサービスがないです。相互貸借というサービスはあくまでも図書館の貸出ということになります。図書館を通して他の図書館から取り寄せて貸し出すというものになるので、それ以外の数字は入ってないです。

○委員：分かりました。はい。魅力的な図書館が茨城県にはたくさんありますので、水戸に行ったり土浦に行ったり、そして返却だけ中央図書館っていうのも結構ありますので。この改修に当たりまして、そういった他の図書館で、便利だなと思われるところは、今回この中に反映されてないということなので、あとは議題6のところまで参考までにまとめて述べさせていただきます。

○事務局：はい。補足させていただきます。先ほど委員さんからの土浦と下妻ということで挙げられておりましたが、以前にも御説明、御報告させていただいた土浦市、あるいは下妻市の図書館をつくば市民が行くと、下妻市民と同じように利用させていただけると、その逆ということで、相互に広域利用というのを始めました。つくば市民の方が土浦の図書館に行って、どれだけ利用があったとかというのは我々は把握していない、同様に下妻の図書館の利用についても把握していないというところであります。今後、両館の統計がまとまった段階で、どれぐらいつくば市民の方の御利用もありましたかということは、問い合わせしていきたいと思いますが、今回の報告の中には反映されておりません。以上です。

○委員：要するに相互貸借が一番感謝しておりまして、筑波大学との相互貸借も含めまして、そこが一番関心のあるところですか。

○会長：はい。それでは、そのほかにございますか。お願いいたします。

○委員：御説明いただきありがとうございました。全体を拝見していて、本当に限られた予算、限られた環境の中で、可能な限りの創意工夫がされてい

て本当に市民の皆さんにすばらしい図書館サービスを御提供いただいて、ただただ感謝でございます。私、茨城県の方の図書館協議会の委員も仰せつかっているんですけども、県内全体を拝見したときに本当につくば市が突出して、貸出件数ですとか、その限られた蔵書の中で、どれだけそれが有効に使われているかっていう点において、本当にすばらしいなというふうに思っています。「つくば市ですよね」というふうに言われて、何かすごい、自分が誇らしい委員に参加しているような。そのぐらいにすばらしいので、そういう環境につくばがあるということを、市民の皆さんにもぜひ知っていただきたいなという気持ちがあります。つくば市の中にいると、これが当たり前の環境で、足りないよという声が圧倒的に多いんですけども、こんなにサービスをしていただいている市も、それほどないかなというふうに思いますので、県全体の中でつくばはすごく図書館で読書活動が盛んなんだよねということが共有できるような、例えば展示ですとか、何かの形で自分たちの環境を見直せるような、そういう PR や情報共有していただけたら嬉しいなというふうにまず1点申し上げます。

そして、あとはレファレンスサービスところについてお話したいんですけど、資料4ページの5-1レファレンス受付件数というところで、こちらについてはまだ伸びしろがあるのではないかというような期待がありました。これからの図書館ということを考えたときに、やはり蔵書の充実というところでは、電子図書館ですとかそういったものになかなか紙媒体ではかなわない状況というのが作られている中で、レファレンスサービスというのは本当に図書館ならではのサービスで、すごく大切になると思います。今までも大切ですけども、ますます人とのやりとりで大切になってくる部分だと思うので、こちらはぜひ皆さんにレファレンスサービスがあるよという PR を、初めていらした方にもしていただけたらと思います。今すでに様々な形で、ヨモッカさんの方でもされていると思うんですけども、

やっぱりそのレファレンスサービスを受ける部分で、初めての方ってすごく抵抗があると思いますので、気軽に何かあったら相談してねという、相談を受けられますよ、という空気感を展示ですとか受付なんかで表示していただき、PR していただけたらというふうに思います。

広報にも関わってくるんですが、3 ページの 4 - 9 図書館情報誌の発行というところでヨモッカについて読みました。こちら大人向けのヨモッカと子供向けのヨモッカを楽しみに拝見しております。特にこの夏号は本当に図書館の利用活用ということに特化していて、すごく分かりやすくお話まとめていただいていますので、ここに図書館の人に聞いてみようという記事もありますので、例えばこれを大判のポスタープリントで 1 ページが A 1 サイズになるぐらいの大きな形に印刷し、誰にでも掲示的に読めるような形で掲示していただくと良いかと思います。情報誌をなかなか全員が手に取れる環境ではないかと思うので、そういう形で図書館に出した方が図書館通りかかった方等にも、もっと御覧いただけるチャンスをぜひ作っていただきたい、と同時にそのレファレンスサービスというものがあるよという PR もお母さんを通して皆さんにしていただけたらなというふうに思います。直前で難しいかもしれないですけども、今年はまつりつくばが久しぶりに開催されますけども、毎年まつりつくばで図書館のあたりというのは本当に涼めるスペースとしても、普段図書館にいらっしゃらない方が来館して、涼みながら、こんなところあるんだねって御覧になっているので、そこにこのヨモッカの巨大版が掲示してあったら、こんな広報紙があるのかということで、さらに図書館の活用についても書かれていたら、何かそのあと、まつりつくばが終わった後に図書館に新たに来館していただけるきっかけづくりにもなるのではないかなというふうに膨らましております。もし可能でしたら大版を掲示していただくという形のように、今あるものの中から PR が 2 度 3 度効果的にできるような形というのは、ぜ

ひ検討いただけたらなというふうに思います。どうもありがとうございます。以上です。

○会長：はい。学校ではこういうのは拡大コピーしたりして図書室にあるんですかね。きつとこどもヨモッカは学校に配布されていると思うんですが。

○委員：学校にないです。

○会長：個人には配布していないんですか。

○事務局：こどもヨモッカに関しましては学校を通して3、4年生を対象に配布しております。

○会長：せっかくのいい広報の材料だから、もっと目立つ場所にも置いたらどうだという意見でした。では、次にいってよろしいですか。はい。お願いします。

○委員：4ページの4-1、4-2のところ自動車図書館の利用人数ですとか、貸出冊数とかというのが載ってございますけれども、学校にステーションとして来ることあるかと思うんですね、すべての学校ではありませんが、そういうときに学校さんの方で子供たちへのPRというのをされてらっしゃるのかなあ、というふうに思うことがあるんですね。コロナがあったりで、それができなくても、これからが大事なので、ステーションで学校に来る日があるなんていう場合には、先生方に一言子供たちに声をかけてもらうとか、そういったようなことをしていただくと、やっぱり子供の意識って変わるんですよ。ですから、そういったことをぜひ部長さんであるお2人の校長先生から、校長会等を通して、言っていただけたらなというふうに思っております。

あともう一つですが、5ページの5-2と5-3のところボランティアの登録者数とか、活動者数とありまして、コロナのことがありましたので、何してもリセット・リスタートだと思えますし、私自身もそうなんですけれども、もっと足しげくボランティアをしなければ、したいなという

気持ちはあるんですが、印象なので気のせいかもしれませんが、配架ボランティアで男性の方がすごく目立っているなという感じを受けています。以前と比べて男性の登録者の方が増えたとか、よく活動してくださっているとか、そのようなことは実際にありますか。本当はあんまり男女は関係ないんですけども、以前はあまりなかったかなというふうに思っております。

○事務局：配架ボランティアに関しては、男性が増えたなという印象があります。以前はやはり女性の方が多かったんですけども、男性の方も定期的に本当にたくさん活動していただいています。

○会長：さらに、男性のボランティアが増えてきているし、自然に増えているのかな。この前、私がロボットのおはなし会を見たときも、絵本をめくっているのは男性でしたね。

○事務局：その方はボランティアではなく、職員です。

○委員：ロボットをセッティングするスタッフの方が先週はやっていらして「今週はなんと始まる1、2分前に私がやることになりました。」と。よく分からないのに言ってしまいましたけど、図書館サポーターボランティアも中に入ることがあります。

○会長：分かりました。ほかにありますか。

○委員：私、今月号のヨモッカすごくセンスがいいなと思っているので、そこを何点か言わせていただきたいんですけど、この「シン・図書館活用術」というタイトル、「シン・ウルトラマン」とか、今この「シン」というカタカナが意外とキャッチーなんですよね。ここがまずぱっと目に入ったので、すごくキャッチーなタイトルだなと思います。「シン・何々」というのはすごくはやっているのと、あと1行目の「アナログの聖地のような図書館ですが」というのが、作っている方のものすごく自虐のようだけどすごく誇りが高いような感じがしました。そして、写真もすごく透明感があって、

夏にぴったりで、今回のこの号、特に私すごく気に入っているんですね。でも、このおたのしみ「本占い」がすごくかわいいんですけど、こういうのが大人向けの方であって子供向けの方にないので、子供の方がむしろちょっとシンプルすぎるかなという気持ちがありました。子供の方、表紙だけでも白のところに色を足すとか、もうちょっとカラフルにしてもいいかなっていうのと、子供の方にもこのおたのしみ「本占い」みたいなちょっとクスッと笑えるようなものも、ページサイズが小さいんですが、あると楽しいなって思いました。今月号このヨモッカ、特に気に入っていてセンスがいいなと思ったので、それだけ感想で言わせていただきます。以上です。

○会長：はい、ありがとうございます。自動車図書館が学校に来る日なんていうのは、子供たちはよく覚えているようですね。楽しみにしているから覚えているんですね。思ったより、大人よりも子供たちはよく理解していると感じていました。では、次にいきたいと思います。

○委員：私もこのヨモッカすてきだなと思っていて、ぶんちゃんやしおりんのキャラクター紹介が、右下のところにあるのもこれも改めて分かりやすいと思いました。ついでに、フックン船長が去年か2年前に仲良く一緒にデザインされていたこともあったかと思しますので、それもあってもいいのかなと思いました。

○会長：はい。よろしいですかね。資料4の方に移らせていただきます。蔵書点検結果報告について事務局の方からお願いいたします。

〔配布資料に基づき事務局説明〕

○会長：はい。蔵書点検の報告でした。不明の件数が出ておりましたけれども、御意見はございますか。

○委員：こちらの調査もありがとうございます。不明率が大変低いので、すばらしいなと思っておりますが、これの理由は何かと分析されていますか。

○事務局：不明率の低さについての分析ということでしょうか。

○委員：不明率低くて結構なんですけど、不明があるということについてです。

○事務局：不明資料の多くが利用者による持ち去りであると考えております。

どうして不明になるのかというのは、こちらも分からないところです。特に入口にゲートを設けているわけでもありませんので、持っていかうと思えば持っていかけてしまうということが原因の一つかなとは思いますが。

○会長：これは図書カードに記録して借りていくとか、あるいはその場で記録

して借りていく場合は、不明はないんでしょうから、それ以外は何だっという、閲覧しているうちになくなってしまうということなんですよね。

それを防ぐのは難しいんですよね。以前からこのことは私も申しておりますけども、なかなかゼロにすることは難しいので。他の図書館と比較すると、そんなに多い方ではないということも以前聞いています。かといって、持ち去られていいということではないが、じゃあどうやって対策するかというこれまた難しいんでしょうね。ショッピングで支払いをしないで出るとブザーが鳴るとか、そういう対策もあるんですが、それも莫大な予算がかかると聞いております。館長さん、何かありますか。

○事務局：今、会長の方からありましたように、いわゆる盗難を防ぐ、機械的に

防ぐ手段はあります。IC タグを入れるんですけども、その作業をやるのに、まず一つ費用的な問題があります。もう一つは、その IC タグを貼る作業のために、場合によっては数か月、2～3か月休館にしなければならないという可能性もあります。あと、棚に並んでいる本は休館にすれば我々が作業できるんですけども、お客様が今借りていて御自宅にある本に対してどういうふうに貼っていくかという、そういった問題もあります。そういうことをトータルに考えると、既存の図書館、うちも27万冊ございますが、そういった図書館でIC タグを入れるのは、あまりお勧めできませんというふうに取り扱っている業者が言っていました。新しい図書館であればそれが一斉にできるので、確かに費用対効果から見ても、非常にいいものだ

と思うのですが、既存図書館については、そういった状況からなかなか厳しいのかなというふうに、今のところは思っています。

- 会長：不明率が年々上がっているということではないんですよね。
- 事務局：そうですね。資料4-2の別紙2のところにありますように、不明率で昨年度が0.13で、今年度は0.11ということですので、前年度と比較して極端に増えているという状況ではございません。
- 委員：提案なんですけれども、試みとしてなんですけど、つくば市は教育が世界的にも全国的にも素晴らしいので、この際ゼロ目指してというわけではないですが、借りたものをきちんと返すといったモラルですとか、貸出のモラルやマナーそのあたりを今一度、ヨモッカで生徒さんたちに配布して、図書館教育をきちっとしていき、その際に、図書の貸出、返却モラルを先生方に一緒に御指導していただき、さらに強化していただければ良いと思いました。今、すでに素晴らしいので、さらに強化できれば良いと思いました。
- 会長：はい。そういうことを参考にさせていただいて、次の項目に行きたいと思います。ここは、事務局の方から少し時間を取って説明したいということで、資料5の令和4年度利用者満足度調査結果報告を、事務局の方からお願いします。

〔配布資料に基づき事務局説明〕

- 会長：はい。何ページにもわたっておりますが、すでに目を通してきていると思うので、どこから言っても構いませんから、御意見ありましたらどうぞ。
- 委員：満足度調査も大変参考になります。どうもありがとうございます。この報告書、回答数何人というふうに書いてありますが、どういう方々に調査していただいたか、そのあたりの御説明をお願いいたします。
- 事務局：調査対象者は10歳以上のつくば市立中央図書館の利用者ということ

になっています。調査方法としましては、中央図書館、館内正面入口、中央カウンター及び視聴覚カウンターの3か所に、調査用紙と回収箱を設置しています。

○会長：資料を開いた2ページ目に年齢がありますね。一番を多く答えてくれたのは、40代。次が10代、50代というふうになっていますね。

○委員：質問といたしますか、この調査のアンケートは事前に予告はなく通常行っているのですか。私もこういうものに回答したことがあるんですけども、たまたま行ったときにあるから書いたという感じで、抜き打ちというわけではないんですが、事前にいついつアンケートとりますといった予告等はなかったので。このような期間にアンケートを取るといふように決めるのはどういう基準なんでしょうか。といいますのも、たまたまそこに来る利用者がアンケートを回答しているんですけども、この期間に利用していないと回答できないんですよ。ですので、例えば学校にヨモツカを学校に配布しているように、同じくアンケートを学校にも配布して、先生方や生徒さんにもアンケートを配布するという方法もあるのかなと思いました。今後の参考にしていただければと思います。

○会長：調査期間というのは、1ページの(3)にありますけれども、令和5年3月14日から4月4日、おおよそ例年同じような時期になさっているんですよ。だから、何をやったときにやるというのではなくて、日程をあえて一定にしているんじゃないでしょうか。

○委員：はい。トイレの改修についてです。最後から3番目のページの3つ目、トイレの改修というところで、以前は洋式が少なかったので、洋式を増やしたわけですけども、和式の数が、何個でしたでしょうか。

○事務局：1階女子トイレにつきまして、昨年度改修させていただきました。個室が3つございまして、洋式が一つで、二つが和式でした。和式のトイレにつきましては洋式化したというところでございます。今年度、まだ和

式のところを洋式にいたします。ただ、2階につきましてはきちんと確認はしておりませんが、清掃の方から使っているという状況も見えています。和式の利用もあるというところから、和式を全部洋式にするのではなく、和式を残したほうがいいのかなどというふうにも考えております。ただ2階等の昨年度できなかった部分については今年度、洋式化を一部進めてまいります。

○委員：ぜひ衛生的にも、洋式で直接触れてしまうという部分で、気になさる方もいらっしゃるので、和式のそのあたりの数のバランスというのは、専門家の方とかにも聞いていただいて。やはり和式も大事だなと思いますので、学校等にもありますし、各階の中に和式のトイレを入れていただくようによろしく願いいたします。

○会長：よろしいでしょうか。施設改修計画はまたこのあとにあるので。

○委員：先ほどの資料3指標に対する実績評価にも関わってきますが、サービスについて、満足度について感じたこと申し上げます。先ほどの実績評価の方だと、6ページの7市民満足度に関する指標ということで、利用満足度調査の満足度というのが出ていて、この目標値を当初調査が始まる時に決定したときに80%以上を目標値というふうにされていて、何て志の高いすごい数字だなと思って拝見していたんですが、実際にその数字を上回る実績を示されていて、特に令和4年度は90%の満足度というのは、本当にすごい数字だなというふうに思いました。特にその内訳を拝見してみるとスタッフの対応というところが非常に高評価で、一つ一つの日常の図書館サービスに丁寧に取り組まれている職員の皆様のおかげと感じております。この調査についてはこのまま継続をしていただいて、その動向、現状の把握に役立てるということでぜひ続けていただきたいと思います。同時に、図書館にいらっしゃらない方々に対する図書館への見方ですとか、図書館をなぜ活用しているのか、していないのかというようなところの実態

を調査するために、図書館外でのアンケート調査というのが何かの形で継続して行っていただけると、より今と違う方々が図書館に増えていただく機会の創出になるのではないかなというふうに感じます。単独での調査は難しいかもしれませんが、何か別の教育関係ですとか市民へのアンケート調査に項目を加えていただくような形で、もし図書館についても調査ができるようでしたらぜひ今後御健闘いただければ幸いです。ありがとうございます。

○事務局：ありがとうございます。市の方でも、統計・データ利活用推進室の方で2年に1度、市民満足度調査やっております。そこでは項目がかなり多く多岐にわたりますので、図書館部分はかなり少なくなっているんですけど、そういった形で継続して調査していきたいと思います。あと、先ほど委員さんから御提案がありまして、例えば学校の方にアンケートをお配りしてという御提案があったんですけど、確かに利用されていない方の御意見というのがなかなか拾いきれてないところでもありますので、こういった形でできるのか、そういったところも調査研究しながら、ぜひそういう意見も徴収していきたいと考えております。

○会長：アンケートに関しては学校の子供たちというよりは、一般の方に向けてなんですよね。だから、小学校や中学校の図書館にどうのこうのというよりは、別な方策で注意喚起をしていくことなんでしょうね。以前からこの話は出ていますが、なかなか難しいものがありますよね。

○委員：そういう意味で言うと生涯学習施設というんでしょうか。高齢者向けというか、大人向けの施設ですね。教育委員会の中の図書館なので子供に視線が行ってしまいますけれども、生涯学習という意味で言うと生涯学習施設と連携して行えばそういった形のモラル教育もできるのかなと思います。

○会長：はい、では次に移ります。資料6の中央図書館施設改修計画について、

事務局からお願いいたします。

〔配布資料に基づき事務局説明〕

○会長：はい。結局このアンケートの自由記述意見を見ると、スペースという語彙がいっぱいあるんですね。だから、限られたスペースでリフォームするというのは大変だと思います。全体のスペースが狭いわけだから、工夫してこれからやるんでしょうが。最後に館長さんが言ったように、将来的には全く別の場所へ、全く新しい図書館をとということも希望は捨てないほうがいいですね。それはいつのことになるかは分かりませんが。はい、御意見どうぞ。

○委員：いろいろありがとうございます。今の将来的な話に関して言いますと、生涯学習センターというのがつくば市にはないので、そういった方面で先ほどのヨガやっていたとかいうような話があったので、そのアルスホールも皆さんヨガとか体操とかもやっているかとは思いますが、そういった意味で生涯学習センターという、土浦市も確か図書館の隣にあるかと思うんですけれども、そういった意味での施設があるといいのかなと思います。要するに年齢的には lifelong education ですから、高齢者向けといえますか、そういった部分も含めて。

今、ここ中央図書館に関しては、こちらが中央図書館ですから必要なものをすべてこの中にコンパクトに収めるという作業が必要ですので、そのことに関して申しますと、①のところですが、視聴覚コーナーですのでこういった形で利用者数が増えるような形でレイアウトして下さってありがたいなと思っています。やはり視聴覚コーナーですので全ての机のところに視聴覚機材、視聴覚資料を閲覧できるコーナーにするというのが、やはり常識的に中央図書館であれば必要なのかなと思います。先ほど見てまいりましたけれども、今までの家族、親子でゆったり見られるようなソファというものすてきなものだったわけですが、よくある視聴覚資

料の閲覧コーナーのようにデスクのところに視聴覚資料が閲覧できる設備が整っているものを、限られたスペースで約 20 人分になっていますけども、それぐらいは水戸や土浦や県外の図書館でも通常にあるかと思いますので必要かと思います。それで、椅子に関しては車椅子でも見られるように重い椅子を置いていただくのではなく、パイプイスのような形で自分で取り外せるものの方がいいと思います。それこそ今まではベビーカーで子供を連れてきて、お散歩コースとして楽しんでいただけなんですが、私自身が介護される、高齢者になったときに、視力もしょぼしょぼしてきたときに、視聴覚資料は高齢者の方に好評なので聞いたことあるので、私自身もこういった視聴覚資料を楽しむことになったときに、ここから 2、3 分ですから孫に車椅子を押して連れてきてもらって、もちろん孫も車の運転できるようになるかと思うので、遠くからでも来られるかと思うんですが、やはりなかなか本を読むのも大変だなんてなったときに、こういった視聴覚コーナーで、孫と一緒にではなくても同年代の高齢者の方々も見ているようなところで、私自身もその 1 人として視聴覚資料を楽しむことができれば幸せだなと思いました。よろしくをお願いします。

○会長：はい、だんだん時間が迫ってきていますので、要約して言っていただきたいと思います。はい。お願いします。

○委員：以前、図で言いますと⑦の本棚のあたりにスツールがあったんですけども、それが今はスツールは置いていなくて、スツールがあったときとても便利だなんて思っていたんですけども、改修したときには、そのスツールっていうのはやはり置いていただけないものなんではないでしょうか。

○事務局：今現在は、二つほど置かせていただいております。コロナ前はずっと置いていたんですけども、コロナになってなるべく滞在時間を短くというような社会の風潮がありましたので、我々も滞在時間を短くするために座席を半分減らしたりしたときに、一旦スツールとかを撤去いたしました

たが、今は戻して御利用いただいております。今後ここまで改修が至ったときには、そういうことも含めての御要望を出していきたいなと思います。

○会長：館長さん、おおよそのステップというか、何年度にこんなことして何年度からリフォーム終わって使えるのか、その通りいかないにしても、おおよその流れ教えてもらえますか。

○事務局：まず大きなところで、②のところで中庭にウッドデッキを設けると。それに伴う出入口を設けるということに関しては、今年度設計をいたします。来年度に改修を予定しておりますので、そうしますと今年度の予算要求時期、秋以降になるんですけども、それくらいまでには中身を確定しないといけないということになるかと思います。来年度、その工期についてはどれぐらいかかるのかっていうのは、まだ見えておりません。あとその時期について、これについても未定でございます。今年度については設計と予算要求を行い、来年度改修工事をするという予定で計画しています。

○会長：その設計というのは大きなところは中庭。全体の設計。

○事務局：そうですね。中庭はもちろんですけども、中庭改修に伴う影響のある範囲の改修の設計をいたします。

○会長：令和6年度は、部分的にも使えるところは使える。

○事務局：まとめて一定期間、1か月とか2か月、休館になってしまうと思うんですけども、そこで大掛かりな工事を行いまして、その予定したところは一気にやらないといけないと考えております。

○会長：はい、ほかに何かありますか。お願いします。

○委員：アバターロボットのことなんですけど、このあいだ伺ったときに、この図でいうと⑫の読み聞かせの部屋でやったんですけども、やっぱりこれだと通りがかりの人が、気がついて見るっていうのはなかなかできない場所だなと思いました。入口のところにモニターがあって、こんなアバターロボットやっていますよっていうのは綺麗なスクリーンで告知はあった

んですけれども、気がつかないとなかなかっていうのがあって。息子にこういうところでこう見たのよって言っても、息子もそういうロボットとか興味あるんですけど、その子供たちのいる児童図書のところを歩いて奥の部屋に行って見る勇気は俺にはないって言っていたんで。若い男の子でアバターロボットとかロボットの読み聞かせ興味あっても、やっぱりこの部屋に行く勇気はないって言われたら、そうかなと思ったんですね。図書館ですから静かに本を読みたい方もいらっしゃると思いますけど、そういうアバターロボットの読み聞かせのような特別なことは、何か病院で言うと Pepper 君が玄関先にいるような感じで、こう印象的に出られるように何かできないかなと思うんですけど、そのあたりはいかがですか。通りすがりの人でも何かやっているって思えるように。声を出してしまうから、うるさいという人もいるかもしれないので、そのあたりは難しいなと思うんですけど、すごくいい取り組みなので、この奥まった部屋でやっているのはもったいないなと思ったので、そのあたりはいかがですか。

○事務局：昨年度初めてやったときに、小さいオリヒメちゃんではなく、あともう一つ、例えばレストラン・カフェとかで接客ができるものと二つ用意して、一つはカウンターの脇で図書館の案内をしていただいたんですけど、声とか音がかなり響いてしまうということで、急遽ロビーの方に移動させてそちらで案内をやりました。読み聞かせは小さいやつでやったということがありました。この⑫の位置にあるという、これは今回のアバターロボットのお話し会に限らずですね、部屋の的に空間も狭いし、奥まっていて、出入口に段差があるとかということも、子供の本と図書館の皆さんからも御指摘いただいたりしていて、非常に課題があるかなというふうに考えています。なので、今回できるかどうかは別なんですけど、課題としてとらえておりますので、その辺のお話し室の改修というところも将来的にはやっていかないといけないかなと思っています。これに代わる場所というこ

とになりますと、例えば今この会議を行っているここ2階の集会室とか、そういうお部屋になってしまうと思います。そうすると土日イベント的にやろうとしたときに、土日は学習室として子供さんにこの部屋は御利用いただいているので、そういったところとの絡みもあり、行き着くところが施設が狭い、部屋がないというところになってしまうんです。

○委員：難しいですね。入口の出たところでやってはいけないんですか。ソファとか置いてある、いつもリサイクルの本が置いてあるような、入口のスペース、そこは駄目なんですか。

○事務局：あそのスペースは美術館との共有スペースになっているので、美術館と協議をしてOKですと許可いただければ、できるかと思います。

○委員：オリヒメは、本当に多くの人に見てもらいたいなって強く思っているのです。

○委員：ライブラリーピクニックで5月のときに、外のテントの中で初めてそれをやるということで、通りがかりの人が見かけて、来て座っていただければと。ただ残念ながら大雨だったので、大雨で滝のようにテントの屋根から雨が落ちていっている中で、2組ぐらいの親子の方が最後までその中で縮こまりながら見てくださっていたんです。

○委員：見ていると目が離せなくなりますよね、魅力的で。

○委員：そのときは奈良県から読んでいますと。今日の方は三重県だったんですけど、やっていますっていうことでとても上手でした。

今回はそのおはなし室というかその読み聞かせの部屋でやっていて、確かに小さいんですけど、ただ「いかがですか。」と声をかけながら子供コーナーを回って歩いても、やっぱり興味ない子はないんですね。あと、お母さんはその気なんだけれども、あの部屋に入ることが怖いっていう小さなお子さんもいたりとか。それで私ももっとPRすればいいのにと思っていますが、あまりたくさん来られるとそんなにたくさん入っていただけな

いから、お断りした回もあったんですよね。それから、係長と話したんですけれども、年齢層を区切ることはできないので、乳幼児の方が集まるときもあれば小学生の方がこられることもあって、そうすると対象が違うのでどのような作品を読むかというのはすごく難しくなるっていうのもあるので、PR することが今は難しいということを知っているほどと思って納得したんです。でも、せっかくだからたくさんの人に知って欲しいのと、つくばならではのかななんて思いながら考えております。

○委員：⑪の場所でオリヒメさんできますか。ロボットの読み聞かせ。⑪の子供図書コーナーで普通に母親が子供たちとかお父さんが子供たちにとというのはやっているんですけれども、オリヒメさんはいかがでしょう。

○事務局：うちは扉はないですけどある程度区切られた部屋でおおはなし会をやっておりますけど、図書館によっては、例えば筑西市の図書館さんなんかは、ワンフロアなんですけども子供コーナーのまさに⑪のような位置で、読み聞かせをやっているんですよね。ただ、先ほど申し上げたように違うアバターロボットが館内の案内をしても、声が漏れているというような御意見もあったりして難しいところはあるんですけれども。

○委員：状況に応じて、空いている時間帯とか。

○事務局：1階が子供コーナーで2階が成人コーナーみたいな、フロアで区切られているといいんですけど、フロアで区切るとワンフロアとそれぞれメリットデメリットがあるようでして。

○委員：音が漏れるということに関してなんですけれども、コロナで透明な仕切り板をいろいろなところで置くようになったかと思うんですが、どの程度遮断するあたりが可能かっていうのが、その遮断する物によっていろいろだとは思いますが、そういった読み聞かせみたいな場所であるとかソファのところで、先ほどこの③のところを確認したくて事前に見に行っただんですが、このソファのところもとてもいい雰囲気、ちょうどお知り

合いの方やお友達と座ってゆったりできる良い空間だなという感じがあって、ただ基本は図書館ですから声は出せないのです。またコロナで飛沫の話が出てまいりまして、本当に図書館もいろいろと工夫してくださったと思うんですが、透明シートとかもいろいろあると思うので、そういった仕切りを普段からソファのところに出しておくというのは難しいんでしょうけれども、必要に応じて透明板を持ってきて音を遮断するというか飛沫を遮断するというか。

若干目的が違う部分になるかと思うんですが、例えば高齢者の方々がたくさん来る日とか、読み聞かせを聞きたい子たちがたくさん来る日とか時間帯とか、そういうときには透明板とか透明シートみたいのが自動的に降りてくるみたいなことができないのかなど。音を遮断する能力がどれくらいあるかそういうことは分かりませんが、でもつくばはとにかく全国初、世界初のことをやる場所ですので、せっかく改修するというのであれば、読み聞かせをやるので透明シートみたいな仕切りが降りてきて、SF の映画みたいな話ですが⑪だけ遮断されるというようなのはいかがでしょうか。

⑫にアバターロボットを置くのは場所的にどうかというような御意見がありましたので、アバターロボットを⑪とかに持ってきた場合に、妥当な場所、不可能ではない場所で、ただ、さらに言えば音をなるべく漏れないようにしたいという希望が出てきたわけですので、せっかく改修ということで⑪を透明なガラスで天井から仕切ってしまうとか、音が漏れないようにそこが第2読み聞かせ室的な扱いにしてしまう。段差の工事をするついでに両脇の⑭と⑨⑩のところに天井からガラスを設けてしまって、⑫だけじゃなくて⑪も通常の読み聞かせコーナーとして使えるように透明のガラスで仕切るというのも一つかなと思いました。

○委員：⑫は読み聞かせの部屋なので、自由に出入りしている人はいないんで

すよね。⑪は本もありますから、子供だけだったり、親子だったり、自由にそこに行って読んで、それを楽しんでいる方もいるのに、読み聞かせですからと仕切りをそこに置いてしまうっていうのはどうなのかなっていう感じは受けたんですね。

○委員：私、実はこれについて常々に考えていて、⑪はわざわざ⑫までいなくても読み聞かせをやっている部屋だったんです。私自身が子育てをやっていたときに、子供たちに自分たちが何か読んであげていたところだったんです。読み聞かせ会としてではなくて、仲良しなお母さんたちと順番で読み聞かせをしていた場所だったんですけれども、オリヒメが来るとなったときに問題が起きるのであれば、そういうふうにしてもいいのかなと。また、さらにその飛沫の問題があったので、こういったシート状に囲いがあると小さい子であるとか。

アバターロボットの固定場所が⑫というのは別に構わないんですけど、確かどこか受付にアバターロボットを皆さんに分かるように置いてありますっていうふうに確か書いてあったと思いますので。私はそれでいいのかなと思ったんですが、今、他の委員から御意見があったので。

○会長：いろいろとそういったことを踏まえながら、令和5年度に設計をやり、令和6年度にその初期の改修が始まる方向でいるということですね。またその都度何かあったら言いましょう。一応ここまでに議題が終わったんですが、参考資料のつくば市の図書館概要は読んでくださいということでもよろしいですか。それでは時間になりましたので、今日はフリートークの時間は取れませんでしたので、これで終わりということになります。

最後に一言だけ全てにわたって結構ですから、これで言わせて欲しいということありましたらどうぞ。ただし、要約してコンパクトに要旨を明確にしたいと思います。

○委員：資料4-2 蔵書点検報告書の5不明本のところで、素人なので専門用

語かどうか分からないのですが、開架と書庫というのが出てくるんです。自動車図書館資料というのは理解できるんですが、開架と書庫という違いは何があるんでしょうか。

○事務局：開架というのはどなたでも手に取れる一般フロアのこと、書庫というのは半地下のようになっているところに保管してあり、職員が行って取ってくる場所になる。もし御興味がありましたら、御案内いたします。

○委員：そこでも不明本は出てくるものなのですか。

○事務局：なぜ発生するかと言いますと、利用者の方からの依頼で持ってきて、その場で貸出をすればいいんですけど、後で借りますということで借りずに持って行ってしまうことがあり、それで発生していると思われています。こちらとしてはお名前を書いていただいたり、その場でなるべく貸し出しするようにしているんですけど、ちょっと見てからにしますとか後で借りますという方が結構いらっしゃるんで、それで最終的にあの本今日貸出されなかったというのがあるので、それはどうしても不明にするしかない状況です。2週間ぐらいして借りるのを忘れたということで返していただければいいんですけど、意図的に持ち出そうと思っている方に対してこちらとしては何もできないと状況です。

○委員：分かりました。

○会長：ほかにございますか。よろしいですか。では、館長さんの方から最後何かありますか。今日は、先ほど言ったようにフリートークの時間取れませんでしたのでこれで終わりますので、もし何かありましたらどうぞ。

○事務局：研究学園小学校の図書室等の一般開放。10月1日開始を予定しております。すでに学校も夏休みに入ったということで、図書室での作業をさせていただきました。約3,300冊、中央図書館から配本という形で本を異動しまして、それにつきましては学校開放が始まりましたら一般の方が借りていける本として用意しております。当然、子供さんも平日手に取るこ

とができるようになっております。図書室の設計としては1万冊ぐらい入る棚が用意されているんですが、今回うちが3,300冊、学校さんの方で当初に購入したのが1,300冊ぐらいあるということで、棚だけ見ると空きスペースがあったりして、少ない印象ではあるんですけども、うちとしましても御利用が見込めるようなものを厳選して持っていておりますので、まずはそういった形でサービスを開始したいと考えております。冒頭に局長からもありましたように来年度開校するみどりの南小学校につきましても、研究学園小学校と同じようなサービスができないかということで今準備を進めているところです。今年は3,300冊持ってきましたが、来年度については、それだけ回せる本が中央図書館としてもありませんので、これからになりますけども、新たに予算を要求しましてそういったサービスに充てられるように、資料購入できるように、計画的に進めていきたいなというふうに考えております。以上です。

○会長：はい、ありがとうございました。以上で今日の会議と閉じたいと思います。事務局の方にお返しします。

7 閉会

○事務局：はい。坏会長ありがとうございました。以上をもちまして、令和5年度第1回図書館協議会を閉会いたします。委員の皆さま、お忙しいところ誠にありがとうございました。

令和5年度（2023年度）つくば市立中央図書館重点事業

1 中央図書館の施設改修

市長公約にある「図書館懇話会提言書で示された、公園のように自由な図書館『ふれあいライブラリーパーク』の理念を実現する中央図書館の施設改修」事業について、市民意見を参考にしながら改修計画を策定します。

先行して視聴覚コーナーを改修し、閲覧席の増設及び視聴覚席の設置を行います。

2 サービスポイントの拡充

研究学園小学校図書室を地域に開放し、土曜日、日曜日及び祝日の中央図書館開館日に図書館サービスを提供します。また、かとりだい交流館において、予約図書の出借を行うとともにブックポストを設置します。

3 電子図書館サービスの拡充

令和4年10月に開始した電子図書館サービスの充実を図ります。電子図書館の利用状況を分析し、その収集方針を定め、コンテンツの充実を図ってまいります。

4 自動車図書館サービスの拡充

令和4年度から3台体制で開始した自動車図書館サービスの拡充を図ってまいります。既存ステーションについては、随時見直しを行うとともに、ニーズ調査などを通じて新たなステーションを設定し利用拡大を図ってまいります。

5 読書推進、図書館利用促進に資する活動の実施

ライブラリーピクニックなどのイベントを実施し、読書推進や図書館利用促進に資する活動に取り組んでまいります。

また、図書館利用登録者数の増加を図るために、出張登録を実施します。

令和 5 年度事業計画（事業・業務予定表）

つくば市立中央図書館

月	業 務 予 定			
	管理係	サービス係	広報物	その他
通年	・文書ファイリング ・選書、発注、受入れ	・団体貸出 ・相互貸借 ・インターネット予約による遠隔地貸出サービス（ぶっくびん） ・図書返却事業 ・出前講座 ・館内見学、職場体験受入れ ・不用図書の選定、梱包	・ホームページ掲載（随時）	
4月	・アルス協議会 ・前年度利用統計集計業務	・自動車図書館のステーション増設（5か所） ・小学校等新入生新規カード作成	・「としょかんの本」春号発行	・広報6月号締切り ・5月勤務割振表配付
5月	・アルス協議会 ・新聞廃棄（廃棄年度3・4月分）	・小学校等新入生新規カード作成 ・ライブラリーピクニック（13日・14日） ・インターンシップ受入決定		・広報7月号締切り ・6月勤務割振表配付
6月	・アルス協議会	・中央図書館蔵書点検（6日～9日） ・かとりだい交流館で予約本受取開始（13日） ・ジュニア図書館員募集（20日～7月14日）		・広報8月号締切り ・7月勤務割振表配付 ・特別整理期間（6日～9日）
7月	・アルス協議会 ・新聞廃棄（廃棄年度5・6月分）	・図書館を使った調べ学習講座 ・ジュニア図書館員実施（21日、25日、27日）	・「こどもヨモッカ」第18号発行、小学校配布 ・「としょかんの本」夏号発行	・広報9月号締切り ・8月勤務割振表配付
8月	・アルス協議会 ・第1回図書館協議会 ・アルス屋上改修工事（～2月）	・学校訪問ブックトーク希望校募集 ・インターンシップ受入れ ・中学生職場体験受入れ ・本のふくぶくろ実施（中学生職場体験企画）	・「ヨモッカ」第19号発行、区会回覧 ・「つくば市の図書館概要」発行	・広報10月号締切り ・9月勤務割振表配付
9月	・アルス協議会 ・新聞廃棄（廃棄年度7・8月分）	・各ステーションへ自動車図書館後期日程通知 ・公共施設向け不要図書リサイクル事業		・広報11月号締切り ・10月勤務割振表配付
10月	・アルス協議会	・学校訪問ブックトーク（～12月） ・科学フェスティバル出展（予定）	・「としょかんの本」秋号発行	・広報12月号締切り ・11月勤務割振表配付
11月	・アルス協議会 ・新聞廃棄（廃棄年度9・10月分）	・次年度自動車図書館巡回コース及び日程検討 ・研究学園小学校図書室開放（予定）		・広報1月号締切り ・12月勤務割振表配付
12月	・アルス協議会 ・次年度購入雑誌検討（～3月）	・次年度インターンシップ受入れ決定 ・ぬいぐるみたちのおとまり会	・「こどもヨモッカ」第19号発行、小学校配布	・広報2月号締切り ・1月勤務割振表配付
1月	・アルス協議会 ・新聞廃棄（廃棄年度11・12月分） ・次年度会計年度任用職員募集	・本のふくぶくろ実施（図書館企画）	・「としょかんの本」冬号発行	・広報3月号締切り ・2月勤務割振表配付
2月	・アルス協議会 ・第2回図書館協議会 ・次年度会計年度任用職員選考 ・雑誌配架場所変更 ・次年度雑誌スポンサー募集	・4交流センター図書室蔵書点検（6～9日） ・公共施設向け不要図書リサイクル事業	・「ヨモッカ」第20号発行、区会回覧	・広報4月号締切り ・3月勤務割振表配付 ・特別整理期間（6～9日）
3月	・アルス協議会 ・新聞廃棄（廃棄年度1・2月分） ・利用者満足度調査実施・次年度資料費配分決定	・ファーストブック講座募集、実施 ・小学校等新入生新規カード作成、取りまとめ通知 ・各ステーションへ自動車図書館前期日程通知		・広報5月号締切り ・4月勤務割振表配付

【展示テーマ】・3～5月：君たちはどう生きるか

・6～8月：関東大震災から100年

・9～11月：司馬遼太郎×池波正太郎生誕100年

・12～2月：新書

【図書館おはなし会】・おはなしぶんぶん（赤ちゃん向け）（4月）金曜日・水曜日 各曜日1回ずつ

（5月以降 ※8月は除く）木曜日及び金曜日 2回公演 10：30～10：50、11：00～11：20

【ボランティア活動】

①地域資料ボランティア（毎週水曜日） ②修理ボランティア（毎週火・水曜日） ③音訳ボランティア（月間3回）

④点訳ボランティア（毎月第3木曜日） ⑤配架ボランティア（随時） ⑥児童サービスボランティア（随時）

⑦図書館サポーターボランティア（随時）

⑧おはなしボランティア ・おはなし会（毎週土曜日 第5土曜日がない月は日曜日）2回公演 15：00～15：15、15：30～15：45

・グループスイミー公演 6月24日（土） 11：00～11：45 定員100名

・パネルシアターかくれんぼ公演 7月8日（土） 10：30～11：10 定員100名

⑨地域文化ボランティア ・おとなのためのブックトーク（第3土曜日10：00～）

・本好きのためのゆるっとトークルーム（第1土曜日10：00～）

令和4年度指標に対する実績評価

資料3

指標の目標年度 令和5年度

評価期間 令和3年度～令和5年度

1 市民サービスに必要な資料を確保し、提供することに関する指標（4項目）

No.	目標指標	参考値			目標値	R4年度実績値	達成度	目標値の設定理由
		R2年度実績	R3年度実績	R4年度実績				
1-1	所蔵資料点数	482,244点	483,263点	487,708点	490,000点	487,708点	99.53%	利用者の要望や地域の実情に留意しつつ計画的に多様な所蔵資料の整備を図り、図書館サービスの充実を目指す。
指標の説明	中央図書館(自動車図書館含む。)及びオンラインで結ばれている谷田部・筑波・小野川・荻崎の4交流センター図書室(以下、「4図書室」という。)で所蔵する資料(視聴覚資料・雑誌を含む。)の点数							
評価	司書資格を有する職員で構成する図書選定委員会を毎週開催し、市民からのリクエストも含めた図書の購入について、検討・良質な図書の収集に努めている。中央図書館の所蔵スペースでは、これ以上所蔵資料点数を増やすことが困難であるため、4交流センターや新規サービスポイントへの配置変えを含めて資料の充実を図る。また、令和4年10月から電子図書館サービスを開始したため、電子書籍による資料の拡充も図る。							
1-2	個人貸出冊点数(視聴覚資料含む)	1,236,562点	1,376,860点	1,488,099点	1,450,000点	1,488,099点	102.63%	利用者の多様な要求に応えるよう努め、貸出の増を図り、図書館サービスの充実を目指す。
指標の説明	中央図書館(自動車図書館含む。)及び4図書室での個人への貸出冊点数(団体貸出を除く。)							
評価	令和4年度は新型コロナウイルスの感染拡大防止に伴う臨時休館が発生したことにより、前年度と比べて貸出冊点数は増加し目標値である1,450,000点を達成した。引き続き感染症予防対策及び読書推進、情報発信に努め、サービスの維持向上を図っていく。							
1-3	視聴覚資料貸出点数	52,113点	51,962点	52,270点	85,000点	52,270点	61.49%	視聴覚資料は1点当たりの購入が高額となるため、資料の厳選に努めながら計画的に整備し、貸出の増を図り、図書館サービスの充実を目指す。
指標の説明	CD・DVD・VHSビデオ等の視聴覚資料の貸出件数							
評価	視聴覚資料の貸出は、インターネットによる配信サービス等の影響で年々減少傾向である。「貸出期間を図書資料と同様に2週間にしてほしい」「予約・リクエストの対象に含めてほしい」等の意見も多数寄せられている。視聴覚資料においては1点当たりの購入金額が高価になることから、利用状況等を踏まえながら資料の厳選に努め、資料の充実と有効活用を図りたい。							
1-4	市民一人当たりの貸出点(冊)数	5.1点	5.6点	5.9点	6.0点	5.9点	98.33%	中央図書館と4図書室の連携を図るとともに、自動車図書館を活用し、市民一人当たりの貸出点数の増を図り、市内全域における図書館サービスの充実を目指す。
指標の説明	市民一人当たりに対する中央図書館(自動車図書館含む。)及び4図書室で貸出した資料の点数。(視聴覚資料の貸出、団体貸出及び相互貸借借受貸出等利用者に貸出した全ての点数を9/1現在の常住人口で除して算出する。)							
評価	前年度に比べて増加し目標値に届かなかったものの、98%の水準まで到達している。引き続きサービスステーションの増設や所蔵資料の維持向上に加え、感染症対策も実施していき、利用の増加に努めたい。また、令和4年10月から電子図書館サービスを開始したため、電子書籍による貸出点数の動向も検討していく。							

2 市全体へのサービスに関する指標（10項目）

No.	目標指標	参考値			目標値	R4年度実績値	達成度	目標値の設定理由
		R2年度実績	R3年度実績	R4年度実績				
2-1	新規登録者数	5,190人	5,896人	6,820人	6,500人	6,820人	104.92%	転入者や図書館未利用者等に対するピーアールに努め、登録者数の増を図ることで、市民の図書館活用の促進を目指す。
指標の説明	新たに図書館利用カードを作成した人数							
評価	新規で図書館の利用カードを登録する人数は年々増加傾向にあり、令和4年度は目標値である6,500人を達成した。つくば市が人口増加していることに加え、新型コロナウイルスの感染拡大防止に伴う臨時休館がなかったことや広域利用や電子図書館サービスの開始、BMステーションの見直し等により登録者数が増加したと考える。							

No.	目標指標	参考値			目標値	R4年度実績値	達成度	目標値の設定理由
		R2年度実績	R3年度実績	R4年度実績				
2-2	図書館利用カード利用者数	25,964人	28,342人	30,326人	33,500人	30,326人	90.53%	利用しやすい図書館運営に努め、より多くの市民に図書館資料の提供を図ることで、市民の図書館活用の促進を目指す。
指標の説明	1年間に図書館利用カードを利用して資料を借りた人数(一人の人が複数回利用した場合は一人と計算。団体貸出除く)							
評価	図書館利用カードを利用者数も年々増加傾向にはあるが、目標値の達成には至らなかった。利用しやすい図書館運営に努めるとともに、図書館利用につながるイベント等を実施し、多くの市民の図書館活用の促進を図っていききたい。新型コロナウイルスの影響で開催を見送っていたイベント等も状況を見ながら順次開催していきけるよう努める。また、電子図書館サービスが開始したことにより、来館が困難な利用者にも図書館活用の促進を図っていききたい。							
2-3	来館者数	393,375人	435,851人	478,875人	580,000人	478,875人	82.56%	利用しやすい図書館運営に努め、来館者数の増を図ることで、市民の図書館活用の促進を目指す。
指標の説明	中央図書館に来館した延人数							
評価	来館者数についても年々増加傾向にはあるが、目標値の達成には至らなかった。来館を促すようなイベントや貸出利用者の増加につながる企画を検討したり、利用者アンケートの結果等から改善できるところを改善していくことで来館者の増加を図りたい。							
2-4	年間開館日数	266日	260日	285日	293日	285日	97.27%	利用しやすい図書館運営に努め、年間の開館日数を増やすことで、市民の図書館利用の促進を目指す。
指標の説明	中央図書館の年間開館日数							
評価	令和4年度は9月末にシステムの更新に伴う臨時休館があったため、目標値の達成には至らなかった(年度当初は予定していた6月の特別整理期間を開館する等の対応はとっていた。)。今後、館内整理日や祝日開館の振替休館等の見直しにより、開館日数の確保に努める。							
2-5	年間開館時間	2,423時間	2,450時間	2,687時間	2,760時間	2,687時間	97.36%	利用しやすい図書館運営に努め、年間の開館日数を増やすことで、市民の図書館利用促進と利便性の向上を目指す。
指標の説明	中央図書館の年間開館時間							
評価	前年度と比較して、開館日数の増加に伴い年間開館時間は増加した。年間開館時間については、目標値に対して97%と概ね達成している。							
2-6	返却窓口への返却冊数	116,371冊	92,810冊	108,755冊	130,000冊	108,755冊	83.66%	ブックポスト等を設置することで利用者の利便性の向上に努め、市民の利用の促進を目指す。
指標の説明	4図書室、並木・広岡・大穂・豊里、島名交流センター及び市役所のブックポストに返却されて回収した図書資料の冊数							
評価	返却窓口への返却冊数について、令和3年度に減少した本の返却数と比較すると増加しているものの、令和2年度までの水準まで回復していない。ブックポストでの返却に制限(紙芝居・視聴覚資料は不可)があることや返却処理するまでに時間を要する等の課題がある。今後、サービスステーションの位置や配送頻度についても引き続き検討していき利用者の利用向上を図る。							
2-7	予約件数	131,036件	167,352件	180,325件	120,000件	180,325点	150.27%	図書館窓口のほか図書館ホームページからのインターネット予約の充実を図るとともに、4図書室等を活用した迅速な予約本の貸出サービスに努め、市民の利用の促進を目指す。
指標の説明	中央図書館、4図書室、自動車図書館及びホームページからの予約受付件数							
評価	予約件数は年々増加傾向にあり、目標値に対して150%の達成率となった。令和4年度は新たに予約本の受取館(サービスポイント)として本庁舎のコミュニティ棟を増設したことや、Webサービス利用においてパスワード設定の年齢制限を撤廃したことでこれまでインターネットから予約申込ができなかった児童の予約件数の増加等が要因として考えられる。令和5年度にはさらにかかりたい交流館や研究学園小・中学校図書室もサービスポイントを設置し、利用者の利便性の向上に努める。							

No.	目標指標	参考値			目標値	R4年度実績値	達成度	目標値の設定理由
		R2年度実績	R3年度実績	R4年度実績				
2-8	図書館ホームページへのアクセス件数 (簡易検索の検索件数)	371,691件	445,989件	580,449件	390,000件	580,449件	148.83%	図書館ホームページの内容充実と分かりやすい情報発信に努め、市民の理解と関心を高めることで、市民の利用の促進を目指す。
指標の説明	図書館ホームページへのアクセス件数(OPACのトップページで検索をした件数であり、詳細検索等は含まない。)							
評価	ホームページでの検索数も年々増加傾向にあり、目標値に対して148%の達成率となった。令和4年度は新たに電子図書館サービスが開始となったことや、Webサービス利用においてパスワード設定の年齢制限を撤廃したこと等、インターネットからできるサービスが拡大されたことでホームページへのアクセスが増加したと考えられる。引き続き、読書推進活動から本への興味を増し、アクセス件数の増につなげたい。							
2-9	図書館情報紙の発行回数	7回	8回	7回	6回	7回	116.67%	図書館情報紙「ヨモッカ」「こどもヨモッカ」など、市民に親しまれる情報紙を定期的に発行し、市民の理解と関心を高めることで、市民の利用の促進を目指す。
指標の説明	市民向けの図書館情報紙の発行回数							
評価	令和4年度の実績として、図書館情報誌「ヨモッカ」及び「こどもヨモッカ」を年1回ずつ発行したほか、所蔵資料の紹介紙「としよかんの本」を4回、テーマ別の図書資料や探し方を紹介する情報紙「パスファインダー」を1回発行し(改訂含む)、計7回の発行となった。引き続き、市民に親しまれる情報紙を定期的に発行し、図書館の利用促進を図っていききたい。							
2-10	ボランティア等によるおはなし会等開催回数	23回	104回	152回	100回	152回	152.00%	定期的におはなし会等を開催することで、本に関する関心を高め、読書推進を目指す。
指標の説明	図書館ボランティア・図書館職員が実施したおはなし会・ブックトーク・パネルシアター等の開催回数							
評価	令和4年度は新型コロナウイルス感染症の影響で1回あたりの参加者の人数を制限しながらの開催ではあったが、概ね年度当初の予定通りにおはなし会を実施することができ、目標値の達成に至った。今後も状況を策を踏まえた上で、定期的なおはなし会を実施していき、図書館の利用促進につなげていききたい。また、科学技術推進課と協力してオリヒメによる遠隔地からのおはなし会の実証実験も実施した。							

3 高齢者、障害を持った方及び外国の方へのサービスに関する指標 (5項目)

No.	目標指標	参考値			目標値	R4年度実績値	達成度	目標値の設定理由
		R2年度実績	R3年度実績	R4年度実績				
3-1	大活字本の所蔵冊数	2,735冊	2,784冊	2,797冊	2,700冊	2,797冊	103.59%	大活字本の計画的な蔵書に努め、高齢の方、障害を持った方の図書館サービスの充実を目指す。
指標の説明	大活字本の所蔵冊数							
評価	計画的に購入を行い所蔵数を増やすことで、目標を達成することができた。読書バリアフリー法が制定され、今後更なる高齢化が見込まれるため、引き続き計画的な蔵書構築に努める。							
3-2	大活字本の貸出冊数	1,960冊	2,275冊	3,028冊	2,300冊	3,028冊	131.65%	資料の充実とともに、大活字本コーナーの分かりやすい表示やピーアールに努め、高齢の方や障害を持った方の図書館サービスの充実を目指す。
指標の説明	大活字本の貸出冊数							
評価	年々大活字本の貸出冊数は増加傾向にあり、令和4年度は目標値の2,300冊を達成した。蔵書冊数が増えることで、利用者のニーズに合った本を所蔵でき貸出冊数の増加にもつながるため、引き続き資料の質を高めていく。また、電子図書館サービスにおいては活字のサイズを自身で変更することが可能なため、電子図書館サービスの機能の周知等も図っていききたい。							
3-3	外国語資料の所蔵点数	11,046冊	11,028冊	11,208冊	11,000冊	11,208冊	101.89%	外国語資料の蔵書数を増やし、多言語サービスの向上を図り、図書館サービスの充実を目指す。
指標の説明	英語、中国語、韓国語をはじめ、中央図書館で所蔵する児童書及び一般書の外国語資料数							
評価	計画的に購入を行い所蔵数を増やすことで、目標を達成することができた。つくば市は、外国人居住者の割合が全国平均よりも高く、今後も外国人居住者数は増加する見込みである。引き続き、外国語資料の購入予算増や積極的な寄贈の受入れにより、所蔵点数を増やしていききたい。							

No.	目標指標	参考値			目標値	R4年度実績値	達成度	目標値の設定理由
		R2年度実績	R3年度実績	R4年度実績				
3-4	外国語資料の貸出冊数	10,672冊	10,858冊	11,206冊	8,500冊	11,206冊	131.84%	外国語資料コーナーの配架や外国語による掲示等の充実に努め、外国語資料の貸出増を図り、図書サービスの充実を目指す。
指標の説明	外国語資料の年間貸出冊数(児童書と一般書の合計)							
評価	所蔵外国語資料の充実を進めており、外国語資料の貸出点数については増加傾向にある。令和4年度も、目標値に対して131%の達成率となっている。今後も外国語資料を紹介するイベントの企画など、維持向上を図りたい。							
3-5	点字資料の所蔵点数	237点	238点	246点	230点	246点	106.96%	点訳資料の作成及び収集に努め、所蔵点数増を図り、障害を持った方への図書館サービスの充実を目指す。
指標の説明	中央図書館のボランティアが作成した点字資料と購入した点字資料の所蔵点数							
評価	点訳ボランティアによる点字資料の作成を行い、目標を達成することができた。引き続き、点訳ボランティアによる点字資料の作成を継続的に支援するとともに、計画的に点字資料を購入することでサービスの充実を図りたい。							

4 地域支援サービスに関する指標 (3項目)

No.	目標指標	参考値			目標値	R4年度実績値	達成度	目標値の設定理由
		R2年度実績	R3年度実績	R4年度実績				
4-1	自動車図書館利用人数	12,712人	9,677人	12,316人	14,000人	12,316人	87.97%	自動車図書館のステーションの見直しや蔵書の充実を図り、適切な周期の運行に努め、図書館サービスの充実を目指す。
指標の説明	自動車図書館(3台)の年間貸出人数							
評価	令和4年度から3号車の運行を開始し、新たなサービスステーションの増設等、市内全域への図書館サービスの提供を図ってきた。目標値の達成には至っていないが、令和3年度に減少した利用者数が、令和4年度には令和2年度の水準まで回復した。市域が広いつくば市において自動車図書館は重要な役割を担っており、引き続きステーションの見直しや自動車図書館の情報発信やイベントへの出展を企画していき、更なるサービスの拡充を図りたい。							
4-2	自動車図書館貸出冊数	44,415冊	37,244冊	43,337冊	55,000冊	43,337冊	78.79%	自動車図書館資料の充実に努め、利用者のニーズに応じた本を積載して各ステーションを巡回することで、貸出冊数の増を図り、図書館サービスの充実を目指す。
指標の説明	自動車図書館(3台)での年間貸出冊数							
評価	自動車図書館の利用者と同様、令和3年度に減少した利用者数が、令和4年度には令和2年度の水準まで回復した。利用者層をニーズを反映させた図書の購入、積載図書の選書を行うなど資料の充実を図り、自動車図書館での貸出増加を図りたい。							
4-3	相互貸借貸出冊数	575冊	1,862冊	1,743冊	1,500冊	1,743冊	116.20%	利用者が求める資料で中央図書館が所蔵していない資料について、他の図書館と連携して利用者に提供することで、図書館サービスの充実を目指す。
指標の説明	中央図書館が所蔵していない資料で、利用者の希望を受けて他市等の図書館から借受けをして貸出しを行った資料冊数							
評価	前年度と比較して相互貸借の貸出冊数はわずかに減少したものの目標値は達成している。今後も、利用者が希望する資料にアクセスできるよう、制度の周知を図るとともに、潜在的ニーズも掘り起こせるよう情報提供をしていきたい。							

5 課題解決支援、ボランティアとの連携、利用者の情報活用能力に関する指標 (3項目)

No.	目標指標	参考値			目標値	R4年度実績値	達成度	目標値の設定理由
		R2年度実績	R3年度実績	R4年度実績				
5-1	レファレンス受付件数	1,389件	1,440件	1,458件	1,800件	1,458冊	81.00%	レファレンス能力の向上とレファレンスサービスのピーアールに努め、利用者の情報や知識の獲得、調査研究や調べ学習を支援し、図書館サービスの充実を目指す。
指標の説明	中央図書館カウンター、電話、メール等でのレファレンス受付件数							
評価	前年度より微増はしているが、目標値には達しなかった。引き続きサービスの周知を図るとともに、研修への参加や職場内研修の時間を確保し、職員のレファレンス能力の向上を図ることで図書館サービスの充実に努めたい。							

No.	目標指標	参考値			目標値	R4年度実績値	達成度	目標値の設定理由
		R2年度実績	R3年度実績	R4年度実績				
5-2	ボランティア登録者数	150人	166人	156人	160人	156人	97.50%	より多くの方にボランティア活動に参加していただけるよう、多様なボランティア活動の機会や場所を提供を図る。また、ボランティアの協力を得ることで図書館サービスの充実を目指す。
指標の説明	中央図書館の各ボランティアに登録した人数(一人で複数のボランティアに登録している場合は一人で算出)							
評価	前年度からわずかに減少し、目標値をわずかに下回った。平日活動のグループが多いため、就業している方や学生等は継続的な参加ができず登録できない状態にある。新たなボランティア活動の検討や活動日の見直しを図ることで、ボランティアの活動の幅を広げていきたい。また、配架ボランティアにおいては、毎年登録者が集中し年度の途中で募集を締め切っている状況である。できるだけ多くの方が活動できるように工夫を考えていく。							
5-3	ボランティア活動者数	1,006人	1,557人	1,906人	2,200人	1,906人	86.64%	多様なボランティア活動の機会や場所を提供することで、市民のボランティア活動を支援するとともに、ボランティアの協力を得ることで図書館サービスの充実を目指す。
指標の説明	中央図書館の各ボランティア活動に参加した年間延人数							
評価	令和4年度は、おはなし会を実施できたことで活動者数の増加につながったが目標には達しなかった。新型コロナウイルス感染症の影響で見送っていたイベント等の実施やボランティアの活動方法の検討を行うことで、更なるボランティアの協力を仰ぐ体制を構築し、図書館サービスの充実を図りたい。							

6 学校図書館等支援に関する指標 (6項目)

No.	目標指標	参考値			目標値	R4年度実績値	達成度	目標値の設定理由
		R2年度実績	R3年度実績	R4年度実績				
6-1	団体貸出利用回数	103回	120回	126回	150回	126回	84.00%	団体貸出についてのピーアールに努め、学校や公共機関等の団体貸出利用団体の増を図り、学校等における読書活動の推進を目指す。
指標の説明	団体貸出を利用した団体の延利用回数							
評価	年々増加傾向にあるものの団体貸出利用回数は目標に達しなかった。読み聞かせ用の本等を個人のカードで貸りていく利用者も一定数居ることから団体貸出サービスの周知とともに、団体貸出が利用しやすいような環境を整えていく。							
6-2	団体貸出図書冊数	6,912冊	7,212冊	8,187冊	15,000冊	8,187冊	54.58%	団体貸出についてのピーアールに努め、学校や公共機関等への団体貸出しの利用増を図り、学校等における読書活動の推進を目指す。
指標の説明	保育所・幼稚園・小学校・児童クラブ・福祉施設等の団体に対するの図書貸出冊数(1回につき、1団体300冊まで3か月間貸出可)							
評価	貸出冊数についても、利用回数と同様に年々増加傾向にあるものの目標に達しなかった。魅力ある図書を揃えるとともに、選書、貸出、返却のしやすい環境作りを進めていく。							
6-3	社会科見学等の図書館見学受入回数	0回	4回	6回	10回	6回	60.00%	読書活動の普及を図るため、受入体制の充実に努め、読書活動の推進を目指す。
指標の説明	保育所・幼稚園・小学校・義務教育学校・特別支援学校等による図書館見学の受入回数							
評価	新型コロナウイルス感染症の影響で各施設においても実施の可否を検討している段階である。学校等と協議を行い、実施が可能な場合には、積極的に受入れを行ってはいるが、目標には達しなかった。引き続き、積極的に受入れを行っていくことで読書推進を図りたい。							
6-4	職場体験学習受入人数	0人	0人	16人	40人	16人	40.00%	読書活動の普及を図るため、図書館の受入体制の充実に努め、読書活動の推進を目指す。
指標の説明	8年生(中学2年生)を対象とした職場体験の場として、中央図書館で図書館業務の体験学習を受け入れた生徒の人数							
評価	令和2・3年度は新型コロナウイルス感染症の流行により職場体験の受入れを中止していたが、令和4年度は学校等と協議を行い、実施が可能な場合は、スケジュール調整を行い受入れを行った。各施設においても実施の可否を検討している段階であり、目標値の達成には至らなかった。今後は、積極的に受け入れをすることで読書推進を図りたい。しかしながら、図書館の利用者数が多くなる夏休み期間に依頼を受けることが多く、人員配置等は課題である。							

No.	目標指標	参考値			目標値	R4年度実績値	達成度	目標値の設定理由
		R2年度実績	R3年度実績	R4年度実績				
6-5	ジュニア図書館員 受入人数	0人	0人	0人	75人	0人	0.00%	読書活動の普及を図るため、図書館の受入体制の充実に努め、読書活動の向上を目指す。
指標の説明	4年生から6年生を対象にした図書館の業務体験事業に参加した児童数							
評価	新型コロナウイルス感染症の流行により、令和2・3年度に引き続きジュニア図書館員の実施を見送った。職場体験学習の受入れと同様に、職員の人員配置が課題である。							
6-6	学校図書館 司書教諭補助員等の 研修参加人数	0人	49人	51人	170人	51人	30.00%	学校図書館との連携を強化し、司書教諭や司書教諭補助員の研修等を支援することで、読書活動の推進を目指す。
指標の説明	学校図書館司書教諭補助員及び司書教諭等を対象に実施される研修の延参加人数							
評価	令和3年度は対面ではなく、参加者に研修動画を視聴してもらうという形式で行った。研修の開催場所や時間等の課題もあるため、今後も対面以外の方法を検討しながら多くの方が参加できるよう工夫しながら実施していきたい。							

7 市民満足度に関する指標（1項目）

No.	目標指標	参考値			目標値	R4年度実績値	達成度	目標値の設定理由
		R2年度実績	R3年度実績	R4年度実績				
7-1	利用満足度調査の満足度	85%	78%	90%	80%以上	90%	113.00%	図書館利用者の満足度を把握し、利用者の声をサービスに反映させることで図書館運営の向上を目指す。
指標の説明	年度末に、中央図書館内で利用者に対して図書館サービスについて満足しているかどうかの調査を実施する。							
評価	「満足」と「やや満足」を合計した割合は、前年度から増加し目標を達成した。令和4年10月のシステム更新で電子図書館サービスの開始やWebサービス利用においてパスワード設定の年齢制限を撤廃したことで、図書館のホームページに関する満足度の向上につながった。図書館の改修に向けた利用者の意見や要望、その他自由記入欄への意見や要望をもとに改善できるところから改善していき、今後も利用者目線での図書館サービス向上を目指していきたい。							

令和4年度 交流センター図書室蔵書点検報告書

1 概要

目的：筑波・小野川・谷田部・荃崎の各交流センター図書室に所蔵している全資料について点検を行い、資料の実際の所蔵状態を確認する。

実施期間：令和5年2月7日（火）～令和5年2月10日（金）

点検対象：筑波・小野川・谷田部・荃崎各交流センター図書室 全資料

点検者：交流センター図書室業務委託職員（※別紙1参照）

点検機器：ハンディターミナル 28台

[内訳] 中央図書館用 21台、自動車図書館用 3台、
各交流センター図書室用 4台

2 作業内容

2月7日： 筑波・谷田部・荃崎交流センター図書室の資料読み取り作業

2月8日： 小野川交流センター図書室の資料読み取り作業

2月9～10日：筑波・小野川・谷田部・荃崎各交流センター図書室エラーリスト資料・不明候補資料の検索、配送・返却本の返却処理、開館準備

3 蔵書点検結果

不明資料点数：令和4年2月から令和5年2月までの間に不明となった資料の点数（※別紙2参照）

筑波交流センター図書室	6点	（所蔵総数：33,765点）不明率：0.02%
小野川交流センター図書室	15点	（所蔵総数：32,087点）不明率：0.05%
谷田部交流センター図書室	10点	（所蔵総数：49,597点）不明率：0.02%
荃崎交流センター図書室	10点	（所蔵総数：51,546点）不明率：0.02%

日 時	作 業 内 容				システム の使用
	谷田部	筑波	小野川	荃崎	
7日 (火)	蔵書点検 (読み取り作業) 9名 Porty 9台	蔵書点検 (読み取り作業) 5名 Porty 5台	カーペット清掃	蔵書点検 (読み取り作業) 6名 Porty 6台	使用可 データの送信をする時は 中央に連絡を入れる
	16:30頃 当日分データ送信			当日分データ送信	
8日 (水)	蔵書点検 (読み取り作業) 9名 Porty 9台	蔵書点検 (予備日) — Porty 5台	蔵書点検 (読み取り作業) 6名 Porty 6台	蔵書点検 (読み取り作業) 6名 Porty 6台	使用可 データの送信をする時は 中央に連絡を入れる
	16:30頃 当日分データ送信	読み取り作業が発生した 場合、当日分データ送信	当日分データ送信	当日分データ送信	
9日 (木)	不明本リスト の照合	不明本リスト の照合	不明本リスト の照合	不明本リスト の照合	使用可 データの送信をする時は 中央に連絡を入れる
	※ 蔵書点検が終了し次第、開館準備に移る。				
	返却処理・開館準備	返却処理・開館準備	返却処理・開館準備	返却処理・開館準備	
10日 (金)	開館準備	開館準備	開館準備	開館準備	使用可 データの送信をする時は 中央に連絡を入れる
	※ Portyは中央図書館へ返却(1台は各図書室で保管)。				

蔵書点検結果

1 不明資料点数

筑波交流センター図書室	6点	(所蔵総数:33765点)	不明率:0.02%
小野川交流センター図書室	15点	(所蔵総数:32087点)	不明率:0.05%
谷田部交流センター図書室	10点	(所蔵総数:49597点)	不明率:0.02%
茎崎交流センター図書室	10点	(所蔵総数:51546点)	不明率:0.02%

2 分類別不明率

資料区分	筑波			小野川			谷田部			茎崎		
	点検対象 (A)	不明資料 点数 (B)	不明率 (B/A) %									
一般図書	12,426	4	0.03	14,014	7	0.05	24,294	6	0.02	27,622	8	0.03
文庫	1,491	0	0.00	2,397	0	0.00	4,836	2	0.04	4,586	1	0.02
コミック	1,357	0	0.00	57	0	0.00	2,010	0	0.00	1,548	0	0.00
参考図書	151	0	0.00	220	0	0.00	441	0	0.00	447	0	0.00
地域資料	999	1	0.10	351	0	0.00	972	0	0.00	703	0	0.00
市政資料	422	0	0.00	345	0	0.00	336	2	0.60	306	0	0.00
児童図書	8,198	1	0.01	7,324	5	0.07	8,122	0	0.00	9,567	0	0.00
紙芝居	628	0	0.00	246	0	0.00	344	0	0.00	261	0	0.00
絵本	6,691	0	0.00	6,432	1	0.02	7,311	0	0.00	5,654	1	0.02
外国語一般	0	0	0.00	0	0	0.00	0	0	0.00	1	0	0.00
外国語児童	1	0	0.00	0	0	0.00	0	0	0.00	0	0	0.00
外国語絵本	11	0	0.00	43	1	2.33	180	0	0.00	28	0	0.00
視聴覚資料	7	0	0.00	0	0	0.00	0	0	0.00	0	0	0.00
雑誌	514	0	0.00	474	0	0.00	440	0	0.00	505	0	0.00
児童雑誌	869	0	0.00	184	1	0.54	311	0	0.00	318	0	0.00
合計	33,765	6	0.02	32,087	15	0.05	49,597	10	0.02	51,546	10	0.02

交流センター図書室別年度比較(1)

▲…昨年度より増

1筑波交流センター図書室

資料区分	令和4年度			前年度比	令和3年度			令和2年度			平成31年度			平成30年度		
	点検対象(A)	不明資料点数(B)	不明率(B/A)%		点検対象(A)	不明資料点数(B)	不明率(B/A)%									
一般図書	12,426	4	0.03	▲ 0.03	12,750	0	0.00	12,907	1	0.01	12,488	8	0.06	12,906	1	0.01
文庫	1,491	0	0.00	0.00	1,470	0	0.00	1,569	0	0.00	1,535		0.00	1,553	0	0.00
コミック	1,357	0	0.00	0.00	1,320	0	0.00	1,311	0	0.00	1,245		0.00	1,259	0	0.00
参考図書	151	0	0.00	0.00	153	0	0.00	155	2	1.29	218		0.00	225	1	0.44
地域資料	999	1	0.10	▲ 0.10	981	0	0.00	961	0	0.00	942	1	0.11	906	1	0.11
市政資料	422	0	0.00	0.00	385	0	0.00	321	0	0.00	278	7	2.52	271	0	0.00
児童図書	8,198	1	0.01	▲ 0.01	8,148	0	0.00	8,285	1	0.01	8,143		0.00	8,380	2	0.02
紙芝居	628	0	0.00	0.00	623	0	0.00	618	0	0.00	598		0.00	598	0	0.00
絵本	6,691	0	0.00	0.00	6,473	0	0.00	6,206	0	0.00	6,049	1	0.02	5,897	2	0.03
外国語一般	0	0	0.00	0.00	0	0	0.00	0	0	0.00	0		0.00	0	0	0.00
外国語児童	1	0	0.00	0.00	1	0	0.00	1	0	0.00	1		0.00	1	0	0.00
外国語絵本	11	0	0.00	0.00	11	0	0.00	11	0	0.00	11		0.00	11	0	0.00
視聴覚資料	7	0	0.00	0.00	7	0	0.00	7	0	0.00	7		0.00	7	0	0.00
雑誌	514	0	0.00	0.00	511	0	0.00	502	0	0.00	492		0.00	490	0	0.00
児童雑誌	869	0	0.00	0.00	821	0	0.00	772	0	0.00	726		0.00	678	2	0.29
合計	33,765	6	0.02	▲ 0.02	33,654	0	0.00	33,626	4	0.01	32,733	17	0.05	33,182	9	0.03

交流センター図書室別年度比較(2)

▲…昨年度より増

2小野川交流センター図書室

資料区分	令和4年度			前年度比	令和3年度			令和2年度			平成31年度			平成30年度		
	点検対象(A)	不明資料点数(B)	不明率(B/A)%		点検対象(A)	不明資料点数(B)	不明率(B/A)%									
一般図書	14,014	7	0.05	0.01	14,251	8	0.06	14,279	8	0.06	14,328	6	0.04	14,428	45	0.31
文庫	2,397	0	0.00	0.00	2,344	0	0.00	2,248	0	0.00	2,133	1	0.05	1,981	0	0.00
コミック	57	0	0.00	0.00	53	0	0.00	17	0	0.00	13		0.00	0	0	0.00
参考図書	220	0	0.00	0.00	220	0	0.00	233	1	0.43	235		0.00	235	0	0.00
地域資料	351	0	0.00	0.29	341	1	0.29	331	0	0.00	327		0.00	322	1	0.31
市政資料	345	0	0.00	0.00	326	0	0.00	254	0	0.00	227	2	0.88	194	1	0.52
児童図書	7,324	5	0.07	▲ 0.04	7,091	2	0.03	7,014	2	0.03	6,875		0.00	6,684	3	0.04
紙芝居	246	0	0.00	0.00	246	0	0.00	241	0	0.00	222		0.00	222	0	0.00
絵本	6,432	1	0.02	0.00	6,309	1	0.02	6,290	2	0.03	6,211	2	0.03	6,115	0	0.00
外国語一般	0	0	0.00	0.00	0	0	0.00	0	0	0.00	0		0.00	0	0	0.00
外国語児童	0	0	0.00	0.00	0	0	0.00	0	0	0.00	0		0.00	0	0	0.00
外国語絵本	43	1	2.33	▲ 2.33	38	0	0.00	38	0	0.00	39		0.00	39	0	0.00
視聴覚資料	0	0	0.00	0.00	0	0	0.00	0	0	0.00	0		0.00	0	0	0.00
雑誌	474	0	0.00	0.00	488	0	0.00	480	0	0.00	473		0.00	447	1	0.22
児童雑誌	184	1	0.54	▲ 0.54	162	0	0.00	150	0	0.00	139		0.00	127	0	0.00
合計	32,087	15	0.05	▲ 0.01	31,869	12	0.04	31,575	13	0.04	31,222	11	0.04	30,794	51	0.17

交流センター図書室別年度比較(3)

▲…昨年度より増

3谷田部交流センター図書室

資料区分	令和4年度			前年度比	令和3年度			令和2年度			平成31年度			平成30年度		
	点検対象(A)	不明資料点数(B)	不明率(B/A)%		点検対象(A)	不明資料点数(B)	不明率(B/A)%									
一般図書	24,294	6	0.02	0.00	23,819	7	0.03	24,061	1	0.00	24,196	7	0.03	24,195	15	0.06
文庫	4,836	2	0.04	▲ 0.02	4,886	1	0.02	5,102	0	0.00	5,021	2	0.04	4,915	9	0.18
コミック	2,010	0	0.00	0.00	1,995	0	0.00	2,099	0	0.00	2,238	2	0.09	2,174	3	0.14
参考図書	441	0	0.00	0.23	441	1	0.23	442	0	0.00	442		0.00	444	0	0.00
地域資料	972	0	0.00	0.00	966	0	0.00	974	0	0.00	967		0.00	957	1	0.10
市政資料	336	2	0.60	▲ 0.60	324	0	0.00	270	0	0.00	227		0.00	194	0	0.00
児童図書	8,122	0	0.00	0.03	7,923	2	0.03	7,713	1	0.01	7,538	2	0.03	7,333	2	0.03
紙芝居	344	0	0.00	0.00	345	0	0.00	340	0	0.00	315		0.00	310	0	0.00
絵本	7,311	0	0.00	0.00	7,023	0	0.00	6,652	0	0.00	6,532		0.00	6,368	0	0.00
外国語一般	0	0	0.00	0.00	0	0	0.00	0	0	0.00	0		0.00	0	0	0.00
外国語児童	0	0	0.00	0.00	0	0	0.00	0	0	0.00	0		0.00	0	0	0.00
外国語絵本	180	0	0.00	0.00	180	0	0.00	180	0	0.00	180		0.00	111	0	0.00
視聴覚資料	0	0	0.00	0.00	0	0	0.00	0	0	0.00	0		0.00	0	0	0.00
雑誌	440	0	0.00	0.00	431	0	0.00	444	0	0.00	441		0.00	430	0	0.00
児童雑誌	311	0	0.00	0.00	289	0	0.00	266	0	0.00	242		0.00	139	0	0.00
合計	49,597	10	0.02	0.00	48,622	11	0.02	48,543	2	0.00	48,339	13	0.03	47,570	30	0.06

交流センター図書室別年度比較(4)

▲…昨年度より増

4荃崎交流センター図書室

資料区分	令和4年度			前年度比	令和3年度			令和2年度			平成31年度			平成30年度		
	点検対象(A)	不明資料点数(B)	不明率(B/A)%		点検対象(A)	不明資料点数(B)	不明率(B/A)%									
一般図書	27,622	8	0.03	0.00	27,984	9	0.03	28,814	1	0.00	29,858	22	0.07	29,979	13	0.04
文庫	4,586	1	0.02	0.02	4,637	2	0.04	4,820	1	0.02	4,734	3	0.06	4,634	8	0.17
コミック	1,548	0	0.00	0.00	1,527	0	0.00	1,509	0	0.00	1,318	0	0.00	1,317	0	0.00
参考図書	447	0	0.00	0.00	513	0	0.00	518	1	0.19	728	0	0.00	726	0	0.00
地域資料	703	0	0.00	0.00	701	0	0.00	694	2	0.29	667	1	0.15	658	3	0.46
市政資料	306	0	0.00	0.27	367	1	0.27	316	1	0.32	224	0	0.00	191	0	0.00
児童図書	9,567	0	0.00	0.02	9,241	2	0.02	9,153	2	0.02	8,716	3	0.03	8,805	3	0.03
紙芝居	261	0	0.00	0.00	261	0	0.00	259	0	0.00	239	0	0.00	240	0	0.00
絵本	5,654	1	0.02	▲0.02	5,476	0	0.00	5,265	1	0.02	5,022	1	0.02	4,931	0	0.00
外国語一般	1	0	0.00	0.00	0	0	0.00	0	0	0.00	0	0	0.00	0	0	0.00
外国語児童	0	0	0.00	0.00	0	0	0.00	0	0	0.00	0	0	0.00	0	0	0.00
外国語絵本	28	0	0.00	0.00	28	0	0.00	59	0	0.00	59	0	0.00	59	0	0.00
視聴覚資料	0	0	0.00	0.00	0	0	0.00	0	0	0.00	0	0	0.00	0	0	0.00
雑誌	505	0	0.00	0.00	517	0	0.00	513	0	0.00	520	1	0.19	528	3	0.57
児童雑誌	318	0	0.00	0.00	294	0	0.00	270	0	0.00	226	0	0.00	226	0	0.00
合計	51,546	10	0.02	0.01	51,546	14	0.03	52,190	9	0.02	52,311	31	0.06	52,294	30	0.06

令和5年度中央図書館蔵書点検報告書

1 実施概要

目的：中央図書館及び自動車図書館に所蔵している全資料について点検を行い、資料の実際の所蔵状態を確認する。

実施期間：令和5年6月6日（火）～令和5年6月9日（金）

点検対象：中央図書館の全資料（視聴覚資料も含む）

自動車図書館の全資料

点検者：中央図書館職員・会計年度任用職員（※別紙1参照）

点検機器：ハンディターミナル 33台

[内訳] 中央図書館用30台、自動車図書館用3台、

2 作業内容

6月6日：中央図書館 書架・書庫点検

自動車図書館 車内・書庫点検

6月7日：中央図書館 書庫・書架（視聴覚含む）点検

6月8日：エラーリスト資料・不明候補資料の検索

6月9日：ブックポスト返却資料及び配送資料の返却処理、開館準備

3 蔵書点検結果

不明資料点数：令和4年10月1日から令和5年6月9日までの間に不明となった資料の総数（別紙2参照）

348点（所蔵冊数：316,277点）不明率：0.11%

[内訳] 中央図書館資料 296点（所蔵総数：275,808点）不明率：0.11%

自動車図書館資料：52点（所蔵総数：40,469点）不明率：0.13%

データ抽出の都合上、不明資料点数には、貸出処理が漏れたまま館外に持ち出された資料や、意図的に持ち去られた資料の数が含まれる。これらの資料が返却された場合には自動的に不明資料でなくなるため、点検日から日数が経過するにしたがって不明資料点数は徐々に減少していく。

例年、蔵書点検に伴う長期休館の前には特別貸出期間を設定しており、通常より貸出期間を長く設けている。今回の不明資料点数の集計は7月上旬時点で行っており、長期休館前に貸し出された資料は、貸出処理が漏れてしまったものも含めておおよそ返却された状態と思われる。

4 過年度の点検結果との比較

平成30年度から令和4年度までの点検結果との比較及び検討を行う。

① 不明資料点数について

通常、蔵書点検は毎年6月に実施している。しかし、令和2年度は新型コロナウイルス感染拡大防止のために休館対応を行ったため、未実施である。また、令和4年度は、図書館システムの更新に伴う休館の時期に合わせて9月に点検を実施している。

蔵書点検の対象期間が年度によって異なるため、不明資料点数を単純に比較することはできない。点検結果を年度間で比較するため、各年度の対象期間に合わせて月平均不明資料点数を算出した（別紙3参照）。各年度の対象期間は下記のとおりである。

- ・平成30年度：平成29年10月から平成30年6月（9か月間）
- ・令和元年度：平成30年7月から令和元年6月（12か月間）
- ・令和3年度：令和元年7月から令和3年6月（24か月間）
- ・令和4年度：令和3年7月から令和4年9月（15か月間）
- ・令和5年度：令和4年10月から令和5年6月（9か月間）

各年度の不明資料点数を図1に示す。本年度の不明資料点数は348点であり、令和4年時の403点より55点下回った。

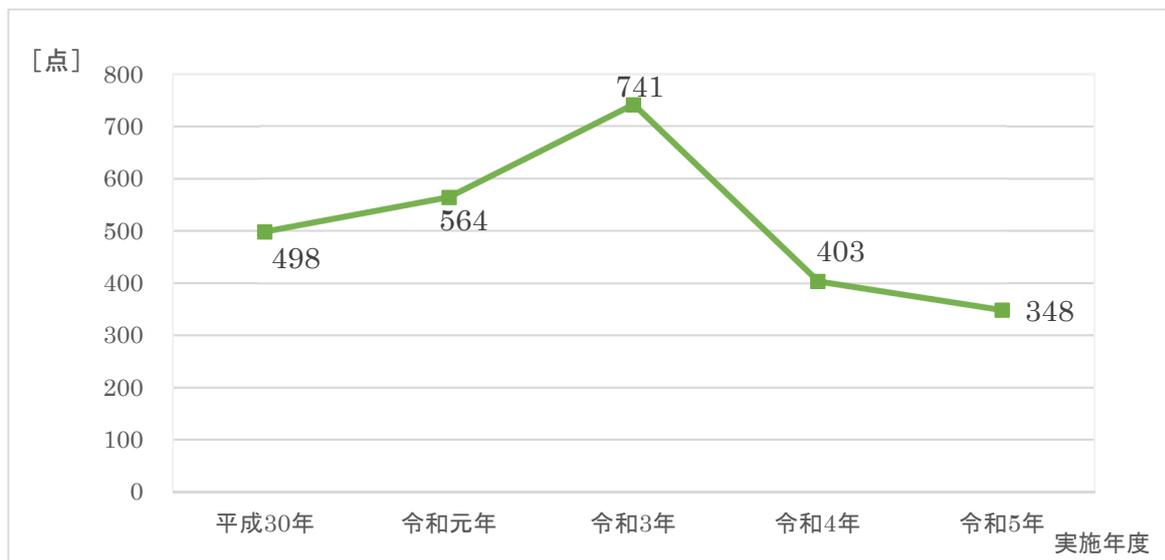


図1 各年度の不明資料点数 ※令和2年度は未実施

各年度の月平均不明資料点数を図2に示す。今回の蔵書点検の対象期間における月平均不明資料は38.7点であり、令和4年度の26.9点より約12点上回った。平成30年度以降の月平均不明資料点数としては平均的な数値と言える。

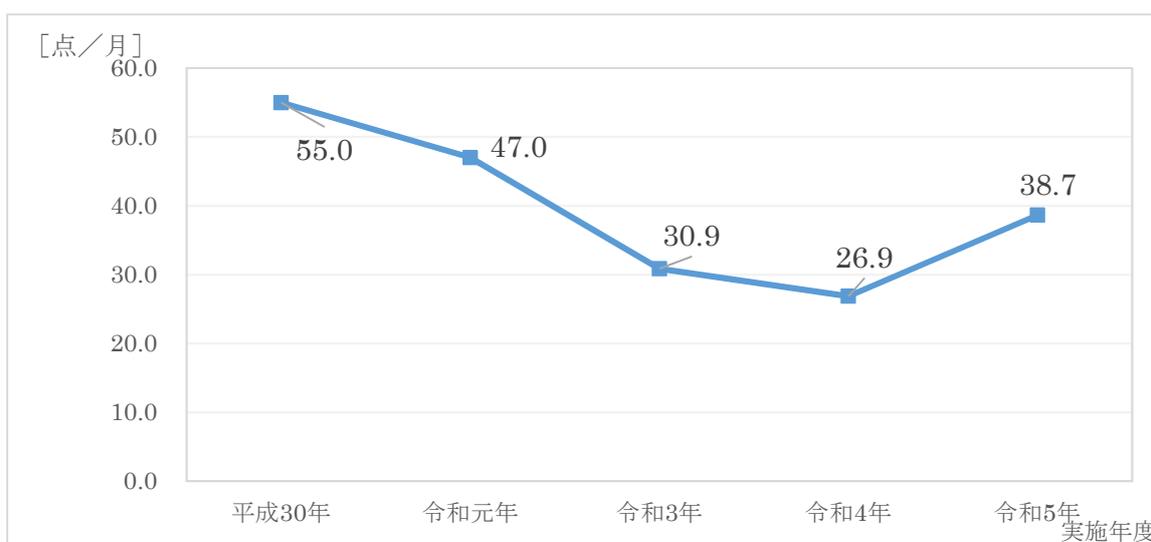


図2 各年度の月平均不明資料点数 ※令和2年度は未実施
※小数第2位を四捨五入

② 資料区分ごとの不明資料点数の増減について

別紙2より、前回点検時と比較して特に不明率が増加しているのは「参考図書」及び「雑誌」である。参考図書は0.24%、雑誌は0.16%増加した。他区分についてはおおよそ例年どおりの数値である。

5 不明本の対策について

蔵書点検の結果から、不明となる資料が開架に多かった点（不明資料348点中、開架246点、書庫50点、自動車図書館資料52点だった）を踏まえると、不明資料の多くは利用者による持ち去りによるものと考えられる。当館では、持ち去りが多いと思われるジャンル及びシリーズの資料を書庫で保管したり、人気の高い文庫やコミックなどの資料を職員が目につきやすいカウンターの前に配置したり、人気のある雑誌の最新号をカウンター内で保管するなどの対策をとっている。また、利用者へのモラルやマナー向上の契機となることを期待して、蔵書点検の結果を中央図書館のホームページに掲載している。

根本的に持ち去りをなくすためには、ICタグ及びBDSの導入が案として挙げられる。しかし、現在のシステムですぐに運用できるものではないため、システム変更の時期に合わせて今後検討する必要がある。

自動車図書館車内及び書庫に関しても、リサイクル事業などを活用して適宜資料の入替えを行い、保管場所の確保や所在管理の徹底をしていく。

月 日	時 間	作 業 内 容	職 員 動 員 数
9月27日	8:30～9:30	ブックポスト返却資料の回収・分類	26名
	9:30～10:00	蔵書点検の説明、蔵書点検機器の操作方法の説明	26名
	10:00～13:00	自動車図書館車内 蔵書点検	6名
	10:00～15:00	自動車図書館書庫 蔵書点検	6名 + 6名(自動車図書館車内から合流)
	10:00～16:30	中央図書館書庫 蔵書点検	10名 (絵本側:5名 雑誌側:5名)
	10:00～16:30	中央図書館書架 蔵書点検	4名
	16:30～17:00	ブックポスト返却資料の回収・分類	6名
	8:30～17:00	システム処理	1名
9月28日	8:30～9:30	ブックポスト返却資料の回収・分類	26名
	9:30～13:00	中央図書館視聴覚棚 蔵書点検	3名
	9:30～14:00	中央図書館書庫 蔵書点検	10名 (絵本側:5名 雑誌側:5名)
	9:30～16:30	中央図書館書架 蔵書点検	8名 + 10名(中央図書館書庫から合流) 3名(中央図書館視聴覚棚から合流)
	16:30～17:00	ブックポスト返却資料の回収・分類	6名
	8:30～17:00	システム処理	1名
9月29日	8:30～9:30	ブックポスト返却資料の回収・分類	19名
	9:30～11:30	自動車図書館車内・書庫、中央図書館書架・書庫 エラー本搜索	19名
	11:30～14:30	自動車図書館車内・書庫、中央図書館書架・書庫 不明候補資料搜索	7名
	14:30～17:00	開館準備	-
	8:30～17:00	システム処理	1名
9月30日	8:30～9:30	ブックポスト返却資料の回収・分類	19名
	9:30～15:30	ブックポスト返却資料・配送資料の返却処理・配架	19名
	9:30～17:00	開館準備	-

蔵書点検結果

令和5年7月現在

1 不明資料点数

348点(所蔵総数:316,277点) 不明率:0.11%

【内訳】

・中央図書館資料:296点(所蔵総数:275,808点) 不明率:0.11%

・自動車図書館資料:52点(所蔵総数:40,469点) 不明率:0.13%

2 分類別不明率

(1)中央図書館

資料区分	点検対象 (A)	不明資料点数 (B)	不明率 (B/A)%	令和 4年度	前回点検と の比較
一般図書	134,002	190	0.14	0.16	0.02
文庫	17,706	20	0.11	0.21	0.10
ヤング (コミック, 文庫含む)	6,491	4	0.06	0.16	0.10
参考図書	5,838	22	0.38	0.14	▲ 0.24
地域資料	4,958	5	0.10	0.16	0.06
市政資料	1,947	3	0.15	0.10	▲ 0.05
教科書	361	1	0.28	0.28	0.00
児童図書	41,970	5	0.01	0.07	0.06
紙芝居	1,841	1	0.05	0.22	0.17
絵本	25,275	3	0.01	0.02	0.01
外国語一般	7,589	6	0.08	0.16	0.08
外国語児童	1,773	1	0.06	0.00	▲ 0.06
外国語絵本	1,722	3	0.17	0.00	▲ 0.17
視聴覚資料	13,194	0	0.00	0.00	0.00
雑誌	8,167	31	0.38	0.22	▲ 0.16
児童雑誌	2,974	1	0.03	0.03	0.00
合計	275,808	296	0.11	0.13	0.02

(2)自動車図書館

資料区分	点検対象 (A)	不明資料点数 (B)	不明率 (B/A)%	令和 4年度	前回点検 との比較
一般図書	14,134	19	0.13	0.11	▲ 0.02
児童図書	26,335	33	0.13	0.15	0.02
合計	40,469	52	0.13	0.13	0.00

(3)雑誌について

盗難、切抜きの多発する一部の最新号は、書架に置かず中央カウンターで管理している。
カウンター保管：6種(総雑誌タイトル:213種)

蔵書点検結果 年度別比較表

資料区分		令和5年度			令和4年度			令和3年度			令和2年度			令和1年度			平成30年度		
		点検対象 点数	不明資料 点数	不明率 (%)															
中央 図書館	一般図書	134,002	190	0.14	136,327	214	0.16	136,943	278	0.20	0	0	0.00	137,981	272	0.20	138,379	257	0.19
	文庫	17,706	20	0.11	17,049	36	0.21	16,046	212	1.32	0	0	0.00	15,708	32	0.20	15,195	48	0.32
	ヤング (コミック・文庫)	6,491	4	0.06	6,825	11	0.16	6,717	19	0.28	0	0	0.00	8,699	50	0.57	8,552	24	0.28
	参考図書	5,838	22	0.38	5,816	8	0.14	5,765	16	0.28	0	0	0.00	5,772	16	0.28	5,820	2	0.03
	地域・市政資料 ※1	6,905	8	0.12	6,849	10	0.15	6,599	3	0.05	0	0	0.00	6,296	9	0.14	6,139	1	0.02
	教科書	361	1	0.28	361	1	0.28	419	0	0.00	0	0	0.00	361	3	0.83	362	0	0.00
	児童図書 ※2	69,086	9	0.01	67,866	36	0.05	65,763	65	0.10	0	0	0.00	63,578	75	0.12	63,043	26	0.04
	外国語一般	7,589	6	0.08	7,513	12	0.16	7,447	15	0.20	0	0	0.00	7,486	14	0.19	7,350	4	0.05
	外国語児童 ※3	3,495	4	0.11	3,366	0	0.00	3,156	7	0.22	0	0	0.00	2,892	10	0.35	2,682	0	0.00
	視聴覚資料	13,194	0	0.00	13,014	0	0.00	13,623	1	0.01	0	0	0.00	13,448	2	0.01	13,247	6	0.05
	雑誌 ※4	11,141	32	0.29	11,844	21	0.18	11,071	19	0.17	0	0	0.00	10,949	53	0.48	10,870	41	0.38
合計	275,808	296	0.11	276,830	349	0.13	273,549	635	0.23	0	0	0.00	273,170	536	0.20	271,639	409	0.15	
自動車 図書館	一般図書	14,134	19	0.13	14,656	16	0.11	14,340	29	0.20	0	0	0.00	13,543	7	0.05	13,807	14	0.10
	児童図書	26,335	33	0.13	26,173	38	0.15	27,586	77	0.28	0	0	0.00	26,347	21	0.08	27,075	75	0.28
	合計	40,469	52	0.13	40,829	54	0.13	41,926	106	0.25	0	0	0.00	39,890	28	0.07	40,882	89	0.22
全資料合計		316,277	348	0.11	317,659	403	0.13	315,475	741	0.23	0	0	0.00	313,060	564	0.18	312,521	498	0.16
月平均 不明資料点数			38.7			26.9		30.9			-			47.0			55.3		

※1 地域・市政資料：地域資料と市政資料を合わせて算出した数値

※2 児童図書：児童図書と紙芝居と絵本を合わせて算出した数値

※3 外国語児童：外国語児童と外国語絵本を合わせて算出した数値

※4 雑誌：雑誌と児童雑誌を合わせて算出した数値

令和 4 年度つくば市立中央図書館 利用者満足度調査報告書

1 実施について

(1) 調査の目的

中央図書館における利用の実態や満足度を把握し、今後の図書館運営に生かすため、利用者満足度調査を実施した。

(2) 調査対象者

10 歳以上のつくば市立中央図書館利用者

(3) 調査期間

令和 5 年（2023 年）3 月 14 日（火）～4 月 4 日（火）

※ 3 月 20 日（月）、21 日（火）、27 日（月）、4 月 3 日（月）を除く 18 日間

(4) 調査方法

調査期間中、中央図書館内正面入り口、中央カウンター及び視聴覚カウンターの 3 か所に調査用紙と回収箱を設置。

(5) 有効回答数

133

2 調査結果概説

回答者数は、令和元年度からそれ以前の人数の半数程度に落ち込んでいる。今回も回答者数が伸びなかったことから、アンケートの実施期間を1週間延長することで回答数を確保した。

ここ数年の調査で、当館では、図書館の中で本や雑誌を読んだり勉強や調べものをしたりするなど滞在を目的とする利用者の数は減少してきており（問1）、館内での滞在時間も短くなってきている（問2）。このような傾向は今回の調査でも見られ、特に滞在時間については、1時間以内と回答した人が8割に達している。しかしながら、前年度と比較して「30分～1時間」の割合が37%から30%に減少し、「1時間～2時間」の割合が9%から16%に増加した。コロナウイルスの影響で長時間の利用を控えていた利用者が、再び利用するようになってきたことが要因になったと考える。

図書館サービスの満足度については、項目によって程度に差はあるものの「満足」と「やや満足」を合わせた割合が前年度と比較してほぼ同水準の結果となった（問5、問6）。しかしながら、ホームページに対する満足度については変化が大きく、前年度と比較して「満足」「やや満足」の割合が55%から65%に増加し、「やや不満」「不満」の割合が20%から10%程度に減少した。利用した人（「わからない」と回答した人を除いた場合）の中では「満足」「やや満足」を合わせた割合は70%から85%程度に増加した。令和4年10月に図書館情報システムの更新を実施しホームページやWebサービスの改善（電子図書館サービスの開始や子供のWebサービス開始）を行った結果、利用者満足度の向上につながったものと考えられる。

また、今回の調査では中央図書館の施設改修に向けて市民の意見を収集するため、改修に対する要望の項目を設けた（問7）。以前から課題となっている閲覧スペース（学習スペース）の増設、図書資料の収蔵スペースの増設、トイレの改修を希望する意見が多数寄せられた。その他にも改修の要望を多数収集することができたので、各意見を検討していき施設の改修計画に反映していくことで利用者の満足度の向上に努めていく。

最後に、解答用紙の最後に自由記入欄を設けている（問8）。図書館の管理運営やサービスに関して「不満」や「やや不満」の要因となっている意見を多数収集することができた。これらの意見をもとに改善できるところから改善していき、利用者の皆様に満足していただけるようなサービスの提供を目指して図書館運営を行っていく。

3 調査結果

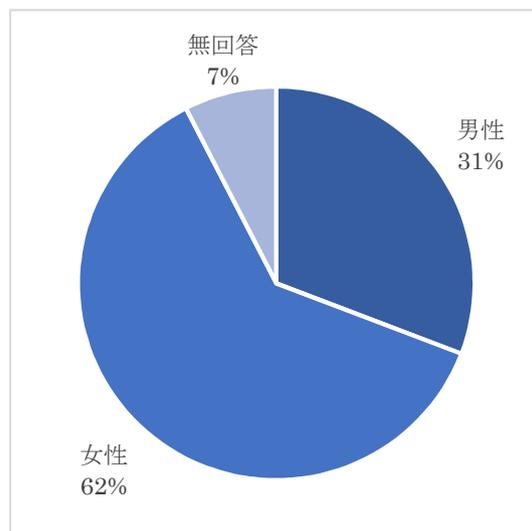
(1)回答者の属性

ア 性別

(人)

	令和3年度	令和4年度
男性	48	41
女性	94	82
無回答	3	10
合計	145	133

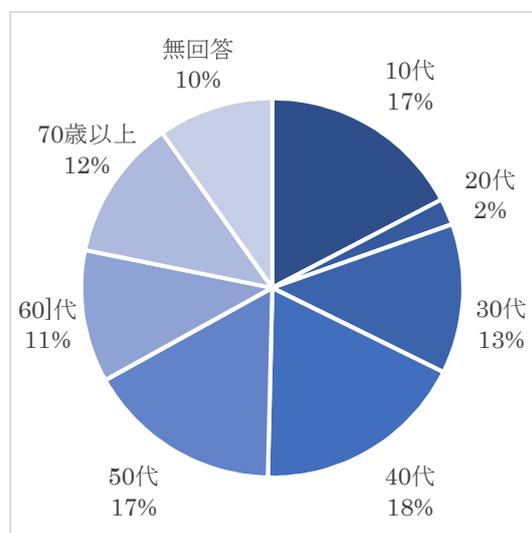
男女比率は前年度と比較してほとんど変化はなかったが、無回答と回答した人の割合が微増している。

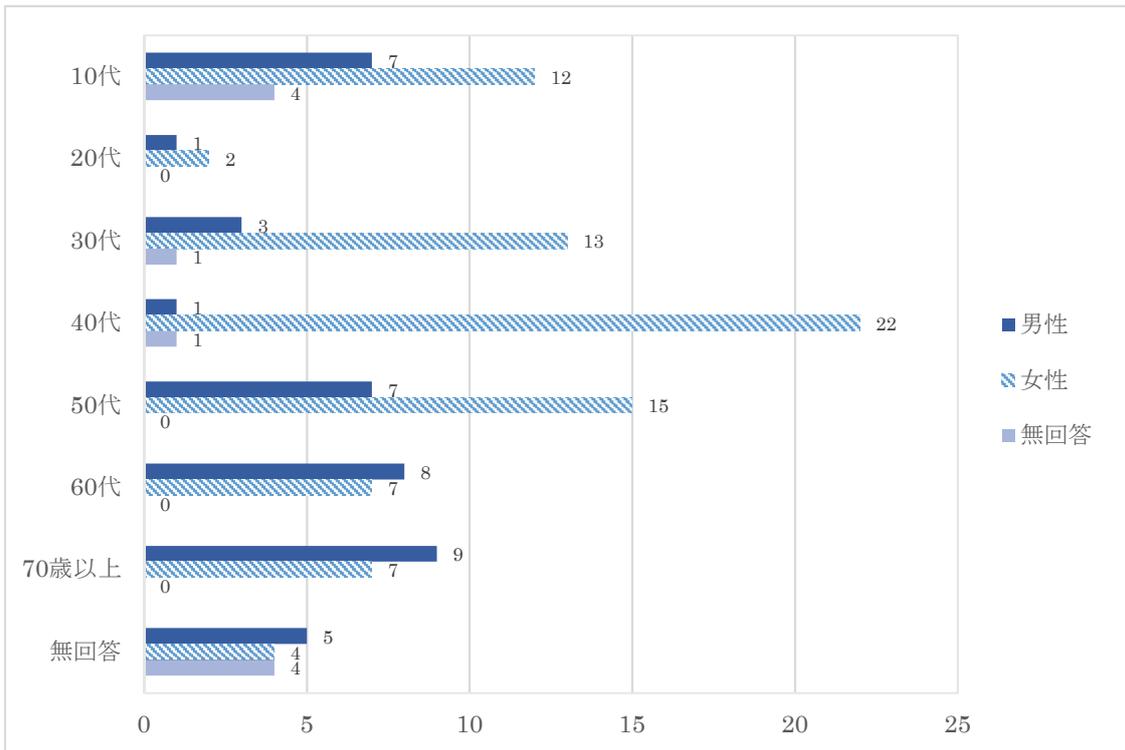


イ 年齢

(人)

	令和3年度	令和4年度
10代	22	23
20代	5	3
30代	24	17
40代	31	24
50代	27	22
60代	11	15
70歳以上	16	16
無回答	9	13
合計	145	133



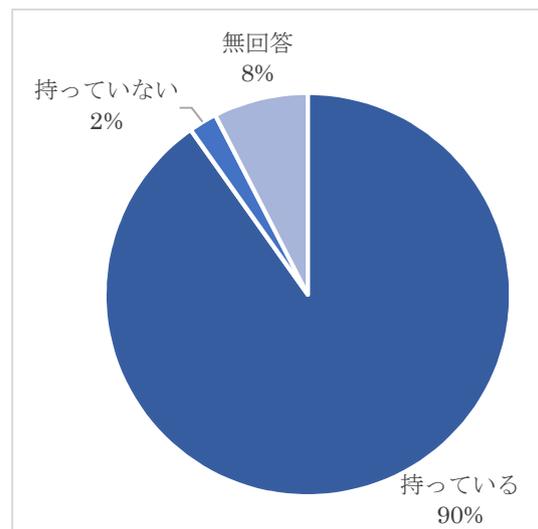


回答者の年齢の割合は、例年とほとんど変わらない結果となった。例年、女性の割合が3分の2を占め、30～50代女性の割合が大きい。

ウ 図書館の利用カードの有無

(人)

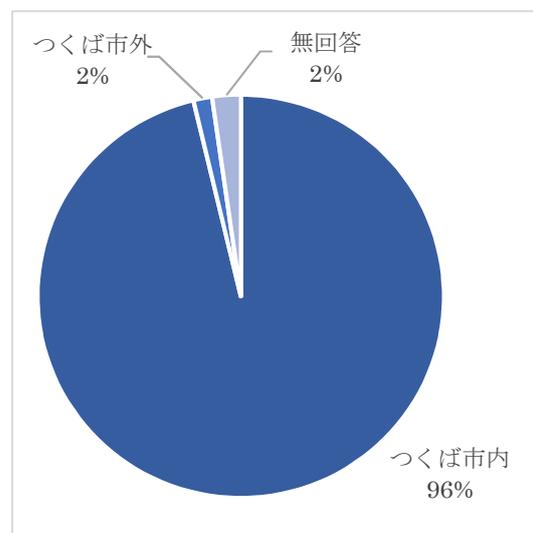
	令和3年度	令和4年度
持っている	141	120
持っていない	1	3
無回答	3	10
合計	145	133



エ 居住地

(人)

	令和3年度	令和4年度
つくば市内	141	128
つくば市外	2	2
無回答	2	3
合計	145	133

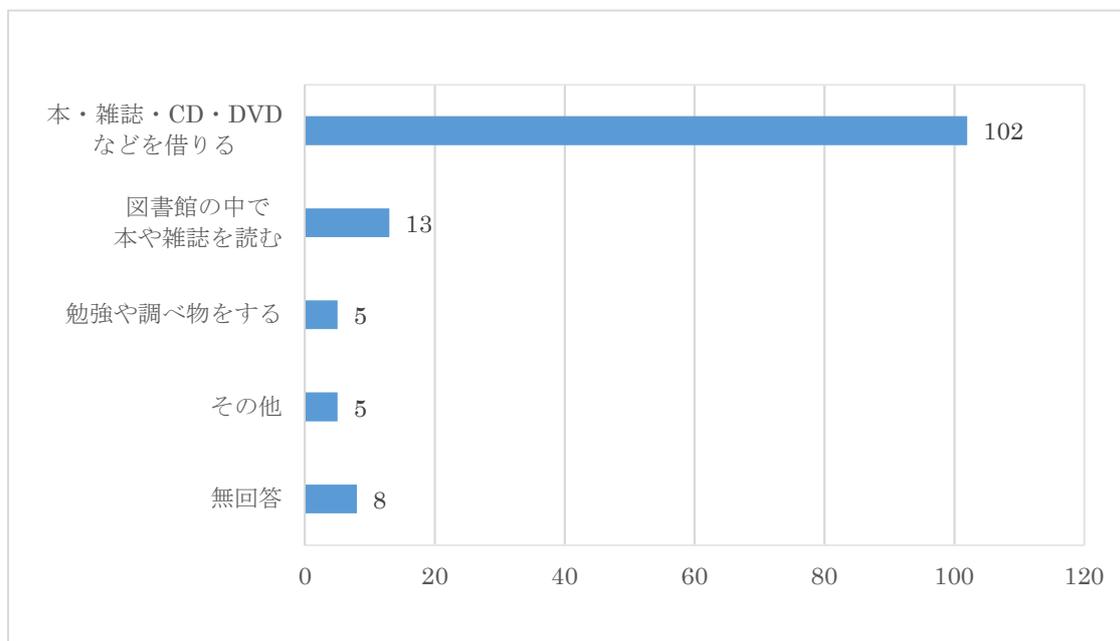


利用カード登録の有無及び居住地について、それぞれ利用カードを持っている人とつくば市内在住の人が9割以上を占めた。

利用カード登録の有無について、無回答と回答した人の割合が増加している。

(2) 質問事項

問1 今日図書館に来た目的の中で一番近いものを選んでください（複数選択可）



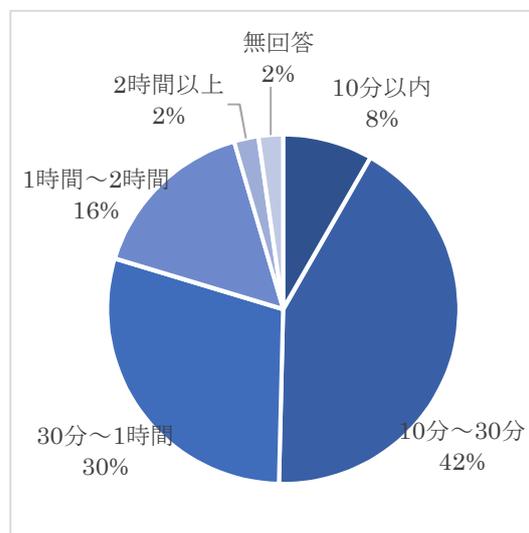
※「その他」回答：付き添い(1)、本の予約(1)、本の返却(2)、新聞の閲覧(1)

例年と同様、資料を借りる目的で来館する人が最も多く、「図書館の中で本や雑誌を読む」「勉強や調べ物をする」など滞在を目的とする利用者は少ない。

問2 あなたが図書館にいた時間（あるいは予定の時間）は次のどれですか（1つのみ）

(%)

	令和3年度	令和4年度
10分以内	7	8
10分～30分	43	42
30分～1時間	37	30
1時間～2時間	9	16
2時間以上	2	2
無回答	2	2
合計	100	100



(人)

	令和3年度	令和4年度
10分以内	10	11
10分～30分	63	56
30分～1時間	53	39
1時間～2時間	13	21
2時間以上	3	3
無回答	3	3
合計	145	133

滞在時間が1時間以内の割合（「10分以内」、「10分～30分」、「30分～1時間」を合計した割合）が8割に達している。

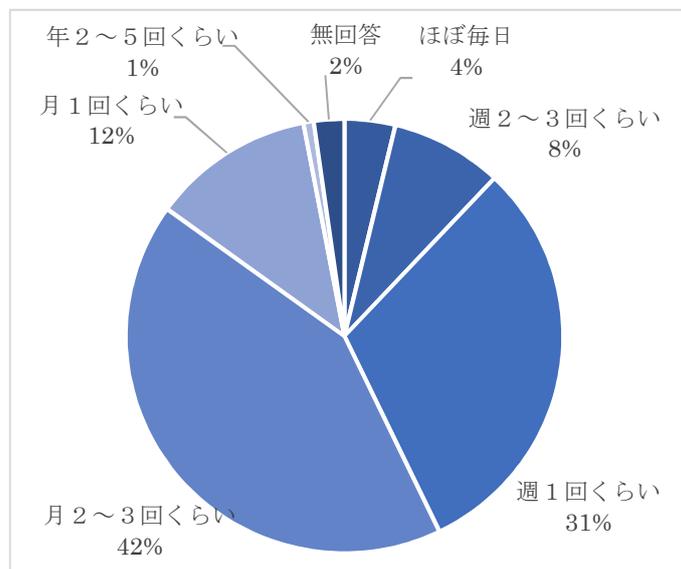
平成29年度から滞在時間は年々短くなる傾向にあったが、今回の調査では「30分～1時間」の割合が37%から30%に減少し、「1時間～2時間」の割合が9%から16%に増加した。

コロナウイルスの影響で長時間の利用を控えていた利用者が、再び利用するようになってきたことが要因になったと考える。

問3 あなたはどれくらいの頻度でつくば市の図書館・図書室・アルス号を利用しますか
(1つのみ)

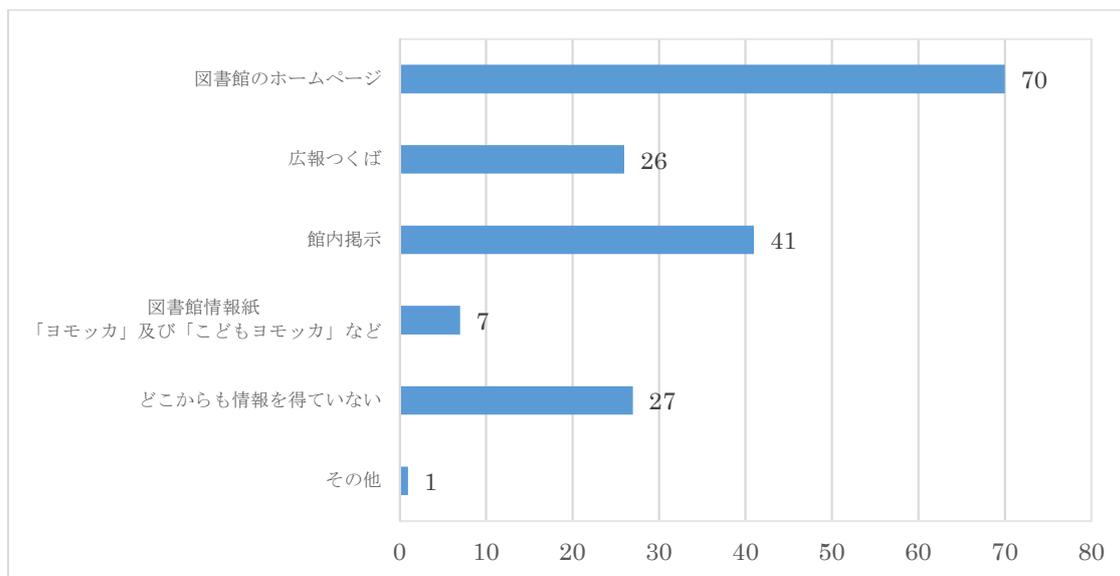
(人)

	令和3年度	令和4年度
ほぼ毎日	1	5
週2～3回くらい	12	11
週1回くらい	56	41
月2～3回くらい	57	56
月1回くらい	14	16
年2～5回くらい	2	1
年1回くらい	0	0
無回答	3	3
合計	145	133



「週1回くらい」と回答した利用者が31%、「月2～3回くらい」と回答した利用者が42%と大きい割合を占めている。貸出期間の2週間に合わせて来館すると月2～3回になるので、それ以上の頻度で訪れている利用者を定期利用者であると考え、その割合は85%である。これまでと比較すると、定期利用者の割合はほとんど変化がないが、その中で「週1回くらい」来館する利用者の割合がやや減少し、「月2～3回くらい」来館する利用者の割合がやや増加した。

問4 中央図書館に関する情報を主に何から得ていますか（複数回答可）

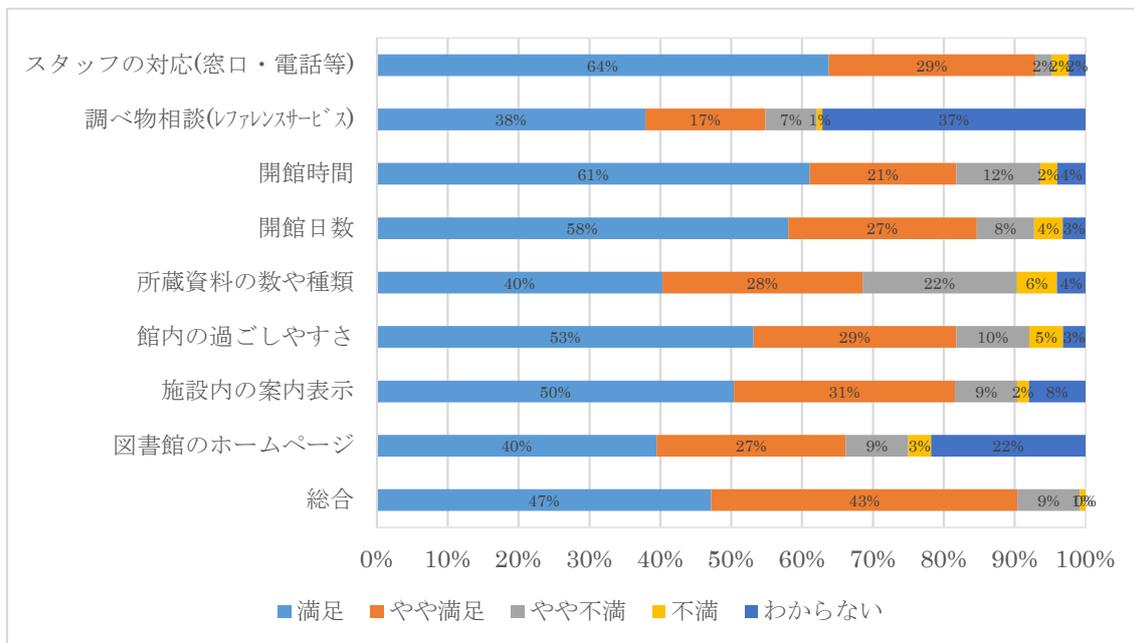


情報収集源の割合は例年とほとんど変わらず、依然としてホームページで情報を得ている利用者が最も多く、どこからも情報を得ていない利用者も一定数存在する。

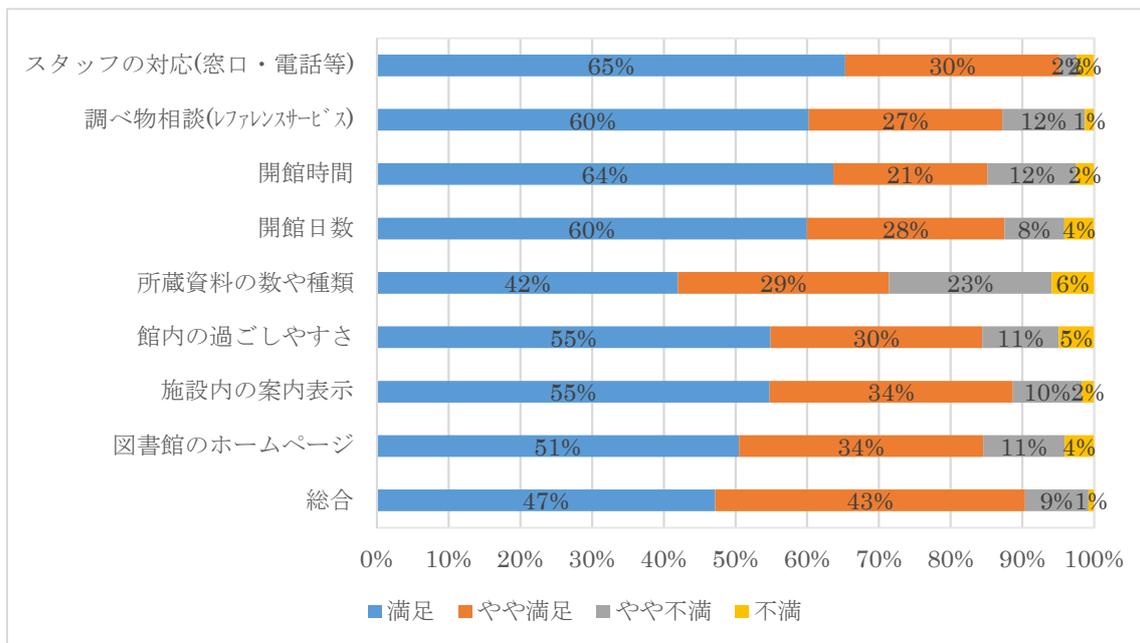
問5 図書館サービスについてどのくらい満足していますか

問6 総合的に見て図書館にどのくらい満足していますか

【全体】



【「わからない」を除く】



○スタッフの対応（窓口・電話等）

前年度に引き続き、「満足」と「やや満足」を合わせた割合は90%以上を占めており、接遇は高水準を保っている。

○調べ物相談（レファレンスサービス）

例年と同様にレファレンスサービスを必要としない利用者も多いため、他の項目と比べて「わからない」の割合が大きい。利用した人（「わからない」と回答した人を除いた場合）の中では「満足」と「やや満足」を合わせた割合は80%を超えている。

自由記入欄でも、レファレンスコーナーで「この本探してください」と言うと親切に対応してくれるのが嬉しい等の意見も見られた。

○開館時間

平成30年4月1日に土日の開館時間が19時に延長されてから、「満足」「やや満足」を合わせた割合は90%近くを維持していたが、前年度から80%程度に落ち込んでいる。

自由記入欄では、「17時で閉館してしまうのが早い（特別開館時）」、「19:30まで開館してほしい」等の意見が寄せられている。

○開館日数

開館日数についても「満足」と「やや満足」の合計が90%をやや下回り、「年末年始（12/29～1/3）や祝日も開館してほしい」、「休館日が多いので、少なくしてほしい」等の意見が寄せられている。

○所蔵資料の数や種類

他の項目と比べて「やや不満」と「不満」の占める割合が大きい。

自由記入欄でも、満足しているという意見もある反面、所蔵資料の偏りを指摘する声や資料の数や種類を増やしてほしいという意見が多数寄せられている。

【図書のリクエストについて】

- ・年間の予算はどの程度なのかが分かると本のリクエストがしやすくなる。
- ・視聴覚資料やマンガもリクエストの対応をしてほしい。
- ・他市の図書館では通るリクエストがつくば市の図書館では認められない等、基準が分かりにくい。周知してほしい。

→ホームページに「つくば市立図書館資料収集及び保存に関する方針」を掲載。

○館内の過ごしやすさ

「満足」と「やや満足」を合わせた割合は80%近くで推移している。「不満」と回答した利用者の中には「緊急時以外の館内放送をやめてほしい」「子どもの大きな声や利用者の会話の音が気になる」等の意見もあった。また、「駐車場の無料サービスが3時間だともう少しゆっくりできる」などの意見も寄せられている。

○施設内の案内表示

これまで「満足」と「やや満足」を合わせた割合は90%近くで推移していたが、前年度から80%近くまで落ち込んでいる。一方で「配布物や展示等が充実しており、年々図書館のサービスと質が向上していると感じる」との意見もあった。

○図書館のホームページ

他の項目と比べて「わからない」の割合が大きいのは例年と同様の結果となった。前年度と比較して「満足」「やや満足」の割合が55%から65%に増加し、「やや不満」「不満」の割合が20%から10%程度に減少した。利用した人（「わからない」と回答した人を除いた場合）の中では「満足」「やや満足」を合わせた割合は70%から85%程度に増加した。自由記入欄でも、使いやすくなった等の意見も寄せられているが、依然としてホームページが使いづらい等の意見も一定数ある。

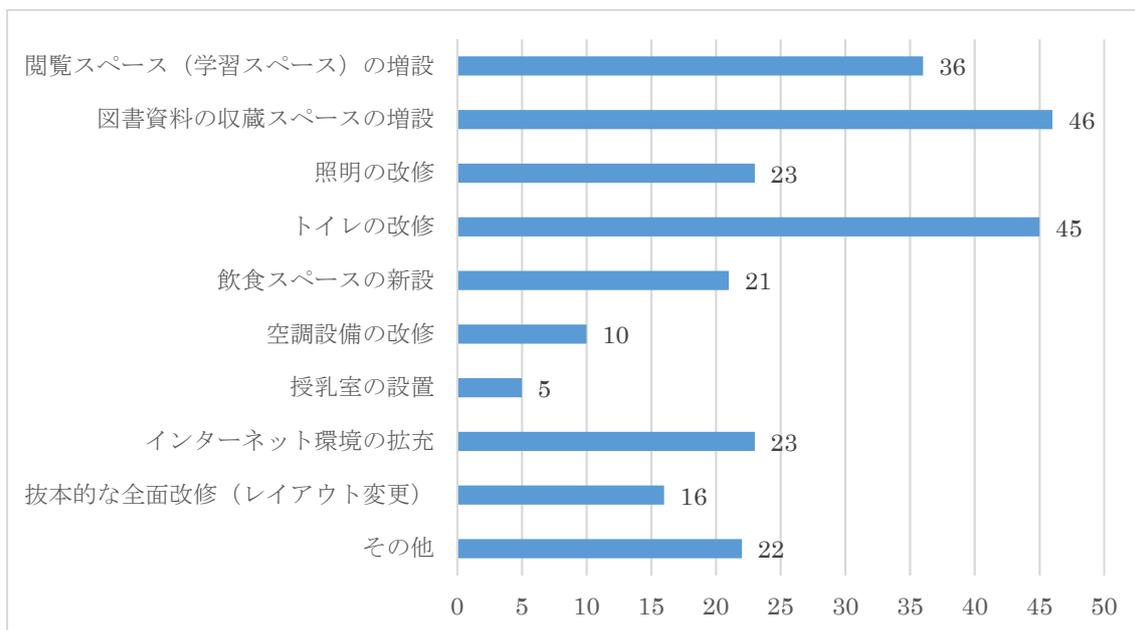
【ホームページについて】

- ・ 図書館のホームページ（マイページ）で読みたい本などチェックしておける機能を最近知り活用する様になった。
- ・ Webサービスの登録ができない子どものカードでの貸出状況が知りたい。カウンターや電話で問い合わせるのではなく、Webから確認したい。
→令和4年10月から子供も仮パスワード発行で利用可能となった。
- ・ スマホでの検索がとてもしやすくなったと思います。
- ・ つかいやすさを改善してほしい。

【電子図書館について】

- ・ 電子図書館のサービスが開始して便利で利用している。
- ・ 電子図書を更に充実してほしい。

問7 図書館の改修をしたらどのような改修が必要だと思いますか（3つまで）



改修の要望として、閲覧スペース（学習スペース）の増設、図書資料の収蔵スペースの増設、トイレの改修を希望する意見が多い。各項目に対する意見を以下にまとめる。

○閲覧スペース（学習スペース）の増設

- ・ 閲覧スペースで調べものをする際に席が埋まっていることが多いので増設してほしい。
- ・ 図書館の本を利用しない学習等は、別のスペースを設置してほしい。
- ・ 閲覧席の利用が2時間までになって、席が空かないということが少なくなり利用しやすくなった。
- ・ 受付をせずに（番号札を取らずに）閲覧席を利用している人がいるので、注意喚起してほしい。
- ・ 閲覧席の場所の地図を掲示してほしい。また、ペーパーや除菌用の溶剤もほしい。
→令和5年4月に館内の掲示を設置

【ソファーについて】

- ・ ソファーを新しくしてほしい
- ・ 以前は本棚の所にもツールが置かれていた。便利だったので再度設置してほしい。
- ・ 新聞を座って読むスペースがほしい。

○図書資料の収蔵スペースの増設

- ・蔵書の充実を希望する。
- ・読みたい本が書庫にあることが多い。
- ・書棚の本がギュウギュウで、取り出しにくいことが多い。
- ・新書、岩波、中央公論のように他の図書に関しても1か所にまとめて欲しい。
- ・文庫本など小さな本は下の方に配架されると見つけにくい。

○照明の改修

- ・読書スペースの照明をもっと明るくしてほしい。

○トイレの改修

- ・改修後、少し良くなったが個室が狭い。
- ・衛生面上、手洗いの蛇口を自動にしてほしい。
- ・トイレが古いので、早く改修してほしい。男子トイレの和式を洋式にしてほしい。
- ・多目的トイレの充実（おむつ替え、オストメイト対応など）
- ・子供が使いやすいトイレ

○飲食スペースの新設

○空調設備の改修

- ・（梅雨の時期等）たまに外の気温とエアコンの設定が合っていない時があるように思うので、もう少し調整してほしい。
- ・寒すぎる。室温をもう少し上げてほしい。

○授乳室の設置

- ・おむつ交換・授乳スペース等の充実

○インターネット環境の拡充

- ・様々なフリーWi-Fiがつながると嬉しい。

○抜本的な全面改修（レイアウト変更）

- ・子供がその場で本を読んだり、読み聞かせをしたりできる広いスペースがほしい。
- ・話したり、読み聞かせをしたり、声を出しても良い雰囲気スペースがほしい。
- ・キッズスペースのように子供が少し遊ぶことのできるスペースがほしい。
- ・新聞も座って読みたい。中庭のスペースを新聞コーナーにしてほしい。

○その他

【駐車場について】

- ・ 駐車場が遠くて不便。本を借りる、返却する際に重い本を持ち往復するのが大変。
- ・ 図書館の前の道路に路上駐車が多い。近くに車を停車する場所を作ってほしい。
- ・ 市役所隣のような、広い駐車場が近くにほしい。

問8 その他、図書館への御意見などがありましたら御記入ください

※問5～7の結果に記載しなかった主な御意見を抜粋

○図書館の施設・設備について

【返却場所】

- ・ ドライブスルーで返却できる場所がほしい。
- ・ ブックポストを色々な場所に設置してほしい（つくば駅等）。

【立地・雰囲気】

- ・ 立地は素晴らしい所にあり、今後とも大いに利用したい。
- ・ 公園のそばで緑の多い場所にあり、いい図書館だと思う。
- ・ 土浦の図書館を見た後だと、少々寂しい雰囲気を感じる。

【図書館の設置】

- ・ 人口が増加しているつくば市なのに、図書館が1つしかないのは残念。
- ・ みどりのから遠いので、つくば市の南部にも図書館をつくってほしい。
- ・ もっと大きな図書館がほしい。

○図書館のサービスについて

【貸出・返却】

- ・ 視聴覚資料の貸出期間も図書資料と同じく2週間にしてほしい。
- ・ 本の返却、貸出を自動化してほしい（土浦市立図書館のように…）。
- ・ 返却のしおり、貸出本のリストをプリントしてほしい。
- ・ 障害者貸出期間を2週間から4週間に延ばしてほしい（※同行する方の負担、移動する負担、読書できる速度等を考慮してほしい。）。他自治体で導入している例がある。

【予約】

- ・ マンガ、CD、DVDの予約をできるようにしてほしい。
- ・ マンガ本巻数をきちんと揃えてほしい（予約等で対応してほしい）。
- ・ 貸出中以外の資料についても予約できるようにしてほしい。
- ・ 予約本を家族単位で受け取れるとありがたい（一人一人探して頂くのが申し訳ない）。

【交流センター図書室】

- ・新しい本と CD やマンガ等を交流センター図書室の方にも増やしてほしい。
- ・新着図書が少なく、新しめの借りたい本が予約をしないと読めない。

【児童図書】

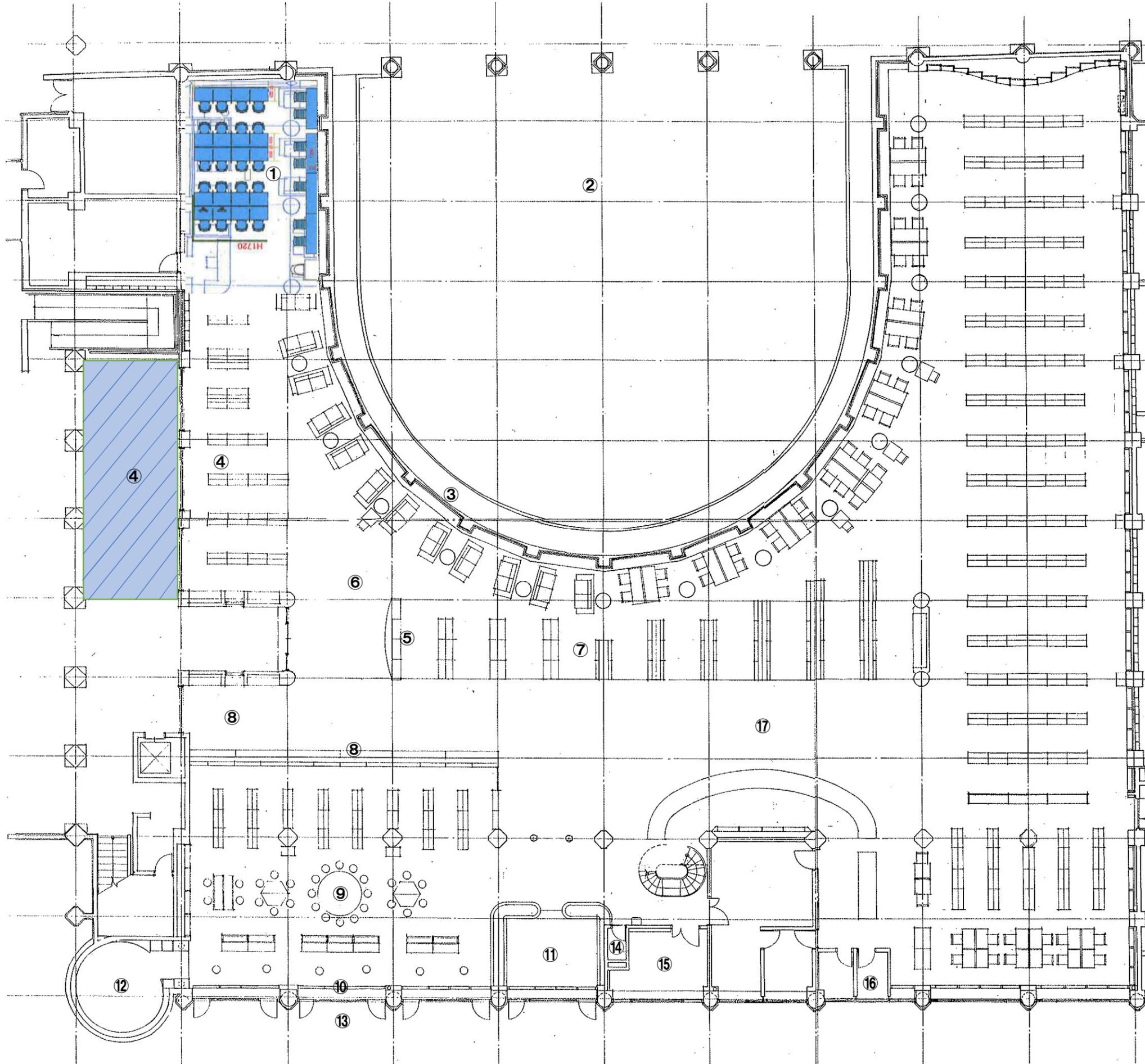
- ・児童図書スペースが狭く、本が少ない。
- ・県の推薦図書が大型絵本しかなくて残念に感じた。もっと推薦図書等の本を積極的にアピールしたら良いと思う。(良い本でも書庫にあると子供の目には止まりません。)
- ・主に子供の本を借りに来ています。人気の本は書架に並ばず、ほぼインターネットの予約でしか借りられない状況。(大人はネットで検索できますが、子供だと十分に Web サービスを使うことができない。) 本との出会いが制限されているように感じる。

【読み聞かせ】

- ・小学生向けの読み聞かせを開催してほしい。
- ・読み聞かせをおはなし室ではなくオープンスペースでやってほしい。大人も聞きたい。
→ライブラリーピクニックやアルスホールでの公演等を実施

【その他】

- ・ヨモッカの発行回数を増やしてほしい。
- ・オリヒメロボットについて、遠隔で人が操作している楽しい製品だから、入り口ではなく、もっと子供の目に留まるような位置に置いてほしい。(返却カウンター等)
- ・休館の日も新聞を閲覧できるようにしてほしい。(前年度2月の特別整理期間中の新聞サービスは良かった。)
- ・子供の読書意欲向上のためにも、読書通帳の導入を検討してほしい。(大人も楽しめると思います。)
- ・必要がないときに性別は聞かないでほしい。
- ・図書館宛ての質問ボックスを常設してほしい。
- ・他館から取り寄せた資料の貸出を迅速に対応してほしい。
- ・書庫を一般の利用者に開放してほしい。
- ・館内の検索端末のレスポンスを改善してほしい。



【改修内容等】

- ①視聴覚コーナーの改修
閲覧席増設、視聴覚席設置、
視聴覚機材の更新
- ②中庭への読書スペース設置
ウッドデッキ設置
ベンチ、パーゴラ等設置
- ③中庭への出入口設置
風除室設置
- ④図書館部分拡張
新聞・雑誌等閲覧席設置
- ⑤新聞・雑誌コーナー移設
専用書架設置
- ⑥新聞架撤去
展示スペース新設
デジタルサイネージ設置
- ⑦洋書コーナーの移設
新着コーナーなども含めてカ
ウンター前書架の再整備（つ
くばならでの発信）
- ⑧こどもコーナー拡張
書架の新設
展示ケースの移動
- ⑨こどもコーナー配置換え
- ⑩窓際書架の収納量アップ
- ⑪段差解消
- ※⑧～⑪こどもコーナー改修
児童書架の増設・更新
絵本架（大型絵本対応）設置
幼児向け絵本架の設置
紙芝居架の更新
- ⑫おはなししつ改修
壁紙張り替え
照明交換
カーペット張り替え
入口段差改修
- ⑬オーニング設置
- ⑭子ども用トイレ改修
便器・照明等交換
壁面改修
- ⑮授乳室改修
個室化
水回りリフォーム
調乳用温水機器設置
- ⑯ボランティア控室改修
壁を撤去し1部屋に
- ⑰全面カーペット張り替え
点字ブロック張り替え

分類	No.	御意見	調査実施年度	
			R 3	R 4
拡張	1	もっと大きい図書館にしてほしい。	○	
	2	いつも館内がざわざわしていてゆっくり読書する気にならない。図書館が設置された頃に比べて人口が倍以上に増えているのに、未だに手狭な建物のまま。ゆったりスペースがあり、子供のスペースは分けられていて...	○	
	3	所蔵数が他の図書館に比べ少ないと思う。	○	
	4	本を増やしてほしい。	○	
	5	つくば市の文化拠点として最適であるが(場所も含めて)、今後のことを考えるとスペースが狭いと感じられるし、より多目的なスペースを増築(2階の上にさらに2階分ほど)すると、もっと市民が利用しやすい環境が整うように感じる。子供コーナーの充実や広い学習、研修室も欲しい所である。ラウンジもあると良いかもしれない。	○	
	6	建物は少し古くなっていますが、利用者の意見を取り入れて改修や増改築をすると良いかもしれません。子供コーナーの充実をお願いできればと思います。	○	
	7	中央図書館にお世話になりかれこれ30年近くになります。当時より人口も増え、手狭になってきたように思います。	○	
	8	建物がやや古くなり、改修は必要だと思いますが、スペースを広くするために何か工夫する必要があるように思います。	○	
	9	改修計画が上がっているのであれば、現在の図書館の増改築を願います。	○	
	10	子どもの本スペースの増設を希望します。		○
	11	もっと大きな図書館に。		○
	12	新聞も座って読みたい。中庭のスペースを新聞コーナーに。		○
トイレ	1	トイレが和式だとつらい。	○	
	2	女子トイレ3つのうち、2つ和式だと思います。使いづらいので、洋式を増やしてほしいです。	○	
	3	直接図書館とは関連しないのですが、施設の要望として、和式トイレを洋式に切り替えて頂きたいです。	○	
	4	女子トイレ(1階)の改修を希望します。洋式が1つしかなく、不便です。	○	
	5	トイレのリフォームして下さい。洋式化、ウォシュレット化、個室を増やす。	○	
	6	トイレが古いので、早くリフォームしてほしい。		○
	7	先日のアンケートでトイレの洋式化の検討をお願いしたところ、早急に対応いただき、ありがとうございました。		○
	8	男子トイレの和式を洋式にしてほしい。		○
	9	お手洗いの蛇口は、衛生面から自動にしてほしいです。		○
	10	大人のトイレが好きじゃない。		○
駐車場	1	駐車場が遠い、2H無料だと短い。	○	
	2	駐車場を2時間以上、無料開放お願いしたい。	○	
	3	駐車場がもう少し近いとありがたいです。	○	
	4	中央は駐車場が遠いので、本を10冊~20冊持ち、2才の子と歩くとても大変です。また無料時間が2Hなのも短いです。ゆっくりできません。	○	
	5	図書館の東側に駐車スペースがあると便利。	○	
	6	足が悪いので、近くに停車、駐車したり、本を返せるボックスが色々な場所にあると助かります。		○
	7	駐車場が遠い。本を借りたり返したりする際、重い本を持ち、往復するのが大変です。教育日本一を掲げているのなら図書館へのアクセスし易さも改善してほしいです。		○
	8	駐車場が遠い。		○
	9	駐車場が3時間無料だともっとゆっくりできるのになあ...とっております。		○

分類	No.	御意見	調査実施年度	
			R 3	R 4
閲覧席	1	本をゆっくり読む椅子と机をたくさんおいて欲しい。	○	
	2	閲覧席を増やして頂きたいです。	○	
	3	閲覧スペースで調べものをする人が多いのですが、席が埋まっていることがあります。学生さんの図書館の本を利用しない学習は、別のスペースを設けていただけるとありがたいです。		○
	4	閲覧席が2時間までになって、席がずっと空かないということがなくなったので、良かったと思います。		○
	5	時々、窓際の閲覧席を番号札と取らず利用されている方がいるようです。掲示や声かけによる注意喚起をしていただけていますが、満席に近い状態の時に番号札を取らず利用されて、座れないことが何度かありました。		○
	6	以前、本棚の所にもスツールが置かれていた気がしますが、もう置かないのでしょうか？便利でした。		○
書架	1	土日を利用していますが、特に雑誌を読んでいます。配架の方法を、一目で雑誌のタイトルが分かるようにしてもらえると良いように思いました。(例えば、現在の木枠の配架ではなく、より省スペースになるようなタワー配架台を置く)。そうすれば、雑誌を読むスペース(ソファなど)も広がるのではないかと思います。どうでしょうか？	○	
	2	蔵書がもっと増えるといいな。 書庫の本を取ってきてもらう手間がかかる。		
	3	読みたい本が書庫にあることが多いです。		○
	4	書棚に本がギュウギュウで、取り出しにくいことが多いです。		○
視聴覚コーナー	1	CD, DVDの閲覧場所を多く新しくし、2F視聴覚室の壊れている機械を直して頂けると嬉しいです。	○	
什器	1	机、椅子、ソファなど新しくするといいですね。	○	
照明	1	もう少し照明を明るくしてほしい。館内で読みにくいので。	○	
床	1	赤ちゃんコーナーのカーペットの張り替えを希望します。(冷たく、ぺっちゃんこで居心地が悪いのです。)	○	
空調設備	1	(梅雨の時期等)たまに外の気温とエアコンの設定が合っていない時があるように思うので、もう少し調整してもらえると助かります。		○
その他	1	回収BOXを駅付近の車が止められる所にあると便利。	○	
	2	つくば駅等にブックポストを設置してほしいです。		○
	3	グリーンが入っていると何かいいですね。		○
	4	自動化：本の返却、貸出を土浦図書館のように自動化してほしい。		○
	5	人口が増加しているつくば市なのに、図書館が1つしかないのは残念です。		○
	6	帰る時間が分かるので、時報があるといいと思います。(チャイムとか)		○
	7	みどりのから遠いので、つくば市南にも図書館をつくってください。		○
	8	保育園や公園のように子どもの大きな声は図書館にふさわしくありません。館利用の会話声の高いのは、とってもいやです。		○

分類	No.	御意見	調査実施年度	
			R 3	R 4
近隣の環境、立地	1	公園が近く、ノバホール、エキスポセンター、美術館、アルスホール、カピオと文化と芸術の香りが一杯で、環境も良く満足しています。この環境の中でこそこの中央図書館の存在意義があると常々感じています。	○	
	2	子供とよく来ますが、公園もすぐ近くでロケーションがとても良いです。文化の中心として永くこの場所にあると良いと思います。	○	
	3	周囲の環境と調和して、とっても素敵な図書館に満足しています。	○	
	4	まだまだ十分に図書館を活用できていないのですが、子供と共にこのすばらしいつくばの中心の文化的環境の中で利用できて嬉しいです。	○	
	5	特別要望はありませんが、エキスポセンター、中央公園、美術館と、この最高の立地にある図書館にますますの内容充実を期待します。	○	
	6	昨年、東京から引越して来ましたが、つくばの緑の多さに喜んでいました。図書館の場所も公園の前であってとても良いと思いました。つくばの緑に映える図書館も少し古くなった感じはありますが、改修や増改築をしながら、この場所で行くべき文化の中心としてあり続けることを願っております。	○	
	7	立地は最高です。このままの場所で存続することを希望します。	○	
	8	施設は文化的環境の中で大満足です。	○	
	9	中央図書館にお世話になりかれこれ30年近くになります。当時より人口も増え、手狭になってきたように思いますが、かといって、行政機関が次々つくば中心部から研究学園への移転が相次ぐ中で、図書館だけは、つくばの文化の中心に居てほしく思います。研究学園への移転などないとは思いますが・・・	○	
	10	緑の多い所で、いい図書館だと思います。		○
	11	立地は素晴らしい所にあり、今後とも大いに利用したい。		○
	12	娘とバアバと3人でよく使わせてもらっています。家族の散歩コースになっており、ありがたいです。		○
	13	公園のそばで、とても緑も多く、気に入っています。公園の緑と池と図書館がよいたたずまいだといつも思っています。		○
他市等の図書館	1	先日栃木県那須塩原市にある「みるる」という図書館へ行きました。とてもきれいで、自習室も充実しており、つくばもこんな図書館になればいいのに・・・と羨ましくなりました。改修大賛成です。	○	
	2	土浦の図書館を見た後だと、少々寂しい雰囲気。		○

調査期間

- ・令和4年(2022年)3月10日(木)～3月24日(木)
- ・令和5年(2023年)3月14日(火)～4月4日(火)

令和5年度
(2023年度)

つくば市の図書館概要



つくば市立中央図書館

目 次

ページ

1	つくば市の概要	1
2	施設概要	1
3	運営方針	2
4	組織・事務分掌	3
5	図書館サービス体制	4
6	図書館サービス	5
7	小中学校・義務教育学校への支援事業	8
8	自動車図書館	8
9	4交流センター図書室との連携	9
10	筑波大学附属図書館との連携	9
11	令和4年度（2022年度）の主な図書館事業	10
12	沿革	11
13	年間統計	19
14	ボランティア活動状況	23
15	所蔵雑誌一覧	24
16	所蔵新聞一覧	29
17	雑誌スポンサー制度	30

1 つくば市の概要

つくば市は、茨城県の南西部に位置し、茨城県の県庁所在地水戸市から南西に約 50 キロメートル、首都東京から北東に約 50 キロメートル、成田国際空港（成田市）から北西に約 40 キロメートルの距離に位置しています。面積は 283.72 平方キロメートルで、これは県内で 4 番目の広さになっています。

万葉集で多く詠まれた名峰「筑波山」をはじめとする豊かな自然と、研究・教育機関の集積「筑波研究学園都市」を有する、自然と科学が調和したまちです。

筑波研究学園都市では、国と民間合わせて約 150 の研究機関が立地し、約 20,000 人の研究従事者が日々、最先端の研究開発を行っています。また、筑波大学においても、恵まれた環境の下、様々な分野の研究が行われており、つくば市とも各分野で連携しています。

つくば市には、研究従事者や留学生など多くの外国人が居住し、その数は 148 か国、12,258 人に及び、つくば市全体の人口の約 4.8%に当たります。（全国平均は 2.2%）

平成 17 年（2005 年）のつくばエクスプレス開業以降、沿線地区を中心に人口は増加傾向にあり、年少人口及び生産年齢人口が多いことも特徴です。（年少人口：全国平均 11.6%に対してつくば市 15.5%、生産年齢人口：全国平均 59.4%に対してつくば市 65.3%）

つくば市は、平成 30 年（2018 年）2 月に国連の持続可能な開発目標(SDGs:Sustainable Development Goals)の考え方を取り入れた「持続可能都市ビジョン」を公表し、同年 3 月には市議会で、「つくば市政にSDGs（持続可能な開発目標）の理念を反映するための取組を求める決議」が可決されました。また、本市が国から県内唯一の「SDGs未来都市」に選定されたことから、持続可能なまちづくりのための取組を全国に先駆けて推進しています。

SDGs の基本理念である「誰一人取り残さない」という包摂の精神は、つくば市の持続可能なまちづくりとも一致するものであり、SDGs を重要なキーワードとしながら、市民、議会、行政などが一丸となって具体的な取り組みを進めています。

[つくば市人口(常住人口)：254,669 人（令和 5 年(2023 年) 5 月 1 日現在）]

2 施設概要

「つくば市立中央図書館」（以下、中央図書館）は中央公園に面し、茨城県近代美術館つくば分館との複合施設「つくば文化会館アルス」として建設され、平成 2 年（1990 年）6 月に開館しました。アルス(ARS)は、ラテン語で「芸術・学芸・美術」を意味します。館内には、ピアノ備え付けの多目的ホール「アルスホール」もあり、コンサートや講演会などに利用されています。

つくば文化会館アルス（図書館、美術館、ホール）	
所在地	茨城県つくば市吾妻2丁目8番地
施設面積	市管理部分：2,695 m ² （1F：1,714 m ² 2F：912 m ² その他：69 m ² ） 県管理部分：2,068 m ² （1F：1,574 m ² 2F：494 m ² ） 県市共用部分：1,414 m ² （1F：645 m ² 2F：358 m ² その他：411 m ² ）
施設概要 (市管理部分)	1F 開架書架室、保存書庫、自動車図書館車庫 ほか 2F アルスホール、集会室、会議室、事務室 ほか

つくば市立中央図書館	
利用時間	午前9時30分～午後7時（特別開館日は午後5時まで）
休館日	月曜日（国民の祝日と重なった場合は火曜日）、祝日（一部の祝日は特別開館）、年末年始、特別整理期間（6月・2月）

アルスホール（つくば市視聴覚センター）	
利用時間	午前9時～午後10時（月曜祝日は午後5時まで）
定員	100名
休館日	月曜日（国民の祝日と重なった場合は火曜日）、年末年始
設備品	グランドピアノ、マイク、スクリーン、調光装置、専用控室 ほか
その他	利用申込みは、6か月前の同日から利用日の前日まで 予約状況は、ホームページから確認可能

3 運営方針

中央図書館では、市民の生涯学習を支援するとともに、教育・文化などに関する情報や資源を受発信する「知」の拠点として、市民が利用しやすい図書館を整備し、充実を図っていくものとします。

「令和5年度（2023年度）中央図書館重点事業」

(1) 中央図書館の施設改修

市長公約にある「図書館懇話会提言書で示された、公園のように自由な図書館『ふれあいライブラリーパーク』の理念を実現する中央図書館の施設改修」事業について、市民意見を参考にしながら改修計画を策定します。

先行して視聴覚コーナーを改修し、閲覧席の増設及び視聴覚席の設置を行います。

(2) サービスポイントの拡充

研究学園小学校図書室を地域に開放し、土曜日、日曜日及び祝日の中央図書館開館日に図書館サービスを提供します。また、かとりだい交流館において、予約図書の貸出を行うとともにブックポストを設置します。

(3) 電子図書館サービスの拡充

令和4年10月に開始した電子図書館サービスの充実を図ります。電子図書館の利用状況を分析し、その収集方針を定め、コンテンツの充実を図ってまいります。

(4) 自動車図書館サービスの拡充

令和4年度から3台体制で開始した自動車図書館サービスの拡充を図ってまいります。既存ステーションについては、随時見直しを行うとともに、ニーズ調査などを通じて新たなステーションを設定し利用拡大を図ってまいります。

(5) 読書推進、図書館利用促進に資する活動の実施

ライブラリーピクニックなどのイベントを実施し、読書推進や図書館利用促進に資する活動に取り組んでまいります。

また、図書館利用登録者数の増加を図るために、出張登録を実施します。

4 組織・事務分掌

(1) 組織

- ① 館長 — 副館長 — 館長補佐
- └ 管理係
 - └ サービス係

- ② 職員数 29 名（うち司書資格 20 名）

〔内訳〕 正職員：17 名、図書館専門員（会計年度任用職員）12 名

そのほか、カウンター補助、事務補助、配送など会計年度任用職員 34 名

〔令和5年（2023年）6月1日現在〕

(2) 事務分掌

- ① 管理係

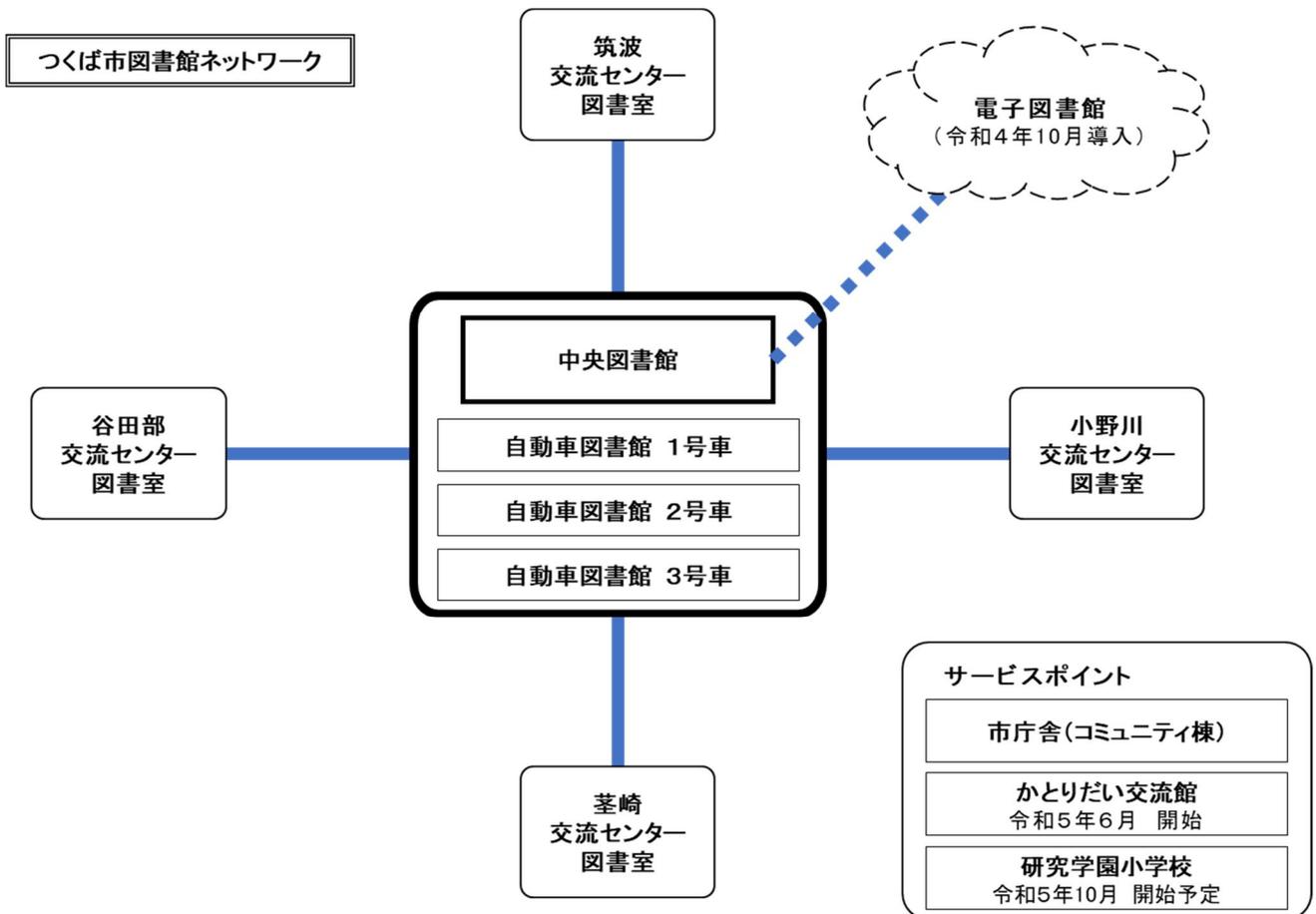
予算管理、施設管理、資料収集・廃棄、ボランティア、図書館情報システム、広報広聴、図書館協議会、アルスホール ほか

- ② サービス係

館内利用、団体貸出、相互貸借、館内展示、自主事業の企画・運営、自動車図書館、学校図書館支援、書架管理、延滞資料処理 ほか

5 図書館サービス体制

つくば市の図書館サービス体制は、中央図書館を中心に3台の自動車図書館及びオンラインシステムで結ばれている谷田部・筑波・小野川・荃崎の4つの交流センター図書室(以下、4交流センター図書室)で構成され、貸出・返却・予約などのサービスを一体的に受けることができます。これらのサービスは、図書館情報システムにより一元的に管理されています。



このほか、市庁舎（コミュニティ棟）及びかとりだい交流館のサービスポイントにおいてインターネットから予約した本の受取が可能になりました。また、市庁舎（コミュニティ棟）、かとりだい交流館、大穂・豊里・並木・島名の各交流センターに設置されたブックポスト及び広岡交流センターの窓口で本を返却することができます。

令和5年（2023年）10月から土・日・祝日の中央図書館開館日に研究学園小学校図書室を地域に開放し、サービスポイントとして図書館サービスを開始する予定となっています。

6 図書館サービス

(1) 貸出

① 個人貸出

つくば市在住・在勤・在学

つくば市に在住、在勤、在学している個人に利用カードを交付し、図書の貸出を行います。

個人の図書館利用カードの登録・交付は、つくば市在住の方は氏名、住所の確認できるもの、在勤・在学の方はそのほかに勤務先・通学先のわかるものを提示の上、「貸出登録申込書」の提出により登録ができます。

広域利用

下妻市及び土浦市在住の方は、つくば市に在勤、在学していなくても利用カードの交付が受けられます。利用できるサービスは個人貸出及び館内利用のみで、予約・リクエスト、相互貸借などのサービスは利用できません。

また、つくば市在住の方は、下妻市及び土浦市立図書館で貸出等のサービスが受けられます。

② 団体貸出

つくば市内で活動する団体や施設が行う読書活動を推進するために図書館資料を長期間貸出するサービスです。登録の際に必要な書類や手続方法については御相談ください。

③ 貸出条件

貸出区分	資料区分	期間	冊数・点数
個人貸出	図書資料	2週間以内	10冊以内
	視聴覚資料	1週間以内	3点以内
	電子書籍	2週間以内	2点以内
団体貸出	図書資料（閉架で所蔵する、雑誌及び地域資料を除く資料）	3月以内	300冊以内（うち紙芝居、外国語資料は50冊まで）
	図書資料（開架で所蔵する、雑誌及び地域資料を除く資料）	2週間以内	20冊

(2) 返却

中央図書館、自動車図書館及び4交流センター図書室で図書館資料の返却ができます。

なお、視聴覚資料や紙芝居は破損の恐れが高いため、職員へ直接手渡しで返却し、資料本体の確認を受けてください。

そのほか、次の施設でも各施設の開館時間中であれば返却ができます（紙芝居など一部資料を除く）。

ア つくば市庁舎ブックポスト（コミュニティ棟1F）

イ かとりだい交流館ブックポスト

ウ 大穂交流センターブックポスト

エ 豊里交流センターブックポスト

オ 並木交流センターブックポスト

カ 島名交流センターブックポスト

キ 広岡交流センター窓口



(3) 図書資料の予約・リクエスト

① 予約・リクエストとは

御希望の図書資料が貸出中の場合は、貸出の予約をすることができます。また、その資料が中央図書館で所蔵していない場合は、リクエストすると購入について検討します。御希望にお応えできない場合もありますが、その場合、茨城県内の他市町村図書館などからの取寄せ（原則無料）や、茨城県外の図書館からの取寄せ（有料。諸条件あり）をすることができます。

② 申込方法

申込みは、「予約・リクエスト・相互貸借申込書」に記入し、直接提出又はWebから申し込むことができます（予約の場合は、あらかじめパスワードの設定が必要となります。図書館・図書室で利用カードを提示の上、手続きをしてください。）。なお、貸出の予約に限り、館内にある利用者端末からも申し込むことができます。

御用意ができましたら、電話又はE-mailで御連絡します。予約・リクエストは、申込みができる冊数に上限があります。

③ 在架図書を取寄せ

中央図書館所蔵で貸出中ではない図書（在架図書）については、4交流センター図書室、市庁舎（コミュニティ棟）、かとりだい交流館で受け取ることができます。予約はWebサービスから申し込むことができます。取り寄せには日数を要しますので御了承ください。

(4) Web サービス

- ① 資料の予約、リクエスト、レファレンス（相談）、利用状況（貸出中の資料、返却日、予約状況）の確認、メールアドレスの登録・変更及びパスワード変更などができます。
- ② リンク先として、図書館、出版情報、他官公庁の情報などを掲載しています。
- ③ 「マイ本棚」機能で、貸出履歴の管理・貸出延長の手続きなどができます。
- ④ 電子図書館が利用できます。

(5) 視聴覚サービス

映像（DVD・VHS）や音声（CD・カセットテープ）による視聴覚資料は、館内で視聴できるよう提供しています。著作権者の許諾を得られたものは館外貸出を行っています。

(6) 多文化サービス

- ① 英語、中国語、韓国語を中心に約17か国語の図書資料、外国語雑誌13誌及び外国語新聞5紙（1紙は子供用）を収集し、備えています。（雑誌及び新聞の詳細はp.28～29の「所蔵雑誌・新聞一覧」を参照。）
- ② 館内カウンターには、英語、中国語、韓国語及びポルトガル語の利用案内を設置しています。

(7) 送付貸出しサービス

図書館の利用が困難な方や不便な方などの自宅へ図書を送付するサービスです。貸出及び返却に係る費用は利用者の負担となります。

(8) 乳幼児、児童、高齢者及び図書館利用に支障のある方へのサービス

- ① こどもコーナーに、子供の成長に応じた資料を備えています。
- ② こどもコーナーに、大活字の本、LLブックを備えています。
※「LL」とは、スウェーデン語で「やさしく読める」という意味の略語であり、知的障害のある方など、一般的な情報提供では理解が難しい方にとっても読みやすく作られている本のことを「LLブック」といいます。
- ③ 大活字本コーナーに、大活字の本を備えています。
- ④ 小説などの録音資料（CD・カセットテープ）を備えています。
- ⑤ 点訳ボランティアが作成した点字絵本を備えています。
- ⑥ 音訳ボランティアが作成した「声の常陽リビングとミニ情報」の希望者への配布、「広報つくば」音声版の提供、対面朗読などを行っています。

(9) 複写サービス

著作権法第31条の規定により、図書館が所蔵する資料の一部を一人につき1部コピーすることができます。

○カラーコピー：1枚50円

○白黒コピー：1枚10円（サイズは最大A3まで）

(10) オンラインデータサービス

中央図書館内の専用端末を使うことにより、以下のデータベースサービスを利用することができます。

- ① 朝日新聞データベース「朝日新聞クロスサーチ・フォーライブラリー」
- ② 茨城新聞データベース
- ③ 官報情報検索サービス
- ④ 国立国会図書館デジタル化資料送信サービス

※利用条件等がそれぞれ異なりますので詳しくは図書館ホームページを参照してください。

7 小中学校・義務教育学校への支援事業

中央図書館では、児童及び生徒の読書環境の充実を推進するために、市立小中学校及び義務教育学校に対して各種の支援事業を行っています。

- ① ジュニア図書館員、職場体験学習、社会科見学などの受入れ
- ② 学校図書館、学級文庫に対する団体貸出
- ③ 学校訪問ブックトーク事業
- ④ 司書教諭補助員の研修
- ⑤ 小学校・義務教育学校への自動車図書館巡回



学校訪問ブックトーク

8 自動車図書館

自動車図書館では、図書の貸出・返却のほか、利用登録の受付、貸出の予約などのサービスを行っています。

自動車図書館の日程表は、図書館ホームページなどで確認できます。なお、図書資料の汚損等を防止するため、悪天候時には運行を中止する場合があります。

車両の詳細は次のとおりです。

- ① 名称 自動車図書館アルス号（1・2・3号車）
- ② 積載冊数 1・2号車：約3,500冊、3号車：約600冊
- ③ 訪問先 57ステーション
(小学校、保育所、児童館、老人ホーム、市役所など)
- ④ 運行日 火・水・木・金曜日及び隔週土曜日
(日程表は毎年広報つくば4・10月号及び図書館ホームページに掲載)
- ⑤ 巡回周期 原則2週間に1度
- ⑥ 装備 車椅子用リフト付き（1・2号車のみ）



9 4交流センター図書室との連携

つくば市内にある17の地域交流センターのうち、谷田部・筑波・小野川・荃崎の4交流センター図書室では、コンピュータネットワークにより中央図書館と一体的な図書館サービスを提供し、市民サービスの向上に努めています。

- ① 4交流センター図書室、中央図書館及び自動車図書館で所蔵している資料を検索することができます。
- ② 4交流センター図書室、中央図書館及び自動車図書館の本を取り寄せて利用することができます。
- ③ 中央図書館の在架（本棚にありかつ貸出中ではない）図書資料は、Webから予約をして4交流センター図書室に取り寄せることができます。（視聴覚資料・コミックスなどは対象外）
- ④ 借りた資料は、4交流センター図書室、中央図書館及び自動車図書館のどこでも返却することができます。また、図書資料は、市庁舎（コミュニティ棟）、かとりだい交流館及び大穂・豊里・並木・島名・広岡の各交流センターにも返却することができます。

10 筑波大学附属図書館との連携

つくば市域に所在する図書館の、それぞれの情報、資源及び活動成果等の交流を促進し、かつ、連携してその活用を図ることにより、相互の持続可能な発展と充実に資することを目的として、令和元年（2019年）9月に筑波大学附属図書館と連携協定を締結しました。

まずは筑波大学附属図書館との連携事業を進め、将来的には協定の範囲をつくば市域全体に広げていくことを目指します。

筑波大学附属図書館との連携事業

① 「ライブラリーピクニック」実施

令和元年（2019年）11月2日（土）・3日（日）、筑波大学学園祭に合わせ、筑波大学附属図書館駐車場にてライブラリーピクニックを開催。筑波大学図書館情報メディア系共催、つづきブックカフェ（横浜市）協力のもと、自動車図書館による図書の貸出、読み聞かせ、ジャズ演奏などを実施しました。令和2年度は新型コロナウイルス感染拡大により中止となりました。

② 2者間独自の相互貸借制度の運用を開始

令和3年（2021年）6月1日、つくば市域図書館連携に関する協定書第2条に基づき、筑波大学附属図書館とつくば市立中央図書館との間の独自の相互貸借制度の運用を開始しました。茨城県図書館情報ネットワーク物流搬送システムを利用して行っている相互貸借を両館が直接行うことにより、搬送に要する時間を短縮し、利用者への貸出期間をより長く確保することができるようになりました。

11 令和4年度（2022年度）の主な図書館事業

年月	内容等
通年	「おはなし会」(毎週土曜日及び第4日曜日) 「本好きのためのゆるっとトークルーム」(毎月第1土曜日) 「おとなのためのブックトーク」(毎月第3土曜日) 「おはなしぶんぶん(乳幼児向けおはなし会)」(原則月2回、第3金曜日・第4水曜日)
4月	自動車図書館3号車を導入し、運行を開始。自動車図書館のステーション数を増加する。(ステーション50か所)
5月	
6月	出前講座「絵本の選び方講座」開催。〔並木交流センター〕(24日) 図書館ボランティア「グループ・スイミー」人形劇公演開催。〔アルスホール〕(25日)
7月	図書館ボランティア「パネルシアターかくれんぼ&ゆめぼっぼ」パネルシアター公演開催。〔アルスホール〕(9日) 「百科事典で調べてビンゴ」実施。(21日～なくなり次第終了) 中学生職場体験受入。(～8月) 弁済展示「本が泣いています」実施。(～8月)
8月	下妻市、土浦市と広域利用サービスを開始。(2日) 「本のふくぶくろ」実施。(6日・7日) インターンシップの受入。(～9月)
9月	「令和4年度第1回図書館協議会」開催。(1日) 特別館内整理及び図書館システム更新のため特別休館。(9月20日～10月3日)
10月	児童向け図書館だより「こどもヨモッカ」(第17号)発行。 自動車図書館のステーション数を増加する。(ステーション54か所) 電子図書館サービスの提供を開始。(10月4日) 予約した本の受取館としてサービスポイントを増設。〔市庁舎(コミュニティ棟)〕(10月4日) 「学校訪問ブックトーク」開催。〔小学校22校・中学校2校・義務教育学校3校〕(～12月)
11月	谷田部市街地のオータムフェアに自動車図書館を出展。(6日) 科学フェスティバルに出展。(12日)
12月	「ぬいぐるみたちのおとまり会」開催。(16日・17日)

年月	内容等
1月	荷物自動搬送ロボット実証実験協力(ペDESTリアンデッキ上で返却本を預かり図書館へ自動搬送)(24日～28日)
2月	公園通りの図書館通信「ヨモッカ」(第18号)発行。 図書館ボランティア「佐藤国男版画展」実施。(2月11日～3月9日) 遠隔ロボット(オリヒメ)実証実験協力(遠隔操作による絵本読み聞かせ・駐車券無料化案内)(24日～28日)
3月	「令和4年度第1回図書館協議会」開催。(16日) 出前講座「ファーストブック講座」開催。(19日・25日) 「つくスマ」アプリ内で図書館利用カードの電子化サービスを開始。(30日)

12 沿革

年	月日	事項等
昭和62年 (1987年)	11月	・研究学園都市建設連絡協議会(研究学園都市を構成する6町村)、住宅都市整備公団つくば開発局及びその他による「筑波研究学園都市総合都市文化センター図書館基本計画」が策定される。
	11月30日	・筑波郡大穂町、豊里町、谷田部町及び新治郡桜村が合併し、つくば市が誕生すると同時に、教育委員会事務局に図書館準備室(2名)が発足する。
昭和63年 (1988年)	1月31日	・筑波郡筑波町がつくば市に加わり、つくば市全域への図書館サービス実施計画の検討を開始する。
平成元年 (1989年)	3月11日	・図書館を含む複合施設「筑波研究学園都市総合都市文化センター」が着工する。
	3月15日	・教育委員会による「これからの図書館サービスを求めて～つくば市の図書館サービス実施計画」が策定される。
	4月1日	・図書館準備室の職員が6名に増員され、本格的準備作業に入る。
平成2年 (1990年)	4月1日	・開館に向けて司書の採用、有資格者の異動により職員(8名)の確保を図り、14名体制となる。
	4月25日	・「筑波研究学園都市総合都市文化センター」竣工となる。
	6月8日	・図書館準備室にかわり、教育委員会に中央図書館を設置する。
	6月9日	・つくば文化会館アルス内に「つくば市立中央図書館」が開館する。
	6月16日	・おはなし会を開始する。
	7月18日	・自動車図書館つくばアルス1号、2号の運行及び巡回サービスを開始する。(ステーション35か所)

年	月日	事項等
	9月30日	・つくば市立中央図書館概要を発行する。(以降毎年発行)
平成3年 (1991年)	4月1日	・稲敷郡荃崎町民への貸出サービス開始。図書館職員数19名体制となる。
	10月1日	・自動車図書館のステーション数を増加する。(ステーション50か所)
平成4年 (1992年)	1月31日	・小河内芳子氏の講演会を開催する。
	4月1日	・目の不自由な方への、郵送(無料)による録音テープの貸出しを開始する。
平成5年 (1993年)	2月	・谷田部公民館図書室とのオンライン化を図りサービスを開始する。
	4月1日	・図書館職員数25名体制となる。(公民館図書室への司書駐在開始)
	7月1日	・4月1日に開館した筑波公民館図書室とのオンライン化を図り、サービスを開始する。
	10月17日	・図書館情報大学の実習生を受入れる。(以降毎年受入) ・社会福祉法人茨城県盲人協会から、障害者のための活動に対して感謝状を受ける。
平成6年 (1994年)	3月	・司書講習の実習生として全盲の学生を受入れる。
	3月25日	・一日図書館員(小学生)事業を開始する。(以降毎年実施)
	7月	・ボランティアの協力により録音図書の作成を始める。
	10月4日	・学校訪問ブックトークを開始する。(以降毎年実施)
平成7年 (1995年)	3月31日	・平成6年度の貸出冊数が県内公共図書館でトップになる。
	7月1日	・図書館情報システムを更新する。
平成8年 (1996年)	1月25日	・ボランティア朗読講座を開講する。
	4月	・除籍図書のリサイクル事業を開始する。(以降不定期開催)
	7月	・タッチパネル方式の利用者端末機を導入し、機能の充実を図る。 ・ご意見箱「皆さんの声」を設置する。
平成9年 (1997年)	11月28日	・講演会「図書館のススメ」竹内哲氏
	2月21日	・講演会「視覚障害者の読書と図書館」美月めぐみ氏
平成10年 (1998年)	4月1日	・図書館職員26名体制となる。(谷田部、筑波、小野川公民館図書室駐在司書含む。)
	5月	・4月1日に開館した小野川公民館図書室とのオンライン化を図り、サービスを開始する。
平成11年 (1999年)	3月	・堀川理万子原画展を開催する。「リリィおばさんなげキッス」
	7月	・こども相談デスクを設置する。
	10月	・大島英太郎原画展を開催する。

年	月日	事項等
平成12年 (2000年)	4月1日	・図書館職員27名体制となる。
	7月	・図書館情報システムを更新する。
	12月	・自動車図書館「アルス1号」を更新、おひさま号と命名する。
平成13年 (2001年)	4月1日	・図書館職員24名体制となる。
	12月	・自動車図書館「アルス2号」を更新、あおぞら号と命名する。
平成14年 (2002年)	4月1日	・図書館職員23名体制となる。
	11月1日	・稲敷郡荃崎町がつくば市に編入される。
平成15年 (2003年)	2月22日	・ファーストブック講座を開催する。(以降毎年実施)
	3月4日	・「つくば市立図書館の望ましい基準」策定に当たっての基本的な考え方を図書館協議会へ諮問する。
	4月20日	・英語のおはなし会を実施する。(県内初)
	6月1日	・利用カードのデザインを更新する。
	7月1日	・荃崎公民館図書室とのオンライン化を図り、サービスを開始する。 ・図書郵送サービスを開始する。(県内初)
	7月	・学校図書館実務講座を開催する。(2日間) 2か年実施
	3月18日	・「つくば市立図書館の望ましい基準」策定に当たっての基本的な考え方について、図書館協議会から館長へ答申する。
平成16年 (2004年)	4月1日	・図書館協議会委員の公募を行う。
	4月23日	・子どもの読書活動優秀実践図書館として文部科学大臣表彰を受ける。
	10月	・「カラスとカケスの物語」原画展を開催する。
	3月22日	・年間総貸出冊数100万冊を超える。(県内初)
平成17年 (2005年)	4月1日	・図書館専門員設置規則を制定する。専門員7名採用 ・個人貸出しを5冊から10冊に変更する。
	7月1日	・図書館情報システムを更新する。
	8月24日	・つくばエクスプレスが開通する。
	10月	・全国図書館大会茨城大会に参加する。
	11月26日	・茨城県読書推進運動協議会長から活動功績が認められ表彰を受ける。
	12月	・芳川豊氏「おはなしトランプ」原画展を開催する。
	平成18年 (2006年)	1月21日
4月15日		・地域文化ボランティア「おとなのためのブックトーク」を開始する。(以降毎月実施) ・一部の祝日を開館する。(年間6日)

年	月日	事項等
	10月29日	・図書館ボランティアが茨城県教育長から図書館の振興発展に寄与した事が認められ感謝状を受ける。
平成19年 (2007年)	1月21日	・「藤田昌矢氏が語る絵本」講演会を開催する。
	4月1日	・一部の祝日を開館する。(年間5日)
	7月	・「つくば市立図書館における延滞資料の督促に関する事務処理要項」を改正する。
	11月30日	・図書館ボランティアが市長から振興発展の感謝状を受ける。
平成20年 (2008年)	4月1日	・谷田部、筑波、小野川、荃崎公民館図書室への司書駐在を廃止し、図書室業務全般が委託となる。 ・祝日(年間3日)及び月末休館日(年間7日)を開館する。
	4月1日	・図書館職員17名、図書館専門員8名体制となる。 ・祝日(年間7日)及び月末休館日(年間7日)を開館する。
平成21年 (2009年)	7月	・「つくば市立図書館の望ましい基準」(平成16年度策定)の基本的な考え方に関する答申について、内容の検証と評価を図書館協議会へ諮問する。
	9月19日	・サトウユカ氏「ランプの精リトル・ジーニー」クイズラリーと原画展を開催する。(～10月9日)
	10月	・科学フェスティバルに初出展する。
	3月	・年間総貸出冊数が140万冊を超える。(谷田部、筑波、小野川、荃崎公民館図書室分含む。)
平成22年 (2010年)	4月1日	・図書館職員16名、図書館専門員10名体制となる。 ・祝日(年間4日)及び月末休館日(年間7日)を開館する。
	6月	・「つくば市立図書館の望ましい基準」(平成16年度策定)の基本的な考え方に関する諮問について、図書館協議会長から館長及び教育長へ答申される。
	10月	・開館20周年記念事業(おはなしフェスティバルなど)開催。
	3月11日	・東日本大震災の発生により施設や資料が破損し、地震発生時刻から臨時休館する。同月23日から時間短縮(木曜日を除き午後5時閉館)にて再開。
平成23年 (2011年)	4月1日	・公民館が「交流センター」に名称変更となる。 ・祝日(年間4日)及び月末休館日(年間7日)を開館する。
	7月1日	・閉館時間を試行する。(水・土・日午後5時、火・木・金午後7時)

年	月日	事項等
	10月1日	<ul style="list-style-type: none"> ・閉館時間が通常に戻る。(火～金午後7時、土・日午後5時) ・図書館情報システムを更新する。 ・中央図書館ホームページをリニューアルする。
	10月23日	<ul style="list-style-type: none"> ・「おはなしフェスタ 2011」を開催する。 ・科学フェスティバルに出展。(以降毎年出展)
平成24年 (2012年)	4月1日	<ul style="list-style-type: none"> ・図書返却窓口の増設を試行する。(大穂・豊里・並木・広岡の各交流センター) ・祝日(年間6日)及び月末休館日(年間8日)を開館する。
	5月6日	<ul style="list-style-type: none"> ・大規模竜巻が発生し、筑波交流センター図書室が休室する。同月26日から再開。
	10月24日	<ul style="list-style-type: none"> ・「おはなしフェスタ 2012」を開催する。
平成25年 (2013年)	4月1日	<ul style="list-style-type: none"> ・増設した図書返却窓口を継続設置する。(大穂・豊里・並木・広岡の各交流センター) ・祝日(年間6日)及び月末休館日(年間6日)を開館する。
	5月1日	<ul style="list-style-type: none"> ・図書館職員15名、図書館専門員10名体制となる。
	7月	<ul style="list-style-type: none"> ・新任司書教諭補助員研修(4日間)を実施する。(以降毎年実施)
	8月1日	<ul style="list-style-type: none"> ・公園通りの図書館通信「ヨモッカ」第1号を発行する。(以降年2回発行)
	11月9日	<ul style="list-style-type: none"> ・本田尚子氏「里山のきのこ」原画展を開催する。(～11月27日)
平成26年 (2014年)	1月	<ul style="list-style-type: none"> ・「給食ブックトーク」を実施する。(市内4幼稚園)
	3月1日	<ul style="list-style-type: none"> ・市庁舎にブックポストを設置する。
	4月1日	<ul style="list-style-type: none"> ・祝日(年間5日)及び月末休館日(年間6日)を開館する。
	6月	<ul style="list-style-type: none"> ・児童向け図書館だより「こどもヨモッカ」第1号を発行する。(以降年2回発行)
	10月30日	<ul style="list-style-type: none"> ・絵本作家ゴブリン博士小中大地さん作品展(～11月19日)
平成27年 (2015年)	4月1日	<ul style="list-style-type: none"> ・祝日(年間12日)及び月末休館日(年間7日)を開館する。 ・4交流センター図書室の運営が中央図書館に移管される。 ・雑誌スポンサー制度を開始する。 ・あかちゃん向けおはなし会「おはなしぶんぶん」を開始する。(以降毎月実施)
	7月	<ul style="list-style-type: none"> ・開館25周年記念事業(おはなしフェスティバルなど)を開催。
	10月18日	<ul style="list-style-type: none"> ・絵本作家武田美穂氏講演会を開催する。
平成28年 (2016年)	4月	<ul style="list-style-type: none"> ・祝日(年間9日)及び月末休館日(年間6日)を開館する。 ・図書館職員15名、再任用職員1名、図書館専門員10名体制となる。

年	月日	事項等	
平成 29 年 (2017 年)	4 月	<ul style="list-style-type: none"> ・ 祝日(年間 9 日)及び月末休館日(年間 6 日)を開館する ・ 図書館職員 13 名、再任用職員 2 名、図書館専門員 10 名体制となる。 	
	9 月	<ul style="list-style-type: none"> ・ 図書館システムを更新(9 月 18 日～10 月 4 日休館) 	
	10 月	<ul style="list-style-type: none"> ・ 開館時間延長を試行(6 日間) 	
	3 月	<ul style="list-style-type: none"> ・ 所蔵雑誌の保存期間を一部変更(外国語学習雑誌 永年→2 年) 	
平成 30 年 (2018 年)	1 月	<ul style="list-style-type: none"> ・ 荃崎交流センター図書室工事のため休室(1 月 10 日～2 月 3 日) 	
	4 月	<ul style="list-style-type: none"> ・ 祝日(年間 13 日)及び月末休館日(年間 7 日)を開館する。 ・ 図書館職員 14 名、再任用職員 2 名、図書館専門員 10 名体制となる。 ・ 中央図書館の開館時間を土曜日・日曜日も午後 7 時までで延長する(試行)。 	
	4 月	<ul style="list-style-type: none"> ・ 南 2 及び北 2 駐車場の無料サービスを 2 時間までに延長する。 ・ WEB 申込みに限り、4 交流センター図書室への中央図書館在架図書取寄せを開始 	
	7 月 19 日	<ul style="list-style-type: none"> ・ 「つくば市図書館懇話会」を設置(年度内に計 5 回開催) ・ 「第 1 回 つくば市図書館懇話会」が開催される。 	
	9 月 3 日	<ul style="list-style-type: none"> ・ 「第 2 回 つくば市図書館懇話会」が開催される。 	
	10 月 20 日 21 日	<ul style="list-style-type: none"> ・ 「つくば Flower Market & Open Library」に自動車図書館で参加 [中央公園] 	
	11 月 11 日	<ul style="list-style-type: none"> ・ 「世界のゲームで遊ぼう」を開催する。 	
	11 月 24 日	<ul style="list-style-type: none"> ・ 公開シンポジウム「図書館の未来のかたち-つくば市の図書館のこれからを考える-」開催〔市役所本庁舎〕 	
	11 月 26 日	<ul style="list-style-type: none"> ・ 「第 3 回 つくば市図書館懇話会」が開催される。 	
	12 月 5 日	<ul style="list-style-type: none"> ・ 「第 4 回 つくば市図書館懇話会(市内視察)」が開催される。 	
	平成 31 年 (2019 年)	1 月 25 日	<ul style="list-style-type: none"> ・ むいぐるみのおとまり会を開催する。
		1 月 29 日	<ul style="list-style-type: none"> ・ 「第 5 回 つくば市図書館懇話会」が開催される。
3 月 21 日		<ul style="list-style-type: none"> ・ 「つくば VAN 泊」に自動車図書館で参加する。 	
4 月		<ul style="list-style-type: none"> ・ 図書館職員 13 名、再任用職員 2 名、図書館専門員 10 名体制となる ・ 祝日(年間 16 日)及び月末休館日(年間 6 日)を開館する。 ・ つくば市役所コミュニティ棟 1 階オープンスペースへの図書の配置を行う。(365 冊) ・ 自動車図書館の隔週土曜日運行を開始する。 ・ 自動車図書館の一部平日午前運行を開始する。 	
4 月 26 日		<ul style="list-style-type: none"> ・ 「第 6 回 つくば市図書館懇話会」が開催される。 	

年	月日	事項等
令和元年 (2019年)	5月11日	・「ライブラリーピクニック」を開催する。〔つくば美術館屋外展示場〕
	5月12日	
	7月30日	・「第7回 つくば市図書館懇話会」が開催される。
	8月	・市庁舎ブックポストをコミュニティ棟1階に移動する。
	8月29日	・「第8回 つくば市図書館懇話会」が開催される。
	9月	・中央図書館閉架書庫の電動集密書架を改修する。
	9月25日	・「つくば市域図書館連携に関する協定」締結式を挙げる。 ・「第1回つくば市域図書館連携協議会」を開催する。
	10月3日	・「第9回 つくば市図書館懇話会」が開催される。
	10月15日	・「第10回 つくば市図書館懇話会」が開催される。
	10月29日	・JICA 筑波の協力により「The World Week@中央図書館」を開催する。(～11月3日)
	11月2日	・「ライブラリーピクニック」を開催する。〔筑波大学附属図書館〕
11月3日	・「ブックカフェ」を開催する。〔BiVi つくば前〕	
令和2年 (2020年)	2月28日	・新型コロナウイルス(COVID-19)感染拡大防止のため、図書館で開催するイベントの中止を決定。
	3月	・つくば文化会館アルスのエレベーターを改修する。
	3月23日	・つくば市図書館懇話会から教育長へ提言書が提出される。
	4月1日	・図書館職員13名、再任用職員2名、図書館専門員11名体制となる。 ・祝日(年間12日)及び月末休館日(年間5日)を開館とする。
	4月4日	・新型コロナウイルスの感染拡大により政府・茨城県知事から土日・夜間の外出自粛要請が発表されたため、中央図書館及び4交流センター図書室を臨時休館とする。(7日は中央図書館のみ午後5時まで開館。)
	4月5日	
	4月8日	・新型コロナウイルスの感染拡大により首都圏に緊急事態宣言が発令されたため、中央図書館及び4交流センター図書室を臨時休館とし、自動車図書館やブックポスト、Webサービスも含めたすべての図書館サービスを休止。5月12日以降、段階的に再開。
	10月	・中央図書館及びアルスホールの照明をLED化する。
10月1日	・資料や座席の除菌のため「UV-C紫外線照射自動巡回ロボット」を試験的に導入する。	
令和3年 (2021年)	1月5日	・国立国会図書館デジタル化資料送信サービスにおいて、国立国会図書館デジタルコレクションの複写サービスを開始する。

年	月日	事項等
	1月18日	・茨城県独自の緊急事態宣言発令による市内の全交流センター休館に伴い、4交流センター図書室を2月7日まで臨時休室とする(予約本の受取及びブックポストへの返却は可能)。中央図書館は滞在型サービスを休止して開館。
	3月	・「つくば文化会館アルス長寿命化計画」を策定する。 ・中央図書館閉架書庫の電動集密書架を改修する。
	4月1日	・図書館職員12名、再任用職員3名、図書館専門員12名体制となる。
	5月1日	・茨城県立図書館が提供する「インターネットによる遠隔地貸出サービス(ぶつくびん)」に参加する。
	6月1日	・「つくば市域図書館連携に関する協定書」に基づき、筑波大学附属図書館との直接の相互貸借を開始する。
	8月7日 8日	・「本のふくぶくろ」実施。(以降毎年実施)
	8月18日	・新型コロナウイルス感染拡大に伴う国の緊急事態宣言及び茨城県の非常事態宣言を受け、臨時休館。(～9月23日)
令和4年 (2022年)	4月1日	・職員15名、再任用職員3名、図書館専門員11名体制となる。 ・自動車図書館3号車を導入し、運行を開始。自動車図書館のステーション数を増加する。(ステーション50か所)
	8月2日	・下妻市、土浦市と広域利用サービスを開始。
	9月	・図書館システム更新。(9月20日～10月3日休館)
	10月	・自動車図書館のステーション数を増加する。(ステーション54か所)
	10月4日	・電子図書館サービスの提供を開始。
	10月4日	・予約した本の受取館としてサービスポイントを増設する。〔市庁舎(コミュニティ棟)〕
令和5年 (2023年)	3月30日	・「つくスマ」アプリ内で図書館利用カードの電子化サービスを開始。
	4月1日	・職員13名、再任用職員4名、図書館専門員12名体制となる。 ・自動車図書館のステーション数を増加する。(ステーション57か所)
	5月13日 14日	・「ライブラリーピクニック」を開催する。遠隔ロボット(オリヒメ)による絵本読み聞かせの実施。〔つくば美術館屋外展示場〕
	6月13日	・予約した本の受取館としてサービスポイントを増設する。〔かとりだい交流館〕

13 年間統計

中央図書館統計(2年度比較)			令和4年度(2022年度)	令和3年度(2021年度)
開館状況	1	開館日数	285 日	260 日
	2	開館時間	2,687 時間	2,450 時間
登録等	3	常住人口(各年10.1現在)	252,481 人	246,784 人
	4	入館者数(一日当たりの入館者数)	478,875人(1,680人)	435,851 人(1,676 人)
	5	登録者数	42,375 人	41,392 人
	6	うち市外居住者数(うち広域利用者)	1,168 人(63 人)	1,099 人
蔵書	7	図書資料冊数	294,844 冊	293,487 冊
	8	うち開架図書数	163,132 冊	161,994 冊
	9	うち自動車図書館	41,811 冊	42,407 冊
	10	視聴覚資料数(CD・DVD・ビデオ等)	13,199 点	13,679 点
	11	雑誌数	10,705 冊(212 種)	10,606 冊(213 種)
	12	新聞数	32 紙	32 紙
	13	電子書籍	1,468 点	-
団体	13	団体登録	86 団体	69 団体
	14	団体利用	126 団体	120 団体
	15	団体貸出冊数	8,187 冊	7,212 冊
個人貸出	16	貸出者数(うち児童数)	238,064 人(52,526 人)	220,254 人(47,606 人)
	17	一日当たり貸出者数	835.3 人	847.1 人
	18	貸出総数	1,014,285 冊(点)	956,241 冊(点)
	19	利用者一人当たりの貸出数	4.02 冊(点)	4.34 冊(点)
		電子書籍貸出総数	6,586 冊(点)	-
	20	視聴覚機器利用者数	695 人	869 人
受入	21	年間資料購入総額(決算額)	33,072 千円	32,926 千円
	22	内訳 ①図書資料	26,893 千円	26,882 千円
	23	②視聴覚資料	2,855 千円	2,854 千円
	24	③雑誌	2,341 千円	2,232 千円
	25	④新聞	983 千円	958 千円
	26	受入資料総数(雑誌を除く)	17,081 冊(点)	15,877 冊(点)
	27	内訳 ①購入図書	15,998 冊	14,837 冊
	28	②購入視聴覚	330 点	372 点
	29	③寄贈他	593 冊(点)	668 冊(点)
除籍	30	年間除籍資料数(雑誌を除いた除籍数)	16,146(13,562) 点	15,545(12,829) 点

注釈

1. 蔵書とは、図書資料、視聴覚資料(CD・DVD等)、雑誌及び新聞などを指す。
2. 貸出者数及び貸出資料総数には、自動車図書館・本庁舎コミュニティ棟の利用者も含む。
3. 4各交流センター図書室のデータは含まない。

I 中央図書館統計(月別)

	開館日数	入館者数	貸出人数 (団体含む)	貸出冊数 (団体含む)	予約・リクエスト 件数	視聴覚 機器利用 人数
4月	25	39,802	18,877	83,550	12,961	48
5月	26	43,317	20,084	88,061	13,739	59
6月	26	41,454	19,340	83,760	13,315	56
7月	26	48,711	21,332	94,570	14,096	99
8月	26	48,503	20,596	89,320	14,321	110
9月	17	29,023	14,308	63,396	9,528	50
10月	24	38,748	18,144	81,404	13,964	44
11月	24	38,906	18,498	80,301	15,052	37
12月	23	35,782	18,120	78,817	14,350	48
1月	24	38,829	18,760	81,736	15,629	47
2月	19	34,756	16,693	72,308	13,918	42
3月	25	41,044	18,989	81,912	15,142	55
合計	285	478,875	223,741	979,135	166,015	695
日平均		1,680	785	3,436	583	2
月平均	24	39,906	18,645	81,595	13,835	58

II 有効登録者数(年齢別)

年齢	登録者数	比率 (%)
0～6	1,911	4.5
7～12	8,726	20.7
児童小計	10,637	25.2
13～15	1,629	3.9
16～18	1,169	2.8
19～22	2,177	5.2
23～29	2,730	6.5
30～39	5,804	13.8
40～49	7,813	18.5
50～59	4,461	10.6
60～	5,787	13.7
一般小計	31,570	74.8
個人計	42,207	100
団体等計	168	
総計	42,375	

III 貸出人数(館別・年齢別)

年齢	中央	自動車	谷田部	筑波	小野川	荃崎	本庁舎 コミュニティ棟	電子	郵送	合計	比率 (%)
0～6	13,072	3,436	3,217	678	1,818	758	115	74	0	23,168	6.6
7～12	29,996	5,802	5,662	1,553	3,522	2,318	109	1,110	0	50,072	14.2
児童小計	43,068	9,238	8,879	2,231	5,340	3,076	224	1,184	0	73,240	20.8
13～15	5,361	41	578	347	601	378	17	75	0	7,398	2.1
16～18	3,248	4	209	184	303	96	7	18	0	4,069	1.2
19～22	5,575	6	195	239	119	151	3	85	0	6,373	1.8
23～29	6,726	99	845	291	488	195	75	195	0	8,914	2.5
30～39	29,493	579	7,184	1,157	3,189	1,697	537	1,147	1	44,984	12.8
40～49	52,391	761	10,191	3,156	6,148	3,285	699	1,724	2	78,357	22.2
50～59	33,791	346	3,854	2,287	5,774	2,671	302	1,212	0	50,237	14.2
60～	43,400	1,242	6,832	4,368	8,170	13,389	277	946	0	78,624	22.3
一般小計	179,985	3,078	29,888	12,029	24,792	21,862	1,917	5,402	3	278,956	79.1
相互貸借	562									562	0.2
個人計	223,615	12,316	38,767	14,260	30,132	24,938	2,141	6,586	3	352,758	100
団体計	126									126	
総計	223,741	12,316	38,767	14,260	30,132	24,938	2,141	6,586	3	352,884	
比率(%)	63.4	3.5	11.0	4.0	8.5	7.1	0.6	1.9	0.0	100	

IV 蔵書冊数(館別・資料区分別)

資料区分	中央	自動車	谷田部	筑波	小野川	荃崎	電子	合計
一般図書	166,627	14,898	33,072	16,888	17,422	35,301	1,042	285,250
ヤング	6,481	0	0	0	0	0	0	6,481
児童図書	68,981	26,913	15,852	15,515	14,004	15,537	426	157,228
外国語一般	7,541	0	0	0	0	1	0	7,542
外国語児童	3,403	0	180	12	43	28	0	3,666
視聴覚資料	13,199	0	0	7	0	0	0	13,206
雑誌	10,705	0	743	1,393	667	827	0	14,335
全資料合計	276,937	41,811	49,847	33,815	32,136	51,694	1,468	487,708
比率(%)	56.8	8.6	10.2	6.9	6.6	10.6	0.3	100

※一般図書には、文庫、参考図書、郷土資料、市政資料、教科書を含む。

※児童図書には、絵本、紙芝居を含む。

V 受入冊数(館別)

	中央	自動車	谷田部	筑波	小野川	荃崎	電子	合計
受入冊数	15,792	2,505	1,555	1,368	1,376	1,424	1,468	25,488

※電子書籍を含む

VI 貸出冊数(館別・資料区分別)

資料区分	中央	自動車	谷田部	筑波	小野川	荃崎	本庁舎 コミュニティ棟	電子	郵送	合計	比率 (%)
一般図書	338,464	9,095	59,375	26,872	43,288	46,013	1,833	4,477	6	529,423	35.4
文庫	59,224	79	6,611	2,500	6,373	11,804	173	0	0	86,764	5.8
ヤング	58,306	0	198	50	120	119	5	0	0	58,798	3.9
外国語一般	2,549	0	28	5	21	11	1	0	0	2,615	0.2
参考図書	25	0	3	1	11	0	0	0	0	40	0.0
地域資料	1,395	2	244	284	357	200	2	0	0	2,484	0.2
市政資料	111	0	1	1	10	0	0	0	0	123	0.0
教科書	229	0	5	0	6	0	1	0	0	241	0.0
児童図書	233,887	23,338	45,990	13,407	34,361	21,426	1,087	1,308	0	374,804	25.0
絵本	191,060	10,761	57,222	13,443	33,139	15,416	1,388	801	0	323,230	21.6
紙芝居	7,572	61	1,776	443	696	202	8	0	0	10,758	0.7
外国語児童	8,395	1	109	7	68	41	4	0	0	8,625	0.6
視聴覚資料	52,267	0	0	0	0	3	0	0	0	52,270	3.5
雑誌	25,651	0	6,571	3,409	5,513	5,037	64	0	0	46,245	3.1
分類不明	0	1	0	0	0	0	0	0	0	1	0.0
計	979,135	43,338	178,133	60,422	123,963	100,272	4,566	6,586	6	1,496,421	100
比率(%)	65.4	2.9	11.9	4.0	8.3	6.7	0.3	0.4	0.0	100	
開館日数	285	191	285	285	284	285	139				
一日平均	3,436	227	625	212	436	352	33				
うち団体貸出	8,187										

VII 貸出冊数(全館・分類別)

分類	冊数	うち電子	比率(%)
0 総記	16,339	324	1.1
1 哲学	32,684	255	2.2
2 歴史	78,362	435	5.2
3 社会	68,986	679	4.6
4 自然	115,020	1,047	7.7
5 技術	98,955	747	6.6
6 産業	26,991	282	1.8
7 芸術	80,868	343	5.4
8 言語	13,798	212	0.9
9 文学	89,837	311	6.0
N 小説	346,678	1,150	23.2
W 大活字本	3,028	-	0.2
T 市政資料	123	-	0.0
PC コンピュータ	2,939	-	0.2
TB 教科書	241	-	0.0
E 絵本	327,719	801	21.9
C 紙芝居	10,762	-	0.7
M コミック	83,456	-	5.6
S 進路情報	437	-	0.0
TE 点字	684	-	0.0
Z 雑誌	46,237	-	3.1
A 録音資料	21,015	-	1.4
V 映像資料	31,255	-	2.1
X その他	7	-	0.0
合計	1,496,421	6,586	100

※映像資料含む

VIII 蔵書冊数(全館・分類別)

分類	冊数	比率(%)
0 総記	9,989	2.0
1 哲学	12,087	2.5
2 歴史	36,876	7.6
3 社会	35,007	7.2
4 自然	32,885	6.7
5 技術	28,660	5.9
6 産業	11,916	2.4
7 芸術	33,793	6.9
8 言語	7,359	1.5
9 文学	67,065	13.8
N 小説	100,766	20.7
W 大活字本	2,797	0.6
T 市政資料	3,346	0.7
PC コンピュータ	697	0.1
TB 教科書	361	0.1
E 絵本	62,375	12.8
C 紙芝居	3,653	0.7
M コミック	8,474	1.7
S 進路情報	353	0.1
TE 点字	246	0.1
Z 雑誌	14,329	2.9
A 録音資料	7,602	1.6
V 映像資料	5,604	1.1
電一般	1,042	0.2
電児童	345	0.1
電絵本	81	0.0
X その他	0	0.0
合計	487,708	100

※映像資料含む

IX 予約・リクエスト受付件数

中央	166,015
自動車	284
谷田部	3,240
筑波	2,040
小野川	2,572
荃崎	3,915
電子	2,259
合計	180,325

リクエスト受付場所内訳
(中央のみ)

窓口	1,827
Web	4,975
自動車	82
合計	6,884

交流センター図書室から
中央図書館への購入依頼

谷田部	85
筑波	35
小野川	140
荃崎	258
合計	518

X その他統計(5年度比較)

		令和4年度	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度	
相互貸借	合計冊数	2,401	2,479	1,881	2,126	1,854	
	貸出冊数	658	617	532	662	656	
	借受冊数	1,743	1,862	1,349	1,464	1,198	
	借受先 内訳	国	7	1	1	0	1
		県外	10	27	5	6	16
県内		1,726	1,834	1,343	1,458	1,181	
複写	受付件数	685	718	710	1,045	1,220	
オンライン データベース (新聞情報室)	利用件数計	62	91	25	28	23	
	内訳	新聞・官報 データベース	52	50	23	28	23
		国会図書館デジタル化 資料送信サービス	10	41	2	—	—
視聴覚ブース	機器利用人数	695	869	394	2,301	2,678	
調査相談	件数合計	1,458	1,440	1,389	1,608	1,808	
	内訳	口頭	1,401	1,383	1,340	1,469	1,678
		電話	50	42	45	65	114
		電子メール	7	15	4	74	16
音訳サービス	朗読CD郵送枚数	120	128	256	222	247	
WebOPAC	検索件数	1,985,874	1,716,719	1,560,611	1,351,947	1,235,690	
駐車場	駐車券サービス枚数	68,457	61,460	56,479	74,789	57,215	
館外返却	返却冊数計	37,112	29,850	24,217	34,042	30,697	
	内訳	つくば市役所 コミュニティ棟	22,317	17,807	14,135	20,835	16,524
		大穂交流センター	4,280	3,510	3,581	4,436	4,317
		豊里交流センター	1,848	1,553	1,430	1,761	2,220
		並木交流センター	7,276	6,774	4,999	6,932	7,586
		島名交流センター	1,276	166	—	—	—
広岡交流センター	115	40	72	78	50		
中央図書館入館者数		478,875	434,851	393,376	559,798	571,642	
アルスホール	利用件数	353	298	181	276	254	
予算 (千円)	A. 市の一般会計予算	101,532,000	89,713,000	88,525,000	88,040,000	85,617,000	
	B. 図書館費	414,989	405,231	420,383	387,186	332,795	
	(Aに占める割合)	(0.41%)	(0.45%)	(0.47%)	(0.44%)	(0.39%)	
	C. 資料費 合計	57,705	50,214	43,926	43,851	43,708	
	(Bに占める割合)	(13.91%)	(12.39%)	(10.45%)	(11.33%)	(13.13%)	
	図書資料	38,140	32,877	35,600	35,500	35,500	
	図書装備委託料	1,328	1,004	—	—	—	
	視聴覚資料	2,860	2,860	3,400	3,500	3,500	
	雑誌	3,644	3,230	3,230	3,225	3,086	
	新聞	1,151	1,139	1,172	1,144	1,146	
電子書籍	10,032	8,580	—	—	—		
加除式法規集	550	524	524	482	476		

注釈

予算については、4交流センター図書室の運営に要する経費も含む。

14 ボランティア活動状況

登録状況 令和4年度(2022年度)

分野	おはなし	児童サービス	修理	音訳	点訳	国際化サービス	配架	地域文化	地域資料	図書館サポーター
登録人数	54	17	29	17	12	9	29	13	13	34

活動状況

分野	おはなし		児童サービス		修理		音訳		点訳		国際化サービス		配架		地域文化		地域資料		図書館サポーター	
	活動日数	延人数	活動日数	延人数	活動日数	延人数	活動日数	延人数	活動日数	延人数	活動日数	延人数	活動日数	延人数	活動日数	延人数	活動日数	延人数	活動日数	延人数
4月	6	12	1	4	8	52	4	15	1	12	0	0	45	45	2	13	4	20	0	0
5月	6	12	0	0	8	53	4	17	1	11	0	0	41	41	2	14	3	15	0	0
6月	8	24	2	6	9	79	3	12	1	9	0	0	63	63	3	20	5	22	0	0
7月	8	23	0	0	7	52	3	12	1	10	0	0	54	54	3	19	6	24	0	0
8月	5	8	2	2	4	30	4	18	0	0	0	0	49	49	2	14	2	9	0	0
9月	3	6	1	7	0	0	3	10	0	0	0	0	33	33	0	0	0	0	0	0
10月	6	12	2	6	7	51	3	15	1	8	0	0	46	46	2	17	4	18	0	0
11月	7	14	1	1	9	63	3	13	1	8	0	0	51	51	2	15	4	21	0	0
12月	6	13	1	6	8	58	3	15	1	7	0	0	40	40	2	12	4	14	3	5
1月	7	14	1	3	7	50	0	0	1	6	0	0	46	46	2	14	4	14	0	0
2月	7	15	1	1	6	37	0	0	1	8	0	0	42	42	2	11	3	9	0	0
3月	7	14	2	5	8	53	0	0	1	7	0	0	51	51	2	12	5	14	0	0
計	76	167	14	41	81	578	30	127	10	86	0	0	561	561	24	161	44	180	3	5

ボランティア活動実績

◆おはなしボランティア

- ・ おはなし会 毎週土曜日 令和4年度延べ聴衆数 1,539人
- 第1土曜 「荖崎おはなし会」 第3土曜 「おはなしまつぽっくり」
- 第2土曜 「おはなしの泉」 第4土曜 「おはなしの森」
- 第5土曜(ない月は第4日曜) 「筑波大学ストーリーテリング研究会」
- ・ 「グループ・スイミー」公演 6月25日(土)
- ・ 「パネルシアターかくれんぼ&ゆめぼっぼ」公演 7月9日(土)

◆児童サービスボランティア

- ・ こどもコーナーの配架及び書架整理
- ・ クリスマスカード作成(12月)

◆修理ボランティア

- ・ 毎週火・水曜日 令和4年度修理冊数1,961冊

◆音訳ボランティア

- ・ 毎月3回程度 「声の常陽リビング及びミニ情報」作成 希望者へ音訳CDを配布 常陽リビング12月で休刊

◆点訳ボランティア

- ・ 毎月第3木曜日 点訳絵本の作成

◆地域文化ボランティア

- ・ 「本好きのためのゆるっとトークルーム」 毎月第1土曜日
- ・ 「おとなのためのブックトーク」 毎月第3土曜日
- ・ 佐藤国男さん原画(版画)展 令和5年2月11日(土)～3月9日(木)

◆地域資料ボランティア

- ・ 毎週水曜日 つくば市関連の新聞記事を集めた「つくばトピックニュース」の作成

◆地域資料ボランティア

- ・ ランタンアート2022の図書館部分設置等

15 所蔵雑誌一覧

★…新規購読誌 谷田部→谷／筑波→筑／小野川→小／茎崎→茎

一般・外国語（誌名50音順）				交流センター 所蔵状況	雑誌スポンサー名
No.	誌名	刊行頻度	保存年限 (中央館)		
あ					
1	I/O(アイオー)	月刊	2年		
2	AERA	週刊	1年		
3	AERA with Kids	季刊	2年		(株)Kids Creation
4	アクアライフ	月刊	2年		
5	AXIS	隔月	2年		
6	明日の友	隔月	2年		
7	アニメージュ	月刊	2年		
8	安心	月刊	2年		
9	&プレミアム	月刊	2年		
10	一個人	季刊	2年	筑・小	
11	一枚の繪	隔月	2年		
12	イラストレーション	季刊	2年		
13	Wedge	月刊	2年		
14	★UOMO(ウオモ)	月刊	2年		
15	うかたま	季刊	2年		
16	歌の手帖	月刊	2年		
17	美しいキモノ	季刊	2年		
18	栄養と料理	月刊	2年		イセファーム(株)
19	エコノミスト	週刊	2年		
20	SFマガジン	隔月	2年		
21	ESSE	月刊	2年	谷・筑・小・茎	
22	NHKきょうの健康	月刊	2年	谷・筑・小・茎	
23	NHKきょうの料理	月刊	2年	谷・筑・小・茎	
24	NHK趣味の園芸	月刊	2年	谷・筑・小・茎	
25	NHKすてきにハンドメイド	月刊	2年	谷・筑・小・茎	
26	NHKみんなのうた	隔月	2年		
27	FG JAPAN	季刊	2年		(株)Kids Creation
28	MJ無線と実験	月刊	2年		
29	LDK ※中央館所蔵なし	月刊	2年	谷・筑・小(2年)	
30	ELLE DÉCOR	年5	2年		(有)ホームシック
31	園芸ガイド	季刊	2年		
32	ENGINE	月刊	2年		
33	OCEANS	月刊	2年		
34	OZ magazine	月刊	2年		
35	Oggi	月刊	2年		
36	男の隠れ家	月刊	2年		
37	おとなの週末	月刊	2年		
38	おりがみ	月刊	2年		
39	オール讀物	月刊	2年		
40	オレンジページ	月2	2年	谷・筑・小	(株)Kids Creation
-	English journal 2023年1月号で購読停止	月刊	2年		
か					
41	カー&ドライバー	月刊	2年		
42	科学	月刊	2年		
43	岳人	月刊	2年		
44	学校図書館	月刊	2年		
45	家庭画報	月刊	2年	茎	

一般・外国語（誌名50音順）				交流センター 所蔵状況	雑誌スポンサー名
No.	誌名	刊行頻度	保存年限 (中央館)		
46	からだにいいこと	隔月	2年		
47	ガルビィ	年5	2年		かなめ測量(株)
48	キネマ旬報	月2	2年		
49	CAPA(キャパ)	月刊	2年		
50	クーヨン	月刊	2年		えほんやなずな
51	暮らしの手帖	隔月	2年	谷・筑・小・荃	特定非営利活動法人明豊会
52	Clara	月刊	2年		
53	CREA Traveller	季刊	2年		
54	クロワッサン	月2	2年	筑・小・荃	
55	群像	月刊	2年		
56	芸術新潮	月刊	永年		
57	月刊自家用車	月刊	2年		
58	現代詩手帖	月刊	2年		
59	現代農業	月刊	2年		
60	航空ファン	月刊	2年		
61	コットンタイム	隔月	2年		
62	kodomoe(コドモエ)	隔月	2年	谷	(株)Kids Creation
63	こどもとしゃかん	季刊	2年		
64	子供の科学	月刊	2年	谷・筑・小・荃	
65	ゴルフダイジェスト	月刊	2年		
66	碁ワールド	月刊	2年		
さ					
67	Cycle Sports	月刊	2年		
68	サッカーマガジン	隔月	2年		
69	THE21	月刊	2年		
70	サライ	月刊	2年	筑・荃	
71	サンデー毎日	週刊	2年		
72	散歩の達人	月刊	2年	谷・荃	
73	JTB時刻表	月刊	1年		
74	CNN English Express	月刊	2年		
75	CD journal	季刊	2年		
76	Jazz Life	月刊	2年		
77	週刊ダイヤモンド	週刊	2年		
78	週刊東洋経済	週刊	2年		
79	週刊文春	週刊	2年		
80	週刊ベースボール	週刊	2年		
81	ジュニアエラ	月刊	2年		(株)Kids Creation
82	将棋世界	月刊	2年		
83	小説幻冬	月刊	2年		
84	小説新潮	月刊	2年		
85	常陽藝文(寄贈) * 2	月刊	永年		
86	新建築 住宅特集	月刊	2年		
87	新潮	月刊	2年		
88	SWITCH	月刊	2年		
89	スイミング マガジン	月刊	2年		
90	数学セミナー	月刊	2年		
91	スクリーン	月刊	2年		
92	Stereo	月刊	2年		
93	STORY	月刊	2年		

一般・外国語（誌名50音順）				交流センター 所蔵状況	雑誌スポンサー名
No.	誌名	刊行頻度	保存年限 (中央館)		
94	すばる	月刊	2年		
95	住まいの設計	隔月	2年		
96	スマッシュ	月刊	2年		
97	墨	隔月	2年		
98	相撲	月刊	2年		
99	正論	月刊	2年		
100	世界	月刊	2年		
101	装苑	隔月	2年		
102	ソトコト	隔月	2年		
た					
103	ダ・ヴィンチ	月刊	2年	筑	アカデミックエクスプレス株式会社
104	Tarzan	月2	2年		つくば電気管理事務所
105	★多聴多読マガジン	隔月	2年		
106	卓球王国	月刊	2年		
107	旅の手帖	月刊	2年	茎	
108	短歌	月刊	2年		
109	dancyu	月刊	2年	小	
110	中央公論	月刊	2年		
111	つり人	月刊	2年		
112	Discover Japan	月刊	2年		
113	Disney fan	月刊	2年		
114	鉄おも!	月刊	2年		
115	鉄道ファン	月刊	2年		
116	電子工作マガジン	季刊	2年		
117	天然生活	月刊	2年	谷・筑・小・茎	atelier ゴーシュ
118	天文ガイド	月刊	2年		
119	ドゥーパ!	隔月	2年		
120	図書館雑誌(寄贈)	月刊	永年		
121	飛ぶ教室	季刊	2年		(株)Kids Creation
な					
122	なごみ	月刊	2年		
123	Number	隔週	2年		
124	Nicola	月刊	2年		
125	日経woman	月刊	2年		
126	日経サイエンス	月刊	2年		ラボ整理研究室
127	日経トレンディ	月刊	2年	谷	
128	日経パソコン	月2	2年		
129	日経ビジネス	週刊	2年		
130	日経PC21	月刊	2年	筑	
131	日経マネー	月刊	2年		
132	Newsweek(日本版)	週刊	2年		
133	Newsがわかる	月刊	2年		(株)Kids Creation
134	Newton	月刊	2年		
135	★猫びより	季刊	2年		
136	ノジュール	月刊	2年		
137	Non-no	月刊	2年		
-	ねこ 2022年冬号(1月発行)で購読停止	季刊	2年		

一般・外国語（誌名50音順）				交流センター 所蔵状況	雑誌スポンサー名
No.	誌名	刊行頻度	保存年限 (中央館)		
は					
138	俳句	月刊	2年		
139	ハウジング	隔月	2年		
140	バスケットボール	月刊	2年		
141	Birder	月刊	2年		
142	Hanako	月刊	2年		
143	母の友	月刊	2年	筑	
144	バレーボール	月刊	2年		
145	ピアノ	月刊	2年		
146	PHP	月刊	2年	茎	
147	美術手帖	季刊	永年		
148	美的	月刊	2年		
149	Be-pal	月刊	2年		
150	Forbes JAPAN	月刊	2年		
151	婦人画報	月刊	2年		
152	婦人公論	月刊	2年	筑・小・茎	
153	婦人之友	月刊	2年	小	
154	武道(寄贈)*1	月刊	2年		
155	BRUTUS	月2	2年		つくば電気管理事務所
156	プレジデント	月2	2年		アカデミックエクスプレス株式会社
157	プレジデントFamily	季刊	2年		(株)Kids Creation
158	フローリスト	隔月	2年		
159	文學界	月刊	2年		
160	文藝	季刊	2年		
161	文藝春秋	月刊	2年	谷・筑・小・茎	
162	Baby-mo(ベビモ)	季刊	2年		(株)Kids Creation
163	Pen	月刊	2年		
164	Voice	月刊	2年		
165	法学教室	月刊	2年		
166	本の雑誌	月刊	2年		
ま					
167	Mac Fan	月刊	2年		
168	MAMOR(寄贈)*1	月刊	2年		
169	Mr. PC	季刊	2年		
170	ミステリマガジン	隔月	2年		
171	ミセスのスタイルブック	季刊	2年		
172	milsil(寄贈)	隔月	2年		
173	MEN'S NON-NO	月刊	2年		
174	MORE	月刊	2年		
175	MOE	月刊	2年	谷	
176	モーターサイクリスト	月刊	2年		
177	モダンリビング	隔月	2年		(有)ホームシック
178	モノマガジン	月2	2年		
-	MEN'S CLUB 2023年2・3月号で購読停止	年11	2年		
や					
179	やさい畑	隔月	2年	筑	
180	山と溪谷	月刊	2年		
181	ゆうゆう	月刊	2年	茎	ラボ整理研究室

一般・外国語（誌名50音順）				交流センター 所蔵状況	雑誌スポンサー名
No.	誌名	刊行頻度	保存年限 (中央館)		
らわ					
182	ラジコンマガジン	月刊	2年		
183	ランナーズ	月刊	2年		
184	LEE	月刊	2年	谷	特定非営利活動法人明豊会
185	留学ジャーナル	季刊	2年		
186	レコード芸術	月刊	2年		
187	歴史街道	月刊	2年		
188	歴史群像	隔月	2年		
189	レタスクラブ ※中央館所蔵なし	月2		茎(2年)	
190	ROKIN' ON JAPAN	月刊	2年		
191	Wan(わん)	季刊	2年		
外国語					
192	Better Homes and Gardens	月刊	2年		
193	ESQUIRE	月刊	2年		
194	Hir@gana times	月刊	2年		
195	National Geographic	月刊	永年		
196	National Geographic KIDS	年10	2年		
197	Reader's Digest(英語版)	月刊	2年		
198	SCIENTIFIC AMERICAN	月刊	2年		
199	TIME	隔週	2年		
200	VOGUE	月刊	2年		
201	亞洲週刊(中国語)	週刊	1年		
202	天下雜誌(中国語)	月2	2年		
203	Sélection Reader's Digest(フランス語)	年10	2年		
204	LA CUCINA ITALIANA	月刊	2年		

* 1 寄贈雑誌架(前年雑誌棚内) * 2 地域資料コーナー

児童 * 3				交流センター 所蔵状況	雑誌スポンサー名
No.	誌名	刊行頻度	保存年限 (中央館)		
205	かがくのとも	月刊	永年	筑	
206	こどものとも	月刊	永年	谷・筑・茎	
207	こどものとも 0・1・2	月刊	永年	谷・筑・小・茎	
208	こどものとも 年少版	月刊	永年		
209	こどものとも 年中向き	月刊	永年	筑	
210	この本読んで	季刊	永年	谷・筑・小・茎	
211	宇宙(そら)のとびら	季刊	永年		
212	たくさんのふしぎ	月刊	永年		
213	ちいさなかがくのとも	月刊	永年		
214	テルミ:点字資料	隔月	永年		

* 3 子どもコーナー

16 所蔵新聞一覧

中央図書館所蔵新聞

	紙名	保存期間
一般紙		
1	朝日新聞	2年
2	産経新聞	1年
3	日本経済新聞	2年
4	毎日新聞	2年
5	読売新聞	2年
6	朝日新聞（夕刊）	2年
7	日本経済新聞（夕刊）	2年
8	毎日新聞（夕刊）	2年
9	読売新聞（夕刊）	2年
スポーツ紙		
10	スポーツ報知	1年
11	日刊スポーツ	1年
専門紙		
12	日刊工業新聞	1年
13	日経産業新聞	1年
14	日経MJ（日経流通新聞）	1年
地方紙		
15	茨城新聞	2年
16	東京新聞	1年
17	福島民報	1年
18	福島民友	1年

4 交流センター図書室所蔵新聞

	紙名	保存期間
1	日本経済新聞	6ヶ月

	紙名	保存期間
政党機関紙		
19	しんぶん赤旗	1年
20	公明新聞	1年
21	社会新報	1年
22	自由民主	1年
23	週刊新社会	1年
学生・児童向け		
24	朝日小学生新聞	1年
25	毎日小学生新聞	1年
26	The Japan Times Alpha	1年
27	常陽小学生新聞	2年
外国語新聞		
28	The Japan News	1年
29	The Japan Times / International-New York Times	1年
30	人民日報（中国）	1年
31	東亜日報（韓国）	1年

17 雑誌スポンサー制度

つくば市立図書館では、雑誌資料提供の場を広告媒体として活用することにより、民間事業者等の情報発信の場を提供するとともに、図書館の財源を確保し、所蔵資料、施設、サービスのより一層の充実を図り、地域と連携し図書館からつくばの教育を応援することを目的として、雑誌スポンサー制度を実施しています。

令和5年度（2023年度）は10件のスポンサー様が22誌の雑誌に広告を掲出しています。
（7月1日現在）

スポンサーになっていただいた事業者に対して、以下の内容を図書館で実施しています

- ① 選択いただいた雑誌の最新号カバー及び棚蓋にスポンサー名及び広告を掲出します。
- ② 図書館ホームページや館内掲示等でスポンサー名を紹介します。
- ③ スポンサーがつくばの教育を応援してくださっていることをPRできるように、企業や店舗などに掲示物を提供します。

スポンサー料は雑誌1誌につき15,000円（年度途中からは月額1,250円として算出）。支払い方法は、納入通知書での振込みとなり、支払いに必要な一切の経費はスポンサー負担になります。スポンサー認定期間は年度を単位として、決定の翌月から当該年度末までです（更新可能）。

詳しい雑誌リストや申込要件・方法等については、図書館ホームページを御覧いただくか、中央図書館までお問合せください。

※掲出例

雑誌カバー



雑誌の棚蓋



令和5年度 つくば市の図書館概要

発行 令和5年(2023年)8月
発行者 つくば市立中央図書館
つくば市吾妻二丁目8番地
TEL 029(856)4311
FAX 029(856)6277



yomocca

公園通りの図書館通信

2023年(令和5年)8月発行 No.19
発行:つくば市立中央図書館

ヨモツカ

手書き派のあなたへ

キロクノススメ

読書ノート、はじめてみませんか？

☑ あてはまるものにチェック！ /

- 以前読んだ本のタイトルが思い出せない。
- 読んだ本の内容を忘れてしまう。
- 読みたいと思っていた本のタイトルが思い出せない。

こんなお悩みがある方、実は多いのではないのでしょうか？ここでは手書きならではの良さを生かした、ノート作りに役立つ本を紹介します。みなさんも自分の本棚を作るように、読書ノートを楽しんでみませんか。

読書ノート作りに役立つ本

「モレスキンのある素敵な毎日」
中牟田洋子/著 大和書房 002.7ナ

モレスキンはゴッホやピカソ、ヘミングウェイなどに愛された「伝説のノート」で、丈夫なつくりや書き心地の良さなど、こだわりが詰まったノートです。モレスキン愛用者たちの独創的な使い方を紹介しています。

「読書は1冊のノートにまとめなさい」 100円ノートで確実に頭に落とすインストール・リーディング
奥野宣之/著 ナナ・コーポレート・コミュニケーション 019オ

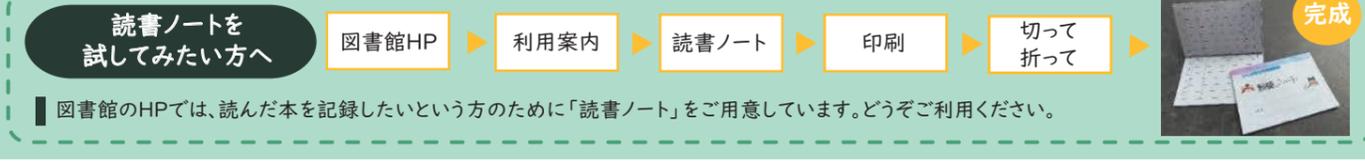
気軽に手に入る大学ノートを使った読書ノート術を紹介。書いて終わりの読書ノートではなく、読みたい本を探るところから読了後の活用法まで具体的に教えてくれます。

「わたしのノートの使い方」
好きが見つかる!楽しいが増える!
KADOKAWAライフスタイル統括部/編 KADOKAWA 002.77

人気文具メーカーSNS担当者など23人のノート術を紹介。カラフルなノートはマネしたくなるアイデアが満載です。コラムでは、ノート作りが楽しくなる文房具も紹介されていて、あれこれ試してみたいです。

「毎日を自分らしく生きるための小さいノート活用術」
みんなの使用例74
高橋拓也/著 玄光社 002.79

持ち歩きに便利な小さいノートを使った、様々な記録方法を紹介します。実際のノートとフォーマットの解説があり、何から書いて良いかわからない人にもおすすめです。読書通帳というユニークなアイデアも。



こんな本はいかが？

※ 選択肢は1面右下にあります。キャラクターを選んでね。上下をひっくり返してね。

おたのしみ「本占い」

あなたは今、自分の周りを平和にしたいですか？まずは、自分の心の中から平和にしてみませんか？あなたの笑顔が周りの人を笑顔にしてくれます。

あなたは今、新しい「なにか」が生まれていますか？今、新しい「なにか」が生まれていますか？今、新しい「なにか」が生まれていますか？

あなたは今、自分の周りを平和にしたいですか？まずは、自分の心の中から平和にしてみませんか？あなたの笑顔が周りの人を笑顔にしてくれます。

あなたは今、自分の周りを平和にしたいですか？まずは、自分の心の中から平和にしてみませんか？あなたの笑顔が周りの人を笑顔にしてくれます。

図書館活用術

Webサービス編

1 スマホが利用カードになる！

2 自分だけのブックリストが作れます

3 図書館へ行かなくても色々できます

ポイント: デザインは3タイプから選べます

ポイント: これは便利!

ポイント: 詳しくはこちら

ポイント: 貸出期間の延長、本の予約や取寄せ、さらに電子書籍を借りて読むなど。Webサービスを活用すれば、家にいながら、あるいは外出中の電車の中で、スキマ時間にもっと読書と図書館を堪能できます!

Webサービス こんなことができます……2面
ブックリストでさらに便利に / 図書館イベント「ライブラリーピクニック」……3面
キロクノススメ-読書ノート、はじめてみませんか? / おたのしみ「本占い」……4面
雑誌スポンサー随時募集中……4面

雑誌スポンサー 随時募集中

令和5年度 雑誌スポンサー (令和5年6月現在)
■詳しくは図書館HPをご覧ください

イセファーム株式会社	新刊絵本と中古本の店 えほんや なずな
かなめ測量株式会社	桜学園 SAKURA Gakuen
Style Shop interior	Kids Creation TSUKUBA
atelier	アカデミックエクスプレス株式会社
ラボ整理研究室	つくば電気管理事務所

つくば市立中央図書館のご案内

■開館時間 9:30~19:00 ※特別開館日は17:00閉館	■駐車場 北2・南2駐車場の駐車券持参で2時間無料
■休館日 月曜日・祝祭日・年末年始・その他館内整理日	■自転車駐車場 中央図書館南:駐車証明書持参で1日サービス券有り
■住所 つくば市吾妻2-8 ■電話番号 029-856-4311	中央公園東・中央図書館西:2時間まで無料

はじめての方はこちらから!

図書館HP

Webから本の検索ができます。イベント情報や、図書館情報誌「ヨモツカ」も掲載中。

<https://www.city.tsukuba.lg.jp/kankobunka/bunka/toshokan/index.html>

はじめてWebサービスを利用される方は、図書館HPのご案内をお読みください。

<https://www.city.tsukuba.lg.jp/soshikikar/asagasu/kyoikukyokuchuotoshokan/gyomuannai/3/1/1001619.html>

こんな本はいかが？ おたのしみ「本占い」

ぶんちゃん しおりん ミラージュ

キャラクターを選んで4面どうぞ。

読んだ本をしょうかいしてみよう



おもしろかった本は、まわりの人にしょうかいしてみよう。

POP(ポップ)を作ってみる

POPとは、いろいろなしょうひんのいいところをつたえるカードです。読んだ本のいんしょうにのこったことばや、おもしろいと思ったところを書こう。

イラストをつけたり、カードの形を工夫してもいいね!



本のおびを作ってみる

本の下の方にまかれている細長い紙を“おび”といいます。おびは、本のみりよくをしょうかいするものです。

キャッチコピーをつけたりして、みじかいことばで「読んでみたい!」と思ってもらえるおびを作ってみよう。



人にしょうかいしなくても、読んだ本のじょうほうや、かんそうを書いておくだけでもいいね。



★POPやおびを作るときにさんこうになる本★

としょかんかつどう

「みんなで図書館活動 この本、おすすめします!」

へんしゅういんかい へんちょ

「この本、おすすめします!」編集委員会/編著

ちやうぶんしゃ しゅっぱん
汐文社 2022年出版



おもしろい本を見つけよう!

みなさんは、どうやって読む本をさがしていますか?

どうやったら
おもしろい本が
見つかるかな?



本をさがすほうほうはたくさんあります!

つぎのページでは、いろいろな本のさがし方をしょうかいします。



はっこう

しりつ ちゅうおう としょかん

発行: つくば市立中央図書館 令和5年(2023年)7月

図書館でおもしろい本をさがすには

たなを
見る

本だなを見てみよう！
自分の目で見ると、
新しいはっけんが
あるかもしれない。



ランキングを
見る

図書館ホームページで、
かしたしランキングを
見ることができるよ。



↑ここから見てね

図書館の人に
聞く

おすすめの本を
聞いてみよう！
自分では
手にとらない
本をしょうかいして
くれるかも。



「としょかん
の本」を
見る



図書館の人がそれぞれの
学年おけに、おすすめの本を
しょうかいしているよ。

てんじコーナーを
見る



図書館には、新しく入った本の
「おび」の
てんじをしているよ。
それをさんこうにおもしろい
本をさがすといいね。
※「おび」のせつめいは
つぎのページを見てね⇒

「ブックトーク」
を聞いてみる



「ブックトーク」とはテーマを
きめて、それについての本を
しょうかいすることだよ。
図書館からも小中学校、
義務教育学校に行って
ブックトークしているよ。

Web サービス

こんなことができます

図書館
トップページから
クリック!

蔵書検索・
予約システム

図書館に行かなくても、Webからできることが実はいっぱいあるんです。今回は、初級・中級・上級編に分けご紹介します。ぜひ、Webサービスを使いこなし図書館を便利に使ってください。

電子図書館

いつでも！
どこでも！

初級編

貸出状況の確認

蔵書検索・予約システムの右上にログインボタンがあります。



ログインは
こちら

ID:利用カード番号
パスワード:西暦生年月日
仮パスワード 要変更

×ログインできない場合
身分証明書をお持ちのうえ
図書館でパスワードの再設定をお願いします。



貸出期間の延長

次の予約が入っていない本は、**2週間延長**できます。



予約ありの本は「延長する」ボタンが押せません。

電子書籍を読む

動く絵本や子ども向けの読み放題本もありますので、一度ご覧ください。



- ・字の大きさ可変
文字の大きさを
変えられます。
- ・聞く読書も
文字の読み上げ
機能があります。
- ・自動で返却
期限がくると自動
で返却されます。

詳しくは前号ヨモッカを
ご覧ください。



『ヨモッカ』バックナンバー

ブックリストでさらに便利に

ブックリストはWeb上で作る“本の記録”です。前に借りた本、今度借りたい本のタイトルも記録しておけばとても便利。自動で登録や、カテゴリでグループ分けも可能です。

手書き派の
あなたは
次の面で
紹介!

中級編

読書履歴を残す

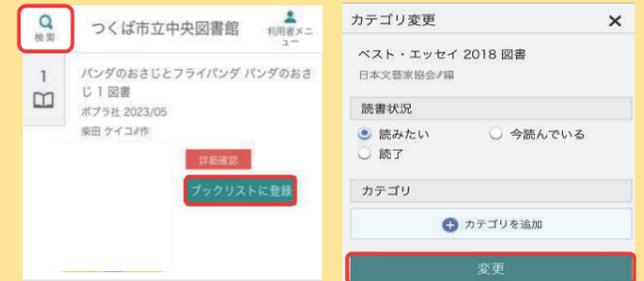


利用者メニューから「ブックリスト管理」をクリックします。

「ブックリスト設定」を「ブックリストへの自動登録」にチェックを入れると、貸出した資料と予約した資料の履歴が残ります。

上級編

カテゴリ管理に挑戦



検索画面から本を検索し、「ブックリストに登録」をクリックします。

「読みたい」「今読んでいる」「読了」のどれかを選択し「変更」をクリック。すると、各カテゴリに振り分けられます。

本の予約・取寄せ

お近くの受取館へ、本を予約し取寄せすることができます。

- 予約受取館（受取場所）
中央館、4交流センター図書室（谷田部・筑波・小野川・荃崎）のほか、市役所コミュニティ棟、かとりだい交流館等。

予約した人の
利用カードを
持ってきてね

- ① 本を検索する
- ② 受取館を選ぶ
- ③ 予約完了



▲ 受取できない場所は表示されません。



イベント ライブラリーピクニック

屋外で
本が読めるよ

令和5年5月13日(土)
～5月14日(日)

ライブラリーピクニックとは、屋外で本を選び、読み、楽しむイベントです。図書館が入っている建物「文化会館アルス」の屋外展示場前に自動車図書館が登場し、気軽に本が読めるスペースを作りました。おはなし会も開催し、開放感のある中で楽しいひとときを演出しました。



自動車図書館が登場。



テントや椅子、テーブルも設置され、来場された方々が思い思いに楽しんでいました。



テントではロボット（オリヒメ）のおはなし会が行われました。



ボランティアの皆さんも手遊びや紙芝居、絵本の読み聞かせをしてくださいました。

会 議 録

会議の名称		令和5年度第2回つくば市図書館協議会	
開催日時		令和6年（2024年）3月5日 開会 14:00 閉会 16:00	
開催場所		つくば市立中央図書館 2階 集会室	
事務局（担当課）		教育局 中央図書館	
出席者	委員	坏 文雄委員（会長）、鷺田 美加委員、齋藤 てる委員、 鈴木 もえみ委員、小林 忍委員、宇川 百合江委員、 清水 智子委員、分領 信一委員、井上 秀次委員、 大越 茂委員	
	その他		
	事務局	柴原 徹館長、沼尻 祐一副館長、玉木 正徳館長補佐、 川田 美紀係長、細田 麻美係長、岩間 彩主任	
公開・非公開の別		<input checked="" type="checkbox"/> 公開 <input type="checkbox"/> 非公開 <input type="checkbox"/> 一部公開	傍聴者数 0名
非公開の場合はその理由			
議題		令和5年度中央図書館事業報告について 視聴覚コーナーの改修報告について 学校図書室（研究学園小）の地域開放事業報告について 令和6年度新設サービスポイントの計画について 中央図書館施設改修計画について 図書館運営上の指標と数値目標の設定について その他	
会議録署名人		確定年月日	年 月 日

会 議 次 第	1	開会
	2	館長挨拶
	3	会長挨拶
	4	議事
	5	視聴覚コーナー見学
	6	閉会

<審議内容>

1 開会

○事務局：皆様、大変お待たせいたしました。本日はお忙しいところお集まりいただきまして、ありがとうございます。ただいまから、令和5年度第2回つくば市図書館協議会を開催いたします。会議時間は約2時間を予定しております。私は本日の進行を務めさせていただきます中央図書館副館長の沼尻と申します。どうぞよろしくお願ひいたします。

本日の会議は、委員数11名のうち出席者10名、欠席者1名のため、出席者数が、委員の過半数に達しておりますので、つくば市図書館協議会運営規則第3条第2項の規定により、会議が成立しましたことを御報告いたします。

また、本日の会議内容につきまして、議事録を作成するに当たり、始めに議事録署名人を選任させていただきます。鈴木委員及び宇川委員にお願いしたいと思います。よろしいでしょうか。

〔「はい」の発声あり〕

○事務局：よろしくお願ひいたします。なお、会議内容を録音させていただき、議事録を作成いたしますので御了承ください。

2 館長挨拶

○事務局：続きまして館長の柴原から御挨拶を申し上げます。お願いします。

〔館長挨拶〕

○事務局：ありがとうございました。

3 会長挨拶

○事務局：続きまして、坏会長から御挨拶を頂戴したいと思います。坏会長、よろしく願いいたします。

〔会長挨拶〕

○事務局：ありがとうございました。

4 議事

○事務局：それでは議事に移りたいと思います。今年の2月に改修を行い、視聴覚コーナーのところに閲覧席を設けました。本日の議事終了後にそちらの方の見学を行いたいと思いますので、15時45分議事終了を目安に協議いただければと考えておりますので、よろしく願いいたします。

つくば市図書館協議会運営規則第2条第3項の規定により「会長は、協議会を代表し、会務を総理し、会議の議長となる。」とありますので、議事進行につきましては坏会長にお願いいたします。よろしく願いいたします。

○会長：はい、それでは始めましょう。議題1 令和5年度事業報告について事務局から説明願います。

〔配布資料に基づき事務局説明〕

○会長：広報物とその他に関しては、特に説明はいいですね。はい。ありがとうございました。ただいまの説明について御意見、御質問等ございますか。お願いします。

○委員：先ほどの重点報告の資料1-1-3の電子図書館サービスの拡充につきましましては、昨年末からいろいろとご対応いただきまして本当にありがとうございます。子供たちの調べ学習などで、学校の紙の書籍を使うという状況もありますが、やはり子供たちの普段使っているGIGA端末や、個人で持っているスマホとかタブレット等で、使い慣れているそういった電子の

データを扱えるようにしていただけたということは大変ありがたいところと感じております。あとは実際にスタートしてから、子供たち、先生方、保護者の皆様にも、その旨周知させていただいて、やってみて良かったという、使えるようになって良かったというその成果を学校の方でも取りまとめていきたいというふうに思っております。また、御相談させていただく状況があるかもしれませんが、その時には、どうぞよろしくお願いしたいと思います。以上です。

○会長：はい。事務局側で説明はいいですか。

○事務局：井上先生、大越先生には大変お世話になりましたありがとうございます。実は先ほど学校長会で御説明させていただいたと申し上げましたが、それ以前からお二方の先生には事前に御相談をさせていただきました。また、教育局内の担当部署ともやりとりをさせていただきながら、学校長会での御報告に持っていくことができました。本当にありがとうございました。まだ実際に学校現場でどういうふうにやっていただくかの部分で若干お願いすることも当然あります。その辺りはまだ明確になっていないところではあるんですけども、なるべく学校現場の先生方にあまり御負担にならないようにしていきたいと考えております。かつ、効果的なものになるように、我々もいろいろと検討していきたいと思っておりますので、引き続きいろいろ御意見等を賜ればと思いますので、よろしくお願いいたします。

○会長：ありがとうございました。はい、お願いいたします。

○委員：資料1-1-4の自動車図書館サービスの拡充についてお伺いします。現在、高齢者施設のステーションは幾つあって、利用状況はどうでしょうか。それから、高齢者施設へのニーズ調査・選定はどんなふうにされていますか。

○会長：事務局の方で回答をお願いします。

○事務局：現在、高齢者施設には自動車図書館の3号車で運行しているんです

が、火水木金に大体2か所ずつ行っていて、それが2ルートあるので、10か所以上の高齢者施設には伺っています。公園ですとかバスターミナル等も入っての3号車の運行になっていますので、高齢者施設だけで数は数えていないんですが、10か所以上行っていると記憶しています。それから、利用については必ず利用する方はいらっしゃる状況です。何かがあって、今日は来ないというようなことがあったりもしますが、必ず利用していただいております。詳しい統計を見ると分かりますが、利用者は増えているように感じます。あと、御質問があった新規のステーション開拓についてですけれど、アンケート等を行ってございまして、色々な施設にアンケート調査を送りまして、来て欲しいと回答のあったところに、聞き取り調査をしたりしています。あとは、電話等で直接図書館へ御要望があったりすると、運転手と担当の方でそちらに調査に伺い、自動車図書館が行けて止められるのか等どういう状況かを確認するようにしています。まだ、来年度増えるステーションの中には入っていませんが、もう1つ高齢者施設が入る予定で調整しております。

○会長：はい。他にありますか。はい、お願いします。

○委員：サービス係のところの新しい事業、アバターロボットについてです。

すばらしい企画どうもありがとうございました。できれば、またこういった良い企画を来年度以降も定期的に行っていただけたらありがたいです。なお、オリヒメの使い方ですが、今回は大人が遠隔操作で読み聞かせをするという形で使ったかと思うんですけれども、テレビとかで癌で学校に行けないお子さんが学校に出席するにあたってアバターロボットで代理出席のような使い方もあるというような、いろんな使い方がテレビで紹介されていました。図書館で利用する際に、アバターロボットの遠隔先が大人ではなくて図書館に来られないお子様が図書館に来るとか、そういった使い方ができるかもしれないということが分かりましたので、何か面白い企

画がありましたら、そういった角度を変えてアバターロボット（オリヒメ）を使っていただくのもいいのかなと思いました。新しい企画をどんどんやっていただけるよう、どうぞよろしくお願いします。

○会長：はい。ありがとうございました。他になければ次の議題に行きますがよろしいですか。はい。それでは議題2 視聴覚コーナーの改修報告について事務局よりお願いいたします。

〔配布資料に基づき事務局説明〕

○会長：はい、ありがとうございました。この視聴覚コーナーの改修に関しては、チラシか何かで五十嵐市長と一緒に写っているのを見ましたね。何でしたかね。

○事務局：Facebook とか、そういった SNS で市長の方からも広報させていただいています。

○会長：何かで見ましたので、私自身も用があつて図書館に来たときに見学をしました。今日は会議が終わったら、一度皆様で見学して帰りたと思います。では、皆様の御意見等ありましたらどうぞ。はい、お願いします。

○委員：素晴らしい改修工事どうもありがとうございました。先ほど事前に拝見して、実際に閲覧席に行つて DVD を視聴してみました。快適でした。この図の左側に視聴覚席が4席あるということですが、表の中を見ると改修後は5席ということで、残りの1席がちょっとわかりづらいかと思うんですが、ちょうど窓側のカウンター席の左側に確認いたしました。小さいお子さんでもちゃんと見えるような形で上手に配置されているので、素晴らしい配慮だなあとと思います。これから見に行くときにわかるかと思いますが、利用者の実情に合わせて臨機応変に、すてきな図書館、視聴覚コーナーを作つていただいていることに感謝いたします。資料には1席と書いてありますが、小さい椅子が2つ置いてあつて、やはり兄弟などをどうしても親御さんが連れてきてつてというのはあると思うので、ピッタリの席だな

と。また、機材も元々あった機材を使用していると思いますので、素晴らしいなと思いました。

○会長：ありがとうございました。はい、他にございますか。なければ、次の議題に行きたいと思います。議題3 学校図書室（研究学園小）の地域開放事業報告について事務局よりお願いいたします。

〔配布資料に基づき事務局説明〕

○会長：はい。これは昨年3月に図書館協議会委員で視察しました場所ですね。委員から御意見等ありましたら、どうぞ。よろしいですか。間違えやすいですが、研究学園小というのは学園の森とは違うんですよね。線路側ですよ。わかりました。では、次の議題に行かせていただきます。議題4 令和6年度新設サービスポイント計画について、事務局よりお願いいたします。

〔配布資料に基づき事務局説明〕

○会長：はい。委員から御意見、御質問等ありましたらお願いいたします。はい、お願いします。

○委員：お尋ねしたいのは、具体的につくば駅前広場駐車場ってどこですか。

○事務局：バスターミナルの脇、東側の駐車場です。

○事務局：20分無料の駐車場になります。

○事務局：図書館側の駐車場です。センタービルやホテル側の。

○委員：はい、わかりました。あともう1つ、前の研究学園小学校のときに3,300冊を渡して、今度のみどりの南小学校に対して提供するという本はこの図書館にすでにあるのでなく新たに購入して出すってことですか。つまり少し思ったのは、もうすでに研究学園小学校の方には提供なさっているんですけど、それはここ中央図書館にあった蔵書から提供したんでしょうか。今度のみどりの南小学校に対しては、それができないので令和6年度の予算に計上してっていうのは、もうそういうふうに出せる本がないから他に予算をつけて購入するという違いがあるんですか。

○会長：はい。事務局よりお願いします。

○事務局：今、委員からありましたように研究学園小学校につきましては、すでに中央図書館で所蔵していた本で決して古いものや誰も手に取らなくなった本というわけではなくて、厳選してお持ちしました。来年度につきましてはおっしゃるとおりみどりの南小学校用に、配本する本がございませんで、計画では新たにみどりの南に置く本ということで予算を計上しております。また、昨年持っていきました研究学園小の 3,300 冊につきましても、同じ本をずっとそこに置いておくというわけには当然いきませんので、その本の入れ替え等も考えた上で、令和 6 年度の予算の方は多く計上しているところであります。

○会長：はい。ありがとうございます。はい、お願いします。

○委員：確認になるんですけども、研究学園小学校に出された本が蔵書から選ばれたということは、中央図書館の蔵書の方はその分減ったわけですね。

○事務局：そうですね。

○委員：それを補充するとか補填するとか、その辺りはどのようになっているのでしょうか。

○会長：はい、事務局お願いいたします。

○事務局：来年度は中央館の所蔵についての購入についても、予算を増額して計上をしております。研究学園小学校についても、新しい本を買えるように予算を確保しています。みどりの南小学校についても、全て新しく購入するというわけではなく、こちらで配本できる本をある程度は確保して、配本する予定にもなっております。

○会長：よろしいですか。はい。事務局お願いします。

○事務局：補足ですが、研究学園小学校にある本は定評があって中央図書館に人気があって何冊もある本とか、そういったものを配本しているので、中

中央図書館の本の種類が減るということではなくて冊数的には研究学園小に配本しましたけれども、配本した本は副本になっているものが中心になっています。

○委員：具体的になってしまいうんですけど、児童図書の方に関わっているので気になったんですが、今の説明を受けて例えばですが、研究学園小学校に出した蔵書が中央図書館でどうしても棚や書庫にはなくて、研究学園小学校の方にあった場合にはそれを検索や予約して取り寄せることができるというような図書館のサービスの一環になっているんでしょうか。

○会長：はい。事務局お願いします。

○事務局：検索はできるようになっておりまして、取り寄せでの予約もできるようになっております。

○委員：全部が一環になっているのですね。わかりました。

○会長：よろしいですか。はい。では次の議題に行きます。よろしいですか。議題5 中央図書館施設改修計画について事務局より説明願います。

〔配布資料に基づき事務局説明〕

○会長：はい。ありがとうございます。何か写真で見ると、こんなに広いかというような感じですが。

○事務局：この図が横長なので、余計広く感じますよね。

○会長：はい、委員の皆さん、御質問等ありましたらどうぞ。はい、お願いします。

○委員：丁寧な御説明をいただきましてありがとうございました。完成予想図を拝見してワクワクしております。先ほどの視聴覚コーナーの改修の部分でも感じたんですが、今大きな時代の変化が起こっている中で、この当館についても、既存の常識にとらわれない、変化する図書館を今後しばらくは目指していく必要があるのかなということを感じております。

2点申し上げたいんですが、1つは先ほど視聴覚コーナーの改修の報告

をいただきました。メディアの利用形態が変化する中で利用者ニーズに合わせて視聴覚コーナーを改修し席を増設されたという点、大きなスペースはありませんがというお話が館長の方からありましたけども、大きなスペースでないとしても本当に今後につながる大きな改善であると感じました。今後、さらにそのメディアの扱い方、皆さんのメディアの利用形態というのは、大きな変化をしていくと思われまますので、そういう中で、状況が変化していくに伴ってさらに柔軟に対応していただけると良いかなというふうに思います。他県の例ですが、プレイヤー自体をコーナーから完全に撤廃してしまって、カウンター内にしまって、希望者があつたときだけそのプレイヤーを貸出し閲覧席で御覧いただく、そんな風にされたところもあるというお話をお聞きしました。今まではこうあるべきというのがあつたかと思いますが、今回のように柔軟に御対応いただけると限られたスペースの中で、よりその時代、その時期にあつた形でのサービスの提供ができるのかなと思ひました。

もう1つ、同じことになりますけども坏会長の方から冒頭に図書館が注目されているというお話がありましたけども、本当に図書館のあり方というのが大きく変わつている中で、サードプレイスというお話も先ほど館長の方からありましたが、学び合う広場或いは人と人とが繋がる交流の場としての図書館という面が非常に求められていると感じます。そのときにネックになってくるのが、飲食とそれからお話をしたいか悪いかという点かと思われまます。基本的には図書館は本を読む場所ですので、子供たちについても静かにする練習をする、そういう場所としての図書館機能は今後も保持していく必要はあるかと思ひんですが、一方で、例えば調べ学習にお友達と来て一緒に本を借りたり、図書館の中でワイワイと小声でもお話をしながらできるとか、或いは飲食をしながら長く滞在するとかつていうことが今後できるようになっていくと、今まで静かで窮屈だからと図書

館に来られなかったような方々も図書館に足を運んでくれて、より多くの市民の方が図書館に親しんでいただけるようになるのではないかなと思います。新しく改修していく中で、その住み分けをできるようにしてどちらのスペースもあるような形を作っていただけると、より多様化するニーズに応えられるのではないかなと思います。以上です。ありがとうございます。

○会長：はい。今のことに関して事務局の方から何かありますか。

○事務局：ありがとうございます。今、委員のおっしゃられた住み分けというところで、数年前にデンマークの第2の都市のオーフス市というところがありまして、その館長が違う用件でつくば市に来られて、その際にここ中央図書館に立ち寄ってくださったんですね。その時、ちょっとお話をさせていただいて、もちろん通訳の方がいて直接はできないんですけど、お話を聞いたら、デンマークは国民性で2人いれば議論が始まってしまうらしいんです。その図書館も入ると、すごく賑やかなんですと。ショッピングセンターに来たんじゃないかというくらい賑やかでそっちこっちで色々楽しくお話していたり、ディスカッションしたりっていうところがあるそうです。さらに中に進むと、若干ひそひそ話や囁き声程度でお話はOKだけどそんなに大きな声ではなく普通声量で喋っているエリアではないですがそういうスペースがあると、さらに進むと完全なサイレントスペースとして静寂なスペースということで、大きく分けると3つのエリア分けをしているというお話を伺いました。

昨年、先ほど申し上げたように幾つかの先進的な図書館見させていただきましたが、やはりそういう明確な切り分け分けをしているというところが、近くでも土浦市の図書館がそういうスペース作りをしているので、そういうところも大変参考になるかなと思います。これからは、やはりそういうところを求められる、もし新しく図書館を作るようなことがありまし

たら、そういうスペースは設けていくべきなのかなというふうには感じております。ありがとうございます。

○会長：はい、ありがとうございます。

○委員：今、館長のお話を伺いながら思い出したんですが、私は県の方の図書館協議会の委員も仰せつかっているんですけども、県の図書館でも会議室を読書ですとか学習スペースとして開放されているんですが、利用者からのニーズがあって1つの一番小さい会議室だけ小声でのおしゃべり OK ということ、この3月から試験的に実施されるというお話がありました。段階的に静かなところサイレントスペースから小声のお話 OK というのは、そういう視点かなと思って拝見をしておりますけども、ぜひ柔軟にどちらの方にも心地よい図書館という風にしていただけたらすごく素敵だなと思いましたところ。ありがとうございました。

○会長：はい、事務局からどうぞ。

○事務局：今、サードプレイスと申し上げましたけど、サードプレイスという概念ができる前から図書館はいわゆる社会教育施設ですから、社会教育に求められるものとして、個人で図書館に来て個人が勉強して調べ物してっていうものはもちろんありますし、同じことに興味を持った何人かが集まっているいろんな資料を持ち寄って勉強するというのも社会教育施設に求められていると、私が学生時代に教わったことを思い出しました。そうなる理想としては、例えば、今この集会室という部屋が図書館にあります。だけど、ここに図書館の本を持ち込むものには、当館の場合ですと一旦貸出処理をしないと持ってこられないというハードルが1つあります。理想としては、この部屋が完全に図書館の閲覧席とかと同じ扱いの位置にあって、この部屋を使って皆であだこうだとやるときに、棚から持ってきた本をすぐに広げられるような、使えるような、そのような環境が望ましいんだと当時教わったのを思い出したところです。やはり社会教育、生涯学

習という観点では、そういう機能もやはり必要なのかなと思います。県立図書館で、そういった取り組みをされるというのは、とても素晴らしいというふうに思いました。感想になりましたが、以上です。

○会長：やはりスペースがもう少しあればというところですね。とんでもない話なんですけど、隣に美術館がありますけれども、この前洞峰公園が市の管理になりましたけど、この美術館も市の管理に成るという発想にはならないのでしょうか。

○事務局：私の方では何とも申し上げられないんですけども、市民の方からそういう御意見もあります。逆に、ある方に御意見いただいたのは、ここの図書館は狭いので県に譲って中央図書館を新しいところに、大きい施設を作りましょうよとおっしゃる方もいらっしゃいました。洞峰公園の例もあり、どういうふうに急展開するかちょっと予測がつかないところでもありますので、会長おっしゃるような御意見をお持ちの方も当然いらっしゃるというところですよ。

○会長：そういう発想から変えていくことも必要ですからね。とりあえずは、どうなるかわからないことを何もしないわけにはいきませんから、今ある場所を改修してということですね。やがては、どうなるかわかりませんが、はい、他にございますか。はい。

○委員：中庭の改修工事がどんなふうになるのか楽しみにしています。それで、資料5-1の写真を見て気になったのが、左側に1人掛けの席が4席並んでいますけど、ここは屋根がないのでしょうか。それともう1つ、平日とかは1人で来る方が多いと思うので、4人掛けのパラソルを1人で使用するというのは気が引ける人もいるのかなと思うので、2人掛けのパラソルもあってもいいのかなと思いました。1人の方がズラッと4席並ぶのではなくて、展開して座れるように、人との距離があつてくつろげるように、点在して1人の椅子を置かれてもいいのかなと思いました。

○事務局：今のところ中庭に屋根を設けるというのは考えてはいないです。既存の松もあるものですから、なかなか構造物としての屋根を設けるというのは難しい状況かなというのがあります。あと、もう1つが図書館の中から中庭を見たときに屋根があると、今まで全面ガラス張りで開放的だったのに、このウッドデッキを設けて人がいるというだけでも若干今までとは違う風景となりますので、当初は大分違和感を持たれる方もいるかと思えます。そのため、視界を実質的に遮ってしまう屋根の設置については今のところ予定されておりません。ただそれについては、あくまでもイメージですが、こういったパラソルを設けることで夏場の日光等を遮れるかなと考えております。

また、委員のおっしゃるように、2人掛けのテーブルをもう少し細かく配置するということもできるかと思えます。これらは、家具を置くような形になっており建設するというわけではないので、このパラソルとか椅子とかテーブルについてはいろいろなバリエーションがいくつかあっていいのかなと思えます。

○委員：ありがとうございます。

○会長：はい、お願いします。

○委員：防犯対策という観点から、この中庭はどのような対策を取り入れていますか。例えば、今までは立ち入り禁止のようなポールがありましたので、ここは誰も入らないから安心していただけですけども、こうやって自由に出入りできそうな空間になった途端、やはり防犯対策ということも必要だと思うんです。

○会長：はい。改修に伴う防犯対策はどうかということで、事務局からお願いいたします。

○事務局：A3横長の資料をご覧くださいますと、こちらがいわゆる平面図になっております。委員おっしゃったように、今はプランターが置いてあり

道路側から遮蔽している形になっているんですが、今後どのようになるのかというのは、道路側からは一切立ち入りできないような形で、中にいらっしゃる方たちの安全面を守ろうと配慮しております。一方、万が一地震や火災が起きたときの避難経路はどうするのかといったときに、中から外に出られる工夫はしたいと考えています。これは消防法等を設計士の方から消防署に確認してもらったのですが、ウッドデッキは屋外なので必ずしも避難誘導のための非常扉みたいなものを設けなければならないということはないという回答はいただいております。ただ、万が一に備えてそういうところも考慮した上で、図にはメッシュフェンスというふうに書いてあるのですが、そういったもので避難、非常時は中からは鍵を開けて外に出られるような作りにはしたいと考えております。

また、現在道路際の3段4段ぐらいの段になっているところについてですが、現在近隣の住民の方にもご迷惑おかけしているのは、夜間にスケートボードをやっている方がいて、音もうるさいし、若者何人かが集まると話し声や騒ぎ声がするというので、何度か警察の方に通報がいった夜間パトロールをしていただいている状況も報告を受けておりますので、そういった対策も、考慮してベンチを設置したいと考えています。現在ちょうど良い具合に段差がありまして、段差が階段よりは高いので、腰掛けるとちょうど良い高さだったりするんです。ですから、道路側を向いての座る形になってしまうのですが、フェンスを全面に作って遮蔽するのではなく、そういったベンチを設けることによって、スケートボードができないとか、街の中で腰かけられる場所ってあんまりないと思うので、通行人の方がちょっと腰かけられるとか、どれだけニーズあるかわかりませんが、今も時々あそこに腰かけている方々もいらっしゃるのでも、全くニーズがないということはないかと思っておりますので、そういった形で道路際にはベンチスペースを設けるということを計画しております。

○会長：はい、ありがとうございました。

○委員：説明ありがとうございます。外から基本的に入れないような図面になっているということで、完成予想図を見ただけでは外から入れそうな感じだったので、絶対入れないということで安心しました。

あと、明るさに関して、ライト等は夜間どんな感じになるのでしょうか。非常灯みたいなものがついているのでしょうか。時々、太陽光パネルで充電機能がついたイルミネーション的な感じのキラキラと光っているところがあったりするんですけども、やはり椅子やテーブル等のものが常時置いてあるわけなので、もしかしたらちょっとした照明があると安心に繋がるのかなと思いますので、工夫をしていただけると嬉しいです。

○会長：そういうところも考慮していただくということでよろしいですか。では、次の議題に移らせていただきます。議題6 図書館運営上の指標と数値目標の設定について。事務局より説明をお願いいたします。

〔配布資料に基づき事務局説明〕

○会長：はい、ありがとうございました。どこからでもいいですから、御意見、御質問等ありましたらお願いいたします。

○委員：はい。

○会長：はい、お願いします。

○委員：2 市全体のサービスに関する指標の2-4の図書館利用カード利用者数の件でお伺いしたいんですけども、今ハイブリッドでプラスチックのカードの人と携帯の電子カードの人と2種類、或いは両方を利用している人がいると思うんです。私も今までプラスチックのカードで十分だなと思っていたんですが、やはり委員になったこともあり教えていただいて携帯の方にしたら非常に便利だというのが実態感として分かったんです。それを何人かの人に伝えたら、やっぱりやっていない方がかなりいるんですね。地域的なことや、年齢的なこともあるかと思うんですが、やはり携帯

の中にカードを入れるものが非常に便利だ、1回入れてしまえば本当に便利だしカードを忘れないというのが、まだしっかり周知されてないのは非常にもったいないなというのを思っておりました。当然皆さんそれは知っているだろう、やる人だけやっているだろうって思われると思うんですが、この忘れた頃にもう一度周知をする、或いはカードで出してきた人に携帯のカードにすると便利ですから一緒にやってみましょうかと何かフォローするようなことをして、もっとそちらの方の利用者登録者を増やしていくような方向っていうのはいかがかなと思います。その点いかがでしょうか。

○会長：携帯って言ったのかな。

○委員：携帯電話の中にカードをいれる。

○会長：ごめんなさい、スマホの機器の中に入れるんじゃないくてね。

○委員：このつくスマのアプリの中に入れると、もうこれが利用カードになると。

○会長：そういうのがあるんだね。

○委員：そうなんですよ。カードの絵柄も選べるんですよ。

○会長：それは、私は分かりませんでした。委員の方で、知らなかった人や実際やってない方はいますか。

○委員：私は知らなかったです。

○委員：そうなんですネ。

○委員：以前の会議で説明されてましたよ。

○委員：そうですよね。ですので、もう少し周知できるといいのかと。

○会長：では、事務局の方からお願いします。

○事務局：はい。モニターで御案内をするとともに、カードをお忘れになった方には、カードを忘れても本日スマートフォンをお持ちですよっていう形でお声掛けをして、カードを忘れてるのでその日に登録はできないのですが、次回いらっしゃったときにスマートフォンにつくスマのアプリを

登録していただいて、あと身分証明書とカードをお持ちいただければ、こういうのができますよというのはご案内しているところです。全ての皆さんが、こういうスマートフォンのアプリに対して好意的な方ばかりではないので、全員にはお声掛けできないのですが、お忘れの方とか、利用カードを最初にお作りになった方に御案内をして少しずつ利用者を増やしているところです。

○委員：はい、提案です。

○会長：はい。

○委員：よくドラックストアとかで、電子ポイントカードですとポイントが3倍とか、そういうものありますけども、期間限定とかで電子のカードを使うことによって、プラスで3冊とか何冊か借りられるサービスをやると、もしかしたら電子カードをやってみようという方が増えるかもしれないなと。いろいろそういう工夫の中でいろいろ御検討いただければ幸いです。

○会長：はい。

○委員：私は常に掲示して見えるところに「こういうのがあります、これがあります、いかがですか」というものを自然に目に入る形で、もう少しアピールできたらいいかなというふうに考えています。お好みもあるので、私もそんなに電腦弱者ではないし、そんなに携帯の中にアプリ増えるのが嫌な人なんですけど、何となく自然な形で「これがあるのね、やってみようかしら」とじわじわと広まるといいのかなと思います。本当に便利なので、実感として思っていることでした。

○会長：ありがとうございます。では良い取り組みなので、ぜひPRをとということをお願いします。他にございますか。なければその他の議事に移りたいと思います。事務局の方からお願いします。

○委員：すいません、今の資料で1つ質問がありました。

○会長：はい。

○委員：3－3と3－4のところで、外国語の資料の所蔵点数としてこの冊数が多いのか少ないのかとか、そういう辺りがよくわからないんですけども、確かこの図書館はこういう方面すごく力を入れていただいている、前回の改修計画の図面で、改修工事にあたって入ってすぐのところを外国語のコーナーにするというような、お話だったと思います。厳選された図書をリニューアルしながら用意していただいていると思いますので、今後とも力を入れていただけると嬉しいと思います。ちなみに、この冊数は多いんですか少ないんですか。御説明いただけると嬉しいです。

○会長：はい、事務局からお願いします。

○事務局：今、具体的な数字は御用意してないんですけども、つくば市の図書館の外国語資料については、多いと考えていただいて良いかと思います。利用者からのリクエストについても、多数の外国語資料をリクエストいただいていますので、予算をしっかりと確保させていただいて新しい図書を買えるように対応しております。以上です。

○会長：はい。それでは、その他にまいりますけれども、まだ発言していない方を中心に、一言いただければと思います。

○委員：はい。たくさん資料ありがとうございます。どこで発言させていただこうかと思いながら最後になってしまったんですが、私も年間3回ほどイベントサポーターの形で来させていただきました。5月のライブラリーピクニックとそれから7月8月9月にあったアバターロボット（オリヒメ）のおはなし会と、それから、これは中央図書館主催の事業ではなくて、参加協力っていう形ですが12月にランタンアートへの参加ということで、ここに来させていただきました。やはりお試しも含めて、新しいことをちよつとずつでもどんどん取り入れて実践するという姿勢が、この中央図書館のすばらしいところだなと常々思っています。ランタンアートのときに職員の皆様がこれまでに作ってきたものを、しばらくイベントが中止されて

いた期間もそれを保管していて、それとあわせて今年作ったものを図書館の入口のところに並べたりしていて、そういった状況を見てすごいと感動したんですね。やはり、1人1人がカッターで図を考えて切るというようなことをこれまでコツコツやられてきたっていうふうなことを考えますと、職員の皆様の血の通った努力や色んなことに協力して取り組んでいこうというものが感じられて、それがこの中央図書館のすばらしさに繋がっているというふうに思いました。だから、これからもぜひ暖かい中央図書館でいて欲しいなっていうことを1つ考えております。また、私も来られるときにはもっと来たいなというふうに思っております。あまり役に立っていないんですけど。

それからもう1つは、今回は改修の計画とかの資料でそのパース図とかの写真ですとかのイメージを見て何かワクワクしてしまって、資料をこんなに楽しい気持ちで事前に読んだことないなっていうぐらい、いい気持ちになったんです。特にヨモッカが今まで以上に中身がとても濃くて、ヨモッカがすばらしいというふうに、ちょっと高揚した気分の中でこのヨモッカのすばらしさも改めて目を見張ったというような現実があります。ヨモッカ編集長ってどなたなんだろうと思ってしまったんですけども、この限られたスペースの中にこれほど役に立つ面白い情報満載っていうものが載っているものは本当になかなかないと思いましたので、今後とも楽しみに読ませていただきたいと思っております。以上です。

○会長：はい、ヨモッカの評判が良いようですね。はい、よろしく願います。

○委員：はい。本日は、どうもありがとうございました。今年度の報告を受けまして、本当に図書館の取り組みの素晴らしさ、各委員から御紹介いただいた内容を聞いて本当に素晴らしいなというふうに思っております。その一方で感じたことを少し申し上げると、例えば目標値として年間の開館日数

であったり、年間の開館時間ということにつきましては、これは物理的になかなか難しいということは当然承知しているところでございます。そういった中で、例えばということなのですが、今つくば市におきましては市の直営で中央図書館の運営を行っている。これは、図書館のお勤めの皆様の御努力によって本当に充実した図書館っていうのが出来上がっているんだなというふうに感じている一方で、やはりハードルがどんどん上がってくっていくこともやっぱり同じ公務員として懸念しているところもあります。昨年度まで私は取手市の方で勤務をさせていただいていたのですが、先日、図書館の方を見ていた際に取手の図書館が今度駅前の方に移転をすると、それに合わせてフロア数もかなり広くなるというところから業務委託にするという話が新聞に載っていたのを目にしました。これは直営でというスタンスもあれば、もしくはどこかのタイミングで業務委託という方向に切り替えるというのも、この先どうなるかはわからないんですが、そういう先々を見通しながら運営の方に携わっていただければと思っております。どうぞよろしくお願ひ申し上げます。

○会長：はい。ありがとうございました。図書館法の中に図書館奉仕という言葉があるんですね。第1章第3条で図書館奉仕について事細かに図書館はこういうことをやりなさいと、これを忠実に充実してやっているんだなと今更ながら思いました。では議事はここで終了しまして、事務局の方にお返ししたいと思います。よろしくお願ひします。

○事務局：1点補足をさせていただければと思ひます。御意見というか、学校図書館との関わりについてです。公共図書館にも求められている機能・役割として、先ほどご説明させていただいた電子図書館サービスの学校での展開というところはもちろんなのですが、これまでも行ってきました学校図書館司書の研修について、まず例年新年度の初めに行われているんですけど、主催は学び推進課で担当しておりますが、令和6年度につきまして

は学校司書の研修の機会も増やすというような非常に前向きな担当課の取り組みもありまして、我々もその研修の講師として毎年呼ばれて行っていますので、今までもできる限りのことをやってきたつもりなんですけど、来年度に向けて担当課の学び推進課と我々図書館の担当で初めてその研修についていろいろ議論をしてきました。図書館から提案させていただいたんですけど、市役所で集団で研修するのもいいですけど、お互いの図書館を見に行くことがすごく参考になるというお話をさせていただいたところなんです。例えば、距離的な移動時間の問題もあるのでつくば市を4つほどの地区毎に分けて、その地区毎の研修でどこかの学校の図書室に行って研修をやるのもよろしいんじゃないでしょうかという提案をさせていただきました。もしかすると、夏休み入ったぐらいの時期に実現できるのかなあというところもありました。何を言いたいかというと、学校図書館との連携も我々はしっかりとやっていきたいなというところをお伝えしたいと思ひまして補足させていただきました。以上です。

○会長：はい、以上で議事を終了いたします。委員の皆様、議事進行にご協力くださいましてありがとうございます。貴重品だけ持って行って、事務局の案内で見学にいきまして、また時間あったらお集まりください。事務局にお返しいたします。

○事務局：はい。坏会長ありがとうございます。

5 視聴覚コーナー見学

[事務局の案内により視聴覚コーナーの見学]

6 閉会

○事務局：以上をもちまして、令和5年度第2回図書館協議会を閉会いたします。今回の会議をもちまして、現任期で予定している会議日程は終了となります。委員の皆様には、図書館協議会の運営、進行に御協力いただき誠にありがとうございました。

令和5年度（2023年度）つくば市立中央図書館重点事業報告

1 中央図書館の施設改修

市長公約にある「図書館懇話会提言書で示された、公園のように自由な図書館『ふれあいライブラリーパーク』の理念を実現する中央図書館の施設改修」事業について、市民意見を参考にしながら改修計画を策定します。

先行して視聴覚コーナーを改修し、閲覧席の増設及び視聴覚席の設置を行います。

【事業報告】

来年度以降の中央図書館改修計画に伴う設計業務を実施しました。先行して、令和6年2月の特別整理期間中に視聴覚コーナーを改修し、閲覧席を増設しました。詳しい内容については「議事(2) 視聴覚コーナーの改修報告について」及び「議事(5) 中央図書館施設改修計画について」にて報告いたします。

2 サービスポイントの拡充

研究学園小学校図書室を地域に開放し、土曜日、日曜日及び祝日の中央図書館開館日に図書館サービスを提供します。また、かとりだい交流館において、予約図書の出借を行うとともにブックポストを設置します。

【事業報告】

令和4年度の市庁舎コミュニティ棟に続き、令和5年6月13日からかとりだい交流館での予約本の受取り開始及びブックポストの設置を行いました。

また、令和5年10月1日から研究学園小学校図書室等の地域開放事業を開始し、図書館サービスを提供しています（中央図書館開館日の土日及び祝日のみ）。詳しい内容については「議事(3) 学校図書室（研究学園小）の地域開放事業報告について」にて報告いたします。

3 電子図書館サービスの拡充

令和4年10月に開始した電子図書館サービスの充実を図ります。電子図書館の利用状況を分析し、その収集方針を定め、コンテンツの充実を図ってまいります。

【事業報告】

電子図書館サービスの開始から1年が経過し、利用状況等を含め分析を進めてまいりました。現在の「つくば市図書館資料収集及び保存に関する方針」に電子図書館について新たに規定できるか見直しを行い、電子図書館の収集方針について定める検討を行っております。

令和5年度は電子図書館の運営に関する予算を10,032千円計上し、電子図書館コンテンツの充実に努めてまいりました。また、学校と連携しGIGA端末を用いて調べもの学習等で有効に電子図書館を使用できないか検討してきました。令和6年度からGIGA端末を活用した児童・生徒の電子図書館利用を開始する予定です。

4 自動車図書館サービスの拡充

令和4年度から3台体制で開始した自動車図書館サービスの拡充を図ってまいります。既存ステーションについては、随時見直しを行うとともに、ニーズ調査などを通じて新たなステーションを設定し利用拡大を図ってまいります。

【事業報告】

令和5年度は新たなステーションを4月に5か所、10月に3か所増設しました（うち1か所は葛城小学校からかつらぎ交流館への変更）。また、令和6年4月からは新たに2か所（みどりの南小学校・荃崎第三小学校）に運行を開始する予定となっております。今後も随時ステーションの見直しを行い、自動車図書館サービスの利用拡大を図ってまいります。

5 読書推進、図書館利用促進に資する活動の実施

ライブラリーピクニックなどのイベントを実施し、読書推進や図書館利用促進に資する活動に取り組んでまいります。

また、図書館利用登録者数の増加を図るために、出張登録を実施します。

【事業報告】

令和元年11月に実施して以降、コロナウイルスの影響でライブラリーピクニック等のイベントを中止しておりましたが、令和5年5月13・14日に4年振りとなるライブラリーピクニックを実施いたしました。

また、令和5年10月1日から研究学園小学校図書室で図書館サービスの提供を開始し、図書資料の貸出返却、予約本の受取り、利用者登録・更新等のサービスを提供しています。

令和5年度中央図書館事業報告(事業・業務実績)

つくば市立中央図書館

月	業務実績			
	管理係	サービス係	広報物	その他
通年	・文書ファイリング ・選書、発注、受入れ	・団体貸出 ・相互貸借 ・インターネット予約による遠隔地貸出サービス(ぶっくびん) ・図書返却事業 ・出前講座 ・館内見学、職場体験受入れ ・不用図書の選定、梱包	・ホームページ掲載(随時)	
4月	・アルス協議会 ・前年度利用統計集計業務	・自動車図書館のステーション増設(5か所) ・小学校等新入生新規カード作成	・「としょかんの本」春号発行	・広報6月号締切り ・5月勤務割振表配付
5月	・アルス協議会 ・新聞廃棄(廃棄年度3・4月分)	・小学校等新入生新規カード作成 ・ ライブラリーピクニック(13日・14日) ・インターンシップ受入決定		・広報7月号締切り ・6月勤務割振表配付
6月	・アルス協議会	・中央図書館蔵書点検(6日～9日) ・ かとりだい交流館で予約本受取開始(13日) ・ジュニア図書館員募集 ・ファーストブック講座(大穂)(20日) ・ファーストブック講座(谷田部)(30日)		・広報8月号締切り ・7月勤務割振表配付 ・特別整理期間(6日～9日)
7月	・アルス協議会 ・新聞廃棄(廃棄年度5・6月分)	・ジュニア図書館員実施(21日・25日・27日) ・図書館を使った調べ学習講座(ジュニア図書館員の中で実施) ・ 夏休み期間中のアバターロボット(オリヒメ)によるおはなし会(20日・27日) ・ファーストブック講座(吾妻)(6日)	・「こどもヨモッカ」第18号発行、小学校配布 ・「としょかんの本」夏号発行	・広報9月号締切り ・8月勤務割振表配付
8月	・アルス協議会 ・第1回図書館協議会 ・ アルス屋上改修工事(～12月)	・学校訪問ブックトーク希望校募集 ・インターンシップ受入れ ・中学生職場体験受入れ ・ミステリーバック実施(中学生職場体験企画)(26日・27日) ・ 夏休み期間中のアバターロボット(オリヒメ)によるおはなし会(3日・10日・17日・24日・31日)	・「ヨモッカ」第19号発行、区会回覧 ・「つくば市の図書館概要」発行	・広報10月号締切り ・9月勤務割振表配付
9月	・アルス協議会 ・新聞廃棄(廃棄年度7・8月分)	・各ステーションへ自動車図書館後期日程通知 ・公共施設向け不要図書リサイクル事業 ・ 夏休み期間中のアバターロボット(オリヒメ)によるおはなし会(7日) ・ファーストブック講座(谷田部)(14日) ・ファーストブック講座(並木)(20日) ・ファーストブック講座(大穂)(26日) ・子どもの本の楽しみ講座(二の宮小学校)(26日)		・広報11月号締切り ・10月勤務割振表配付
10月	・アルス協議会	・ 学校図書室(研究学園小)の地域開放事業開始(1日) ・自動車図書館のステーション増設(3か所) ・学校訪問ブックトーク(～12月)	・「としょかんの本」秋号発行	・広報12月号締切り ・11月勤務割振表配付
11月	・アルス協議会 ・新聞廃棄(廃棄年度9・10月分)	・次年度自動車図書館巡回コース及び日程検討 ・子どもの本の楽しみ講座(荃崎児童センター)(15日) ・子どもの本の楽しみ講座(吾妻小学校)(14日) ・子どもの本の楽しみ講座(学園の森義務教育学校)(28日)		・広報1月号締切り ・12月勤務割振表配付
12月	・アルス協議会 ・次年度購入雑誌検討(～3月)	・次年度インターンシップ受入れ決定 ・ぬいぐるみたちのおとまり会(14日～17日)	・「こどもヨモッカ」第19号発行、小学校配布 ・「としょかんの本」冬号発行	・広報2月号締切り ・1月勤務割振表配付
1月	・アルス協議会 ・新聞廃棄(廃棄年度11・12月分) ・次年度会計年度任用職員募集	・としょかん福ぶくろ実施(図書館企画)(6日・7日) ・子どもの本の楽しみ講座(春日学園義務教育学校)(31日)		・広報3月号締切り ・2月勤務割振表配付
2月	・アルス協議会 ・次年度会計年度任用職員選考 ・雑誌配架場所変更 ・次年度雑誌スポンサー募集 ・ 視聴覚コーナーの改修(閲覧席増設) ・ トイレ改修工事(1階男、2階男女)	・4交流センター図書室蔵書点検(6日～9日) ・ファーストブック講座(谷田部)(15日) ・ファーストブック講座(並木)(21日) ・ファーストブック講座(大穂)(27日)	・「ヨモッカ」第20号発行、区会回覧	・広報4月号締切り ・3月勤務割振表配付 ・特別整理期間(6～9日) ・ 筑波交流センター図書室の臨時休室及び休室に伴う自動車図書館の運行(～6月末予定)
3月	・アルス協議会 ・新聞廃棄(廃棄年度1・2月分) ・第2回図書館協議会(5日) ・図書館協議会市民委員募集 ・利用者満足度調査実施 ・次年度資料費配分決定	・次年度ファーストブック講座募集 ・小学校等新入生新規カード作成、取りまとめ通知 ・各ステーションへ自動車図書館前期日程通知		・広報5月号締切り ・4月勤務割振表配付

【展示テーマ】・3～5月：君たちはどう生きるか

・9～11月：司馬遼太郎×池波正太郎生誕100年

・6～8月：関東大震災から100年

・12～2月：新書

【図書館おはなし会】・おはなしぶんぶん(赤ちゃん向け) (4月)金曜日・水曜日 各曜日1回ずつ

(5月以降 ※8月は除く)木曜日及び金曜日 2回公演 10:30～10:50、11:00～11:20

【ボランティア活動】

①地域資料ボランティア(毎週水曜日)

②修理ボランティア(毎週火・水曜日)

③音訳ボランティア(月間3回)

④点訳ボランティア(毎月第3木曜日)

⑤配架ボランティア(随時)

⑥児童サービスボランティア(随時)

⑦図書館サポーターボランティア(随時)

⑧おはなしボランティア ・おはなし会(毎週土曜日 第5土曜日がない月は日曜日)2回公演 15:00～15:15、15:30～15:45

・グループスイミー公演 6月24日(土) 11:00～11:45 定員100名

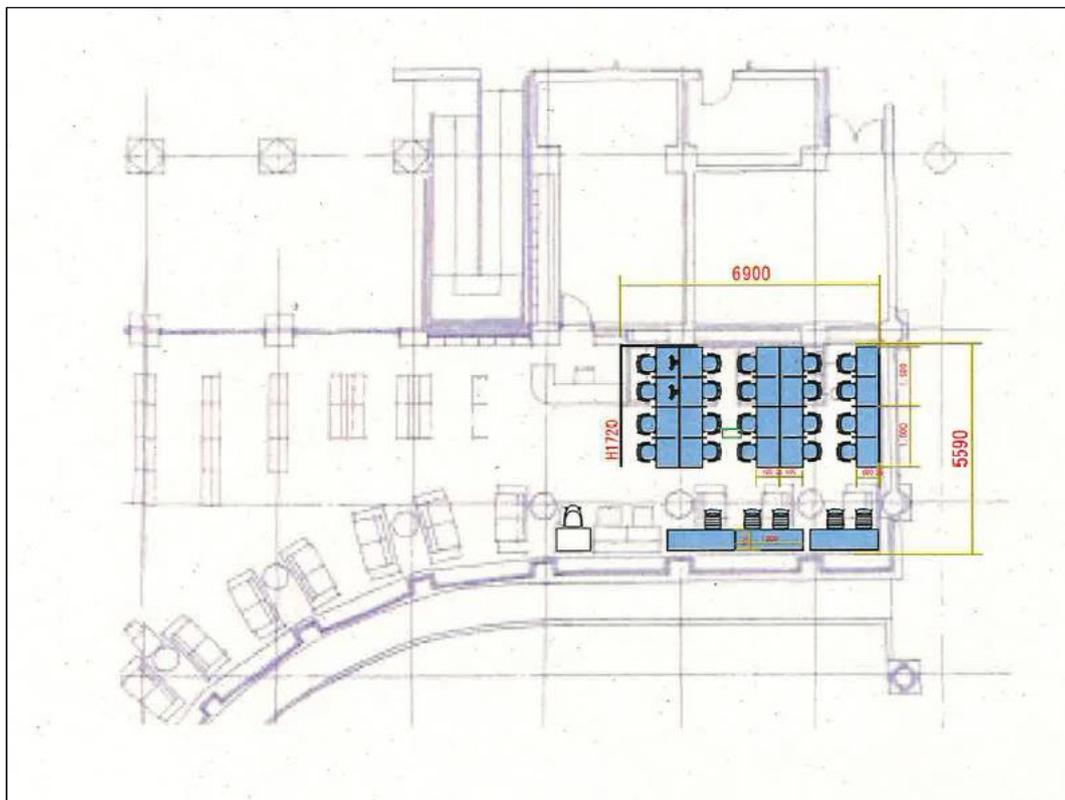
・パネルシアターかくれんぼ公演 7月8日(土) 10:30～11:10 定員100名

⑨地域文化ボランティア ・おとなのためのブックトーク(第3土曜日10:00～)

・本好きのためのゆるっとトークルーム(第1土曜日10:00～)

視聴覚コーナーの改修報告

1 改修図面（視聴覚コーナー）



これまで視聴覚ブースが設置されていたコーナーに閲覧席を設け、窓際にはカウンター席を設置しました。

2 座席数について

改修前	改修後
<ul style="list-style-type: none"> ・視聴覚ブース 4か所 【内訳】DVD用 3か所 DVD・VHS・LD用 1か所 ※各ブース最大4人まで 閲覧可能 ・CD・カセットブース 2席 	<ul style="list-style-type: none"> ・視聴覚席 5席 【内訳】DVD用 4席 DVD・VHS・LD用 1席 ※各席1人で閲覧 ・CD・カセットブース 1席 ・閲覧席 16席 ・カウンター席 5席

3 視聴覚ブース・閲覧席の主な変更点について

これまで複数人で視聴可能な視聴覚ブースでしたが、年々視聴覚ブースの利用者数が減っていることや一人で御利用になる方も多いことから、改修後は一人で御利用いただく形にしました。また、これまでは据置型の DVD プレーヤーでしたが、今回の改修に伴いポータブルの DVD プレーヤーに変更いたしましたので、今後は利用状況に応じて閲覧席及び視聴覚席の運用を適宜検討してまいります。

また、今回の視聴覚コーナーの改修で新たに増設しましたカウンター席 5 席及び閲覧席 16 席にはこれまで御要望の多かった図書館利用者が使用可能なコンセントを設置すると共に館内 Wi-Fi の状況も改善いたしました。

4 改修前後の写真



写真1 改修前の視聴覚ブース

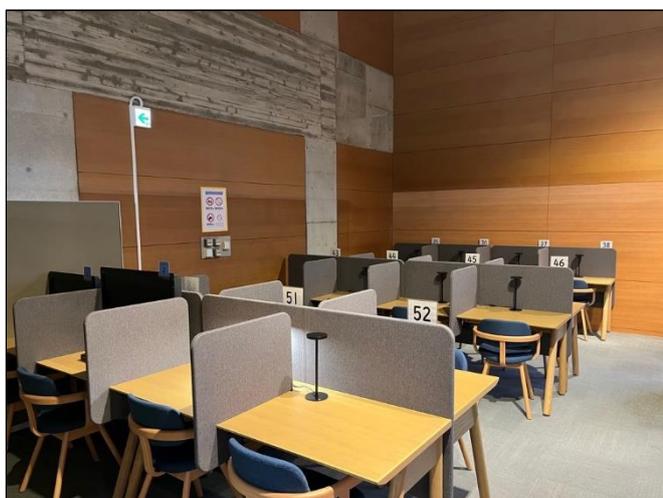


写真2 改修後の閲覧席



写真3 改修後のカウンター席

学校図書室（研究学園小学校）の地域開放事業報告

1 概要

令和5年10月1日から研究学園小学校図書室の地域開放事業を開始し、図書館サービスを提供しています（中央図書館開館日の土日及び祝日のみ）。

研究学園小学校図書室では図書資料の貸出返却、予約本の受取り、利用者登録・更新等のサービスを提供しています。また、図書室内のスペースで学習等をしていただくことも可能となっています。

図書室の設計としては10,000冊程度の所蔵スペースが確保されておりますが、学校側で開校に伴い当初に購入した約1,300冊と合わせて、サービス開始当初に中央図書館から約3,300冊配本いたしました。図書館としての資料貸出の対象は中央図書館から配本した本のみとなりますが、図書室内では全ての本を利用者が自由に閲覧できるようにしております。また、平日においては学校の児童達がこれらの本を自由に閲覧することができるようになっております。

2 研究学園小学校図書室の利用状況

令和5年10月1日からサービスの提供を開始し、令和6年2月末時点での開室日数は46日、延べ867人に利用していただいています。一日ごとの利用人数を見ると、最大が41人（大人20人、こども21人）、最小が4人（大人2人、こども2人）となっており、一日平均利用者数は18.85人/日となっています。

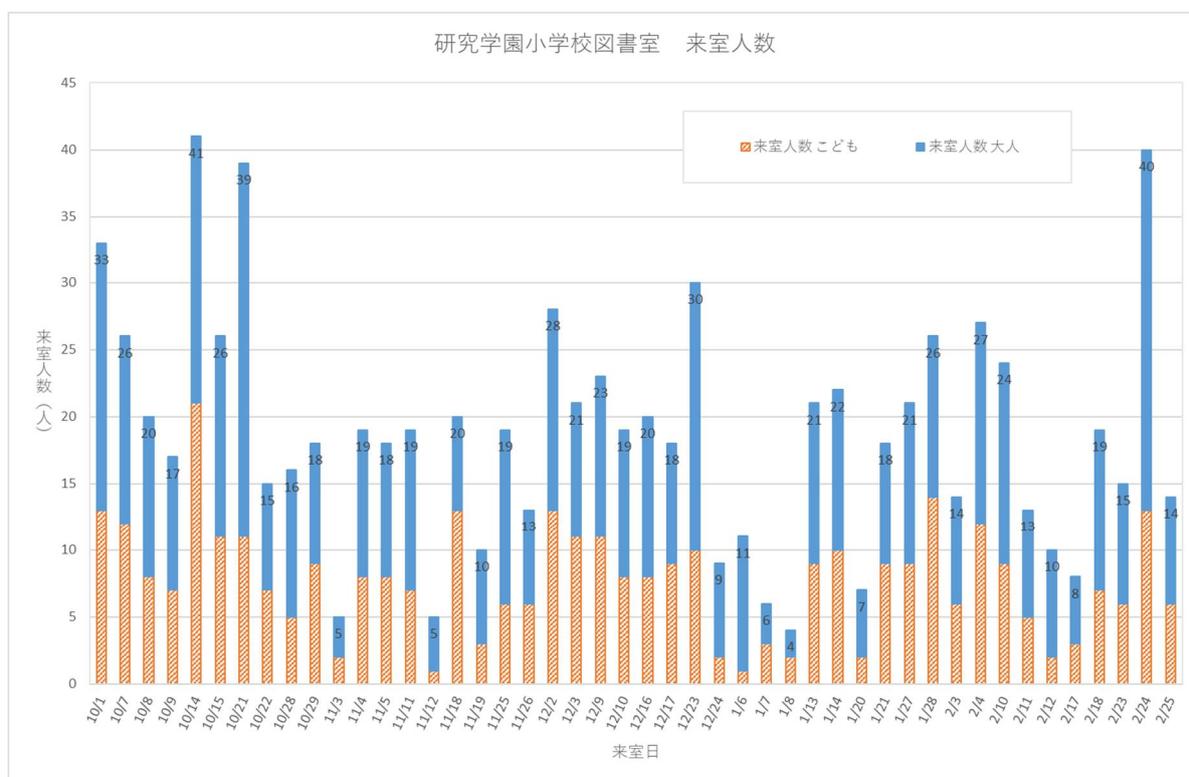
また、来室された方の約半数が図書資料の貸出や返却のサービスをご利用いただいております。中央図書館においても来館者数に対する貸出者数は49.71%となっています（つくば市の図書館概要の統計から算出）。

これまでの利用の傾向としましては、祝日開館日の利用が少ないことや雨天時等も利用が少ない傾向がありました。しかし、まだ開室日数も少ないことから今後も利用状況を確認しながら、利用傾向の把握と利用促進に努めてまいります。

また、まだ利用人数は多くはありませんが学習利用をしている利用者もおります。研究学園小学校の近くには本庁コミュニティ棟のオープンスペースもあるため学習スペースとしての需要がどの程度あるのかも検討しつつ、夏季休暇等の学校の長期休暇時の運用も適宜検討していきます。

開室日数46日						
	来室人数		貸出		返却	
	大人	こども	冊数	人数	冊数	人数
累計	509人	358人	1669冊	405人	1454冊	584人
	867人		4.12冊/人		2.49冊/人	
来室人数に対する利用割合	58.71%	41.29%	46.71%		67.36%	
一日あたりの利用状況	18.85人/日		36.28冊/日	8.80人/日	31.61冊/日	12.70人/日

(2024年2月25日時点)



3 研究学園小学校図書室の写真



令和6年度（2024年度）新設サービスポイント計画

【ブックポスト】

・つくば駅前市民窓口センター（吾妻一丁目8番地10（BiViつくば2階））

これまで利用者からの御要望が多かった、つくば駅へのブックポストの設置について、現在つくば駅前市民窓口センターと調整を進めています。

また、つくば駅前広場駐車場は入庫後20分間無料となっていますので、これまで隣接する専用駐車場がないことから課題となっていた中央図書館前の路上駐車場の軽減にも繋がるのではないかと考えています。

その他、利用者からの御要望を受け適宜対応できるようにブックポスト等の準備は随時進めていきます。

【学校図書室の地域開放】

・みどりの南小学校図書室（みどりの南106番地3）

来年度開校となるみどりの南小学校の学校図書室において、研究学園小学校図書室と同様の図書館サービスを提供する予定で現在調整しています。サービスの提供開始時期については、今年度の研究学園小学校と同様に学校の夏季休暇を利用して本の納品等の各準備を行っていき、10月からのサービス開始を予定しています。

今年度の研究学園小学校のように、現在中央図書館にある本から3,000冊近くを配本するという形は難しいため、みどりの南小学校でのサービス提供に向けて令和6年度の予算を計上し、本の購入等の準備に当たる予定です。

みどりの南小学校・みどりの南中学校・みどりの南小学校児童クラブ位置図



中央図書館施設改修計画

1 概要

平成2年（1990年）に開館したつくば市立中央図書館は、当時の主流であった貸出を中心とする非滞在型図書館として開館しました。当時は本を借りて自宅で読むことを想定しており、図書館内に長時間滞在するような設計がされていないため、滞在型図書館として閲覧スペースやコミュニケーションスペースが不足しているのが現状です。

これまで施設修繕等を適切に行い環境整備には努めてまいりましたが、現状のスペースではこれからの図書館として求められている機能を十分に発揮していくことは難しい状況となっております。そこで、開放感のあるガラスエリアから臨む中庭の環境を生かし、デッキスペース等を設ける改修を計画しております。

2 改修内容

図書館内と中庭の行き来が可能な出入口を設置し、中庭の席を飲食等も可能とすることで、本を読みながら飲み物を飲む等ゆったりと過ごせる空間を作ります。また、中庭に出られるようにすることで外部環境との連続的な場づくりを行い、限られたスペースの中でコミュニケーションすることが可能なスペースを設置します。

これは、令和2年3月につくば市図書館懇話会から提言された『ふれあいライブラリーパーク』に基づき、すべての市民が気軽に自由に利用でき、市民の居場所となるような滞在型図書館を目指すために検討いたしました。

3 改修スケジュール

【令和5年度】

- ・中央図書館改修設計委託

【令和6年度】

- ・文化会館アルス外壁改修工事
- ・令和7年度の中央図書館改修工事のための中庭の松の木剪定・養生等

【令和7年度】

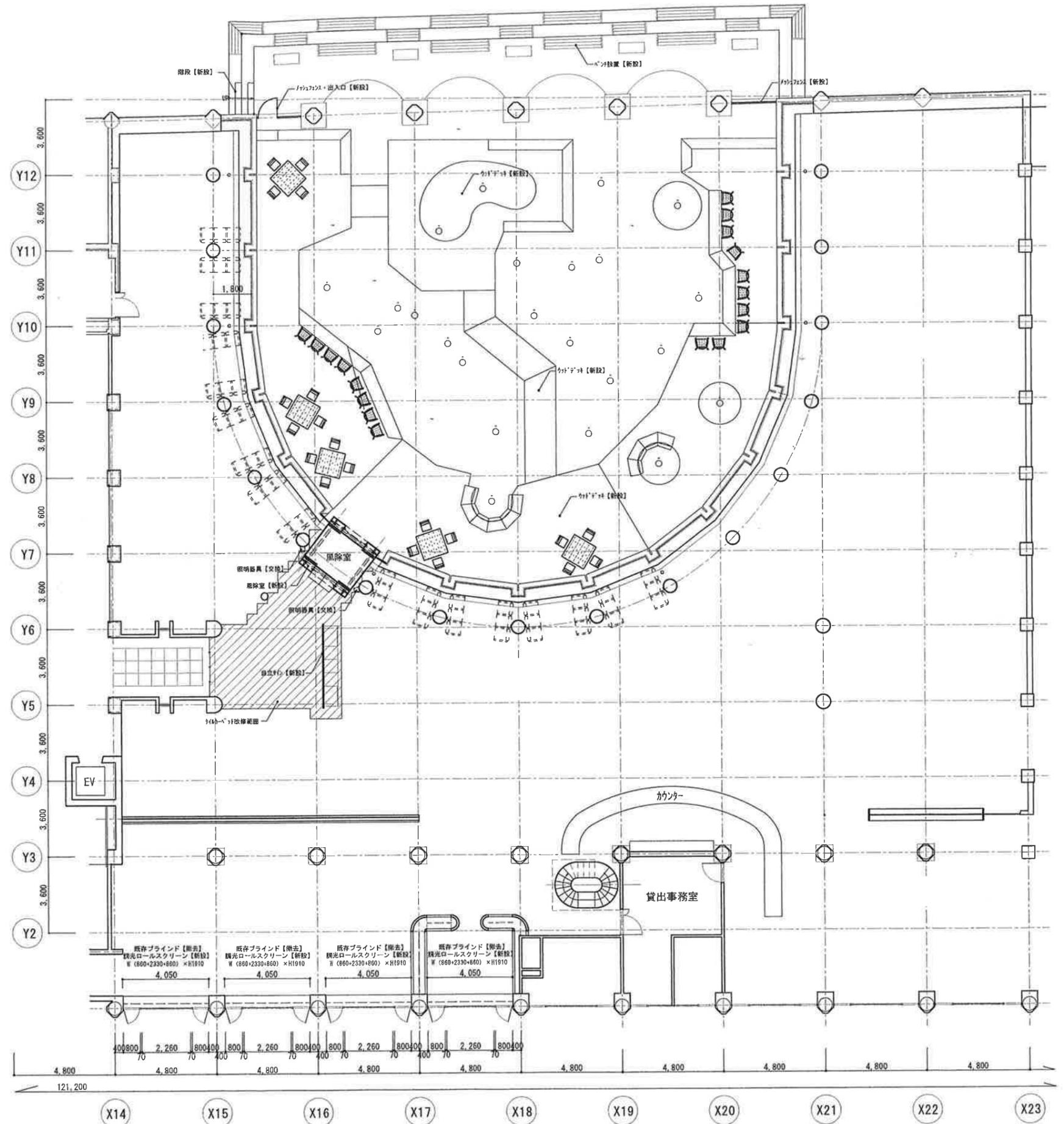
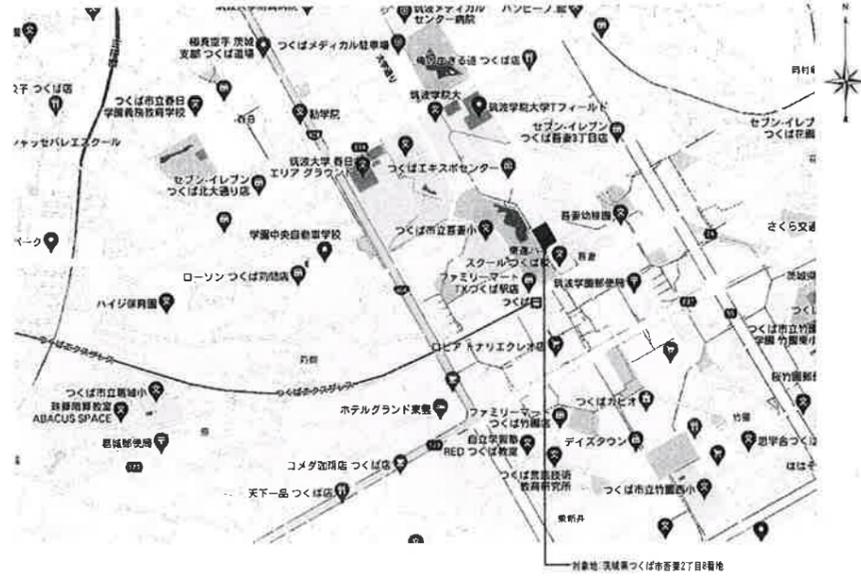
- ・中央図書館改修工事

4 中央図書館改修設計委託 成果物

■ 工事概要

1. 件名 5市単つくば文化会館アルス出入口設置工事
2. 工事場所 茨城県つくば市吾妻2丁目8番地
3. 敷地面積 6,893.126㎡
4. 建築面積 4,075.80㎡
5. 改修面積 6,094.54㎡
6. 工事種目 建築改修工事
7. 工事内容
 1. 仮設工事
 2. 風除室新設に伴う内外装改修工事
 3. 鉄骨工事
 4. ガラス改修工事
 5. 外構改修工事
 6. 電気設備工事
 7. その他改修工事
 8. 産業廃棄物処理

■ 案内図







つくば市立図書館運営上の指標と数値目標(案)

指標の目標年度 令和8年度

評価期間 令和6年度～令和8年度

1 市民サービスに必要な資料を確保し、提供することに関する指標 (4項目)

No.	目標指標	参考値	目標値	目標値の設定理由
		令和4年度実績		
1-1	所蔵資料点数	486,240点	490,000点	利用者の要望や地域の実情に留意しつつ計画的に多様な所蔵資料の整備を図り、図書館サービスの充実を目指す。
指標の説明	中央図書館(自動車図書館を含む。)、オンラインで結ばれている谷田部・筑波・小野川・荊崎の4交流センター図書室(以下、「4交流図書室」という。)及び地域開放学校図書室で所蔵する資料(視聴覚資料・雑誌を含む。)の点数。			
1-2	受入資料点数	24,020点	25,000点	所蔵資料点数は所蔵スペース的に限界値に近いため、蔵書の入替えを有効に行い、図書館サービスの充実を目指す。
指標の説明	中央図書館(自動車図書館を含む。)、4交流図書室及び地域開放学校図書室で受入した資料(視聴覚資料・雑誌を含む。)の点数。			
1-3	個人貸出点数	1,481,648点	1,500,000点	利用者の多様な要求に応えるよう努め、貸出の増を図り、図書館サービスの充実を目指す。
指標の説明	中央図書館(自動車図書館を含む。)、4交流図書室及び地域開放学校図書室での個人への貸出点数(団体貸出を除く。)。			
1-4	視聴覚資料貸出点数	52,270点	70,000点	視聴覚資料は1点当たりの購入が高額となるため、資料の厳選に努めながら計画的に整備し、貸出の増を図り、図書館サービスの充実を目指す。
指標の説明	CD・DVD・VHSビデオ等の視聴覚資料の貸出件数。			
1-5	市民一人当たりの貸出点数	5.9点	6.0点	中央図書館と4交流図書室の連携を図るとともに、自動車図書館を活用し、市民一人当たりの貸出点数の増を図り、市内全域における図書館サービスの充実を目指す。
指標の説明	市民一人当たりに対する中央図書館(自動車図書館含む。)、4交流図書室及び地域開放学校図書室で貸出した資料の点数(1-3 個人貸出冊点数を9/1現在の常住人口で除して算出する。)。			
1-6	電子図書館へのアクセス件数	-	50,000件	所蔵スペース的に書籍での蔵書点数が限界に近いため、電子書籍の充実を図ることで図書館サービスの充実を目指す。また、非来館型サービスを提供することにより利用者の利便性の向上を図る。
指標の説明	電子図書館へのアクセス件数。			
1-7	電子書籍所蔵資料点数	-	3,000点	所蔵スペース的に書籍での蔵書点数が限界に近いため、電子書籍の充実を図ることで図書館サービスの充実を目指す。また、非来館型サービスを提供することにより利用者の利便性の向上を図る。
指標の説明	電子書籍で所蔵する有効資料の点数。			
1-8	電子書籍資料貸出点数	-	15,000点	所蔵スペース的に書籍での蔵書点数が限界に近いため、電子書籍の充実を図ることで図書館サービスの充実を目指す。また、非来館型サービスを提供することにより利用者の利便性の向上を図る。
指標の説明	電子書籍資料の貸出点数と電子書籍資料(読み放題パック)の閲覧点数の合計点数。			

H30年度目標値 R2年度達成率	R3年度目標値 R4年度達成率	現状
490,000点 98.4%	490,000点 99.2%	H30年度以降480,000前後で推移。所蔵スペース的に限界値に近い。昨今は中央・4交流図書室ともに蔵書の入れ替えを図っている状況。 ※電子図書館の取り扱いとは別で検討
-	-	所蔵に対して約5%程度の入替え。 ※電子図書館の取り扱いとは別で検討
1,450,000点 85.3%	1,450,000点 102.2%	R1:1,428,568点 R4:1,481,648点 伸び:53,080点/3年 新設のサービスポイント、人口増(利用者増)による貸出増。 ※サービスポイントでの貸出冊点数含む。 ※電子図書館の取り扱いとは別で検討
85,000点 61.3%	85,000点 61.5%	H24:約110,000点 R1:約70,000点まで減少。 R2・3年度はコロナの影響で約50,000点に減少し、R4年度については個人貸出冊数の回復は見受けられたものの視聴覚資料は回復せず。近年、サブスク等の動画・音楽配信サービスが普及したことで、視聴覚資料の貸出減が著しい。まずはコロナ前の水準まで戻すことを目標とする。
6.0点 84.3%	6.0点 98.3%	20万～30万都市(40自治体)平均5.06点(R4) 日本の図書館2022のデータ参照 ※サービスポイントでの貸出冊点数含む。
-	-	R5.4～R6.1アクセス件数実績:25,496件(年換算:30595点) まずは電子図書館サービスを利用者の方に知ってもらい、アクセス件数1.5倍を目標とする。
-	-	有効資料の点数:2,789点(令和6年1月末時点) 資料の種類により有効期限や閲覧回数制限があるため、常時閲覧可能な有効資料の点数を確保する。 来年度以降有効期限切れの資料が発生してくるため、有効資料の変動を確認していく必要があると考える。
-	-	R5.4～R6.1貸出実績:10,284点(年換算:12,340点) R5.4～R6.1読み放題閲覧実績:951点(年換算:104点) R5.4～R6.1電子書籍資料貸出点数:11,235点(年換算:13,482点) 読み放題パックで購入した資料については貸出点数の統計データに反映されないため、別途算出し合算する。

2 市全体へのサービスに関する指標（10項目）

No.	目標指標	参考値	目標値	目標値の設定理由
		令和4年度実績		
2-1	来館者数	478,875人	580,000人	利用しやすい図書館運営に努め、来館者数の増を図ることで、市民の図書館利用の促進を目指す。
指標の説明	中央図書館に来館した延人数。			
2-2	年間開館日数	285日	293日	利用しやすい図書館運営に努め、年間の開館日数を増やすことで、市民の図書館利用の促進を目指す。
指標の説明	中央図書館の年間開館日数。			
2-3	年間開館時間	2,687時間	2,760時間	利用しやすい図書館運営に努め、年間の開館時間を増やすことで、市民の図書館利用促進と利便性の向上を目指す。
指標の説明	中央図書館の年間開館時間。			
2-4	図書館利用カード利用者数	30,326人	33,500人	利用しやすい図書館運営に努め、より多くの市民に図書館資料の提供を図ることで、市民の図書館利用の促進を目指す。
指標の説明	1年間に図書館利用カードを利用して資料を借りた人数(一人の人が複数回利用した場合は一人と計算。団体貸出除く。)			
2-5	新規登録者数	6,820人	6,500人	転入者や図書館未利用者等に対するPRIに努め、登録者数の増を図ることで、市民の図書館利用の促進を目指す。
指標の説明	新たに図書館利用カードを作成した人数。			
2-6	返却窓口への返却冊数	108,755冊	130,000冊	ブックポストなどを設置し返却ポイントを増やすことで利用者の利便性の向上に努め、市民の図書館利用の促進を目指す。
指標の説明	4交流図書室、サービスポイント、各ブックポストに返却されて回収した図書資料の冊数。			
2-7	予約件数	180,325件	200,000件	図書館窓口のほか図書館ホームページからのインターネット予約の充実を図るとともに、4交流図書室等を活用した迅速な予約本の貸出サービスに努め、市民の図書館利用の促進を目指す。
指標の説明	中央図書館、4交流図書室、自動車図書館及びホームページからの予約受付件数。			
2-8	図書館ホームページへのアクセス件数	580,449件	700,000件	図書館ホームページの内容充実と分かりやすい情報発信に努め、市民の理解と関心を高めることで、市民の図書館利用の促進を目指す。
指標の説明	図書館ホームページへのアクセス件数。			
2-9	図書館情報紙の発行回数	7回	10回	図書館情報紙「ヨモッカ」「子どもヨモッカ」など、市民に親しまれる情報紙を定期的に発行し、市民の理解と関心を高めることで、市民の利用の促進を目指す。
指標の説明	市民向けの図書館情報紙の発行回数。			

H30年度目標値 R2年度達成率	R3年度目標値 R4年度達成率	現状
580,000人	580,000人	R1: 559,798人 R2・3年度はコロナの影響で減少(臨時休館・滞在時間の制限等)。R4年度に回復傾向にあったものの非来館型サービスの電子図書館の導入もあったためコロナ前の水準までは回復せず。R5年2月に閲覧席の増設改修や改修計画にあるように、滞在型図書館としてのニーズに応じていく。
67.8%	82.6%	
293日	293日	近年280～290日で推移。これまで同様、祝日の特別開館日等を継続していくことで開館日の日数増に努めるが、職員数の増や、会計年度任用職員の雇用形態の見直し等が課題となっている。
90.8%	97.3%	
2,760時間	2,760時間	土・日曜日の19時まで開館を継続し利用者の利便性の向上に努めている。
87.8%	97.4%	
33,500人	33,500人	H30年度から30,000人前後で推移。サービスポイントの新設や自動車図書館のステーション増設等で市民利用の促進に努め、図書館の利用拡大を図る。
77.5%	90.5%	
6,500人	6,500人	H30、R4年度のみ目標達成。これまでの統計をみると約6,000人前後で推移しているため、6,500人を恒常的に達成できるように努める。
79.9%	104.9%	
130,000冊	130,000冊	H25: 93,521冊、H29: 111,528冊、R1: 137,388冊と増加傾向にあったが、コロナの影響で貸出冊数の減に伴い返却数も減となった。個人貸出点数は回復してきているため、ブックポスト等のPR及び需要が見込まれる場所への新規設置等を計画し利用促進に努める。
89.5%	83.7%	
120,000件	150,000件	R1: 137,388 R4: 180,325件 伸び: 42,937件/3年 H30から4交流図書室で在架本の予約可能になったことで利用件数が増加。近年のインターネットサービス全般が利用拡大傾向にある。
109.2%	120.2%	
390,000件	390,000件	R1: 363,192件 R4: 580,449件 伸び: 217,257件/3年 これまででは360,000件前後で推移していたが、この2年間で急速にアクセス件数が増加している。インターネットサービスの利用拡大と電子図書館サービスが要因として挙げられ、さらなる需要が見込まれる。
95.3%	148.8%	
6回	8回	「ヨモッカ」年2回、「子どもヨモッカ」年2回、その他「とよかんの本」や「バスファインダー」の発行・改訂を年6件以上を目指し年間発行回数の増に努める。
116.7%	87.5%	

3 高齢者、障害を持った方及び外国の方へのサービスに関する指標（5項目）

No.	目標指標	参考値	目標値	目標値の設定理由
		令和4年度実績		
3-1	大活字本の所蔵冊数	2,797冊	3,000冊	大活字本の計画的な蔵書管理に努め、高齢の方、障害を持った方の図書館サービスの充実を目指す。
指標の説明	大活字本の所蔵冊数。			
3-2	大活字本の貸出冊数	3,028冊	3,300冊	資料の充実とともに、大活字本コーナーの分かりやすい表示やピーアールに努め、高齢の方や障害を持った方への図書館サービスの充実を目指す。
指標の説明	大活字本の貸出冊数。			
3-3	外国語資料の所蔵点数	11,208冊	12,000冊	外国語資料の蔵書数を増やし、多言語サービスの向上を図り、図書館サービスの充実を目指す。
指標の説明	英語、中国語、韓国語をはじめ、中央図書館で所蔵する児童書及び一般書の外国語資料数。			
3-4	外国語資料の貸出冊数	11,206冊	12,000冊	外国語資料コーナーの配架や外国語による揭示等の充実に努め、外国語資料の貸出増を図り、図書サービスの充実を目指す。
指標の説明	外国語資料の年間貸出冊数(児童書と一般書の合計)。			
3-5	点字資料の所蔵点数	246点	270点	点訳資料の作成及び収集に努め、所蔵点数増を図り、障害を持った方への図書館サービスの充実を目指す。
指標の説明	中央図書館のボランティアが作成した点字資料と購入した点字資料の所蔵点数。			

H30年度目標値	R3年度目標値	現状
R2年度達成率	R4年度達成率	
2,700冊	3,000冊	R2年に2,700冊を超え、徐々に増加傾向にある。
101.3%	93.2%	
2,300冊	2,300冊	R1:2,773冊 R4:3,028冊 伸び:255冊/3年 コロナの影響で減少した貸出冊数も回復しR4の貸出数の1割増を目指す。
85.2%	131.7%	
11,000冊	12,000冊	徐々に増加はしているが、目標値は未達成。 所蔵スペースや購入ルート等の課題は残っている。
100.4%	93.4%	
8,500冊	12,000冊	貸出冊数も徐々に増加はしているが、目標値は未達成。
125.6%	93.4%	
230点	250点	R4年度は目標値の250点をおおむね達成。 今後も点字資料の充実を図るため、同じ伸び率で目標修正。
103.0%	98.4%	

4 地域支援サービスに関する指標（3項目）

No.	目標指標	参考値	目標値	目標値の設定理由
		令和4年度実績		
4-1	自動車図書館利用人数	12,316人	14,000人	自動車図書館ステーションの見直しや蔵書の充実を図り、適切な周期の運行に努め、図書館サービスの充実を目指す。
指標の説明	自動車図書館(3台)の年間貸出人数。			
4-2	自動車図書館貸出冊数	43,337冊	55,000冊	自動車図書館資料の充実に努め、利用者のニーズに応じた本を積載して各ステーションを巡回することで、貸出冊数の増を図り、図書館サービスの充実を目指す。
指標の説明	自動車図書館(3台)での年間貸出冊数。			
4-3	相互貸借貸出冊数	1,743冊	1,800冊	利用者が求める資料で中央図書館が所蔵していない資料について、他の図書館と連携して利用者に提供することで、図書館サービスの充実を目指す。
指標の説明	中央図書館が所蔵していない資料で、利用者の希望を受けて他市等の図書館から借受けをして貸出しを行った資料冊数。			

H30年度目標値	R3年度目標値	現状
R2年度達成率	R4年度達成率	
14,000人	14,000人	これまで目標値の14,000人は未達成。
90.8%	88.0%	
55,000冊	55,000冊	これまでの目標値55,000冊は未達成。
80.8%	78.8%	
1,500冊	1,500冊	R3:1,862冊 R4:1,743冊 直近2年は1,800冊前後で推移。R4の貸出数の1割増を目指す。
38.3%	116.2%	

5 課題解決支援、ボランティアとの連携、利用者の情報活用能力に関する指標（3項目）

No.	目標指標	参考値	目標値	目標値の設定理由
		令和4年度実績		
5-1	レファレンス受付件数	1,458件	1,800件	レファレンス能力の向上とレファレンスサービスのピーアールに努め、利用者の情報や知識の獲得、調査研究や調べ学習を支援し、図書館サービスの充実を目指す。
指標の説明	中央図書館カウンター、電話、メール等でのレファレンス受付件数。			
5-2	ボランティア登録者数	156人	160人	より多くの方にボランティア活動に参加していただけるよう、多様なボランティア活動の機会や場所を提供する。また、ボランティアの協力を得ることで図書館サービスの充実を目指す。
指標の説明	中央図書館の各ボランティアに登録した人数(一人で複数のボランティアに登録している場合は一人で算出)。			
5-3	ボランティア活動者数	1,906人	2,200人	多様なボランティア活動の機会や場所を提供することで、市民のボランティア活動を支援するとともに、ボランティアの協力を得ることで図書館サービスの充実を目指す。
指標の説明	中央図書館の各ボランティア活動に参加した年間延人数。			
5-4	ボランティア等によるおはなし会等開催回数	152回	150回	定期的におはなし会等を開催することで、本に関する関心を高め、読書推進を目指す。
指標の説明	図書館ボランティア・図書館職員が実施したおはなし会・ブックトーク・パネルシアター等の開催回数。			

H30年度目標値	R3年度目標値	現状
R2年度達成率	R4年度達成率	
1,800件	1,800件	これまで目標値の1,800件は未達成。 図書館情報誌や館内掲示含め、レファレンスサービスの周知に努めていく。
77.2%	81.0%	
160人	160人	R4年度は目標値の160人をおおむね達成。 近年は160人弱で推移している。ボランティアの人数は十分に確保できているが、図書館サービスや利用者ニーズの変化に伴い新たなボランティアの活動の必要性を適宜検討していく必要あり。
93.8%	97.5%	
2,200人	2,200人	これまで目標値の2,200人は未達成。
45.7%	86.6%	
100回	100回	月1回大人のためのおはなし会、外国語によるおはなし会、ロボットによるおはなし会等、様々な形式のおはなし会を実施することで150回を目指す。
23.0%	152.0%	

6 学校図書館等支援に関する指標（6項目）

No.	目標指標	参考値	目標値	目標値の設定理由
		令和4年度実績		
6-1	団体貸出利用回数	126回	200回	団体貸出についてのピーアールに努め、学校や公共機関等の団体貸出利用団体の増を図り、学校等における読書活動の推進を目指す。
指標の説明	団体貸出を利用した団体の延利用回数。			
6-2	団体貸出図書冊数	8,187冊	15,000冊	団体貸出についてのピーアールに努め、学校や公共機関等への団体貸出しの利用増を図り、学校等における読書活動の推進を目指す。
指標の説明	保育所・幼稚園・小学校・児童クラブ・福祉施設等の団体に対しての図書貸出冊数(1回につき、1団体300冊まで3か月間貸出可)。			
6-3	社会科見学等の図書館見学受入回数	6回	10回	読書活動の普及を図るため、受入体制の充実に努め、読書活動の推進を目指す。
指標の説明	保育所・幼稚園・小学校・義務教育学校・特別支援学校等による図書館見学の受入回数。			
6-4	職場体験学習受入人数	16人	40人	読書活動の普及を図るため、図書館の受入体制の充実に努め、読書活動の推進を目指す。
指標の説明	8年生(中学。2年生)を対象とした職場体験の場として、中央図書館で図書館業務の体験学習を受け入れた生徒の人数。			
6-5	ジュニア図書館員受入人数	0人	75人	読書活動の普及を図るため、図書館の受入体制の充実に努め、読書活動の向上を目指す。
指標の説明	4年生から6年生を対象にした図書館の業務体験事業に参加した児童数。			
6-6	学校図書館司書教諭補助員等の研修参加人数	51人	170人	学校図書館との連携を強化し、司書教諭や司書教諭補助員の研修等を支援することで、読書活動の推進を目指す。
指標の説明	学校図書館司書教諭補助員及び司書教諭等を対象に実施される研修の延参加人数。			

H30年度目標値	R3年度目標値	現状
R2年度達成率	R4年度達成率	
150回	200回	これまでの目標値200回は未達成。貸出冊数15,000冊を達成するため、前回と同様の数値を目標とする。
68.7%	63.0%	
15,000冊	15,000冊	これまでの目標値15,000冊は未達成。
46.1%	54.6%	
10回	10回	新型コロナウイルス感染症の流行以降、中央図書館及び各施設においても実施の可否を検討している段階であるため、現状維持の目標値とする。
0.0%	60.0%	
40人	40人	新型コロナウイルス感染症の流行以降、中央図書館及び各施設においても実施の可否を検討している段階であるため、現状維持の目標値とする。
0.0%	40.0%	
75人	75人	新型コロナウイルス感染症の流行以降、中央図書館及び各施設においても実施の可否を検討している段階であるため、現状維持の目標値とする。
0.0%	0.0%	
170人	170人	新型コロナウイルス感染症の流行以降、研修の実施形式の変化がある。対面以外の方法を検討しながら多くの方が参加できるように努める。
0.0%	30.0%	

7 市民満足度に関する指標（1項目）

No.	目標指標	参考値	目標値	目標値の設定理由
		令和4年度実績		
7-1	利用満足度調査の満足度	90%以上	80%以上	図書館利用者の満足度を把握し、利用者の声をサービスに反映させることで図書館運営の向上を目指す。
指標の説明	年度末に、中央図書館内で利用者に対して図書館サービスについて満足しているかどうかの調査を実施する。			

H30年度目標値	R3年度目標値	現状
R2年度達成率	R4年度達成率	
80%以上	80%以上	
106.9%	112.5%	

電子図書館の統計

1 令和5年度電子図書館の利用統計

令和5年度の電子図書館のアクセス者数は4,401人となっています。図書館利用カードの登録者数42,375人（つくば市の図書館概要参照）に対して1割程度の利用となっています。電子図書館サービスの提供開始から1年が経過し、図書館情報紙等を用いて電子図書館について周知を図ってきました。引き続き電子図書館サービスの周知や電子書籍コンテンツの充実を図り、電子図書館サービスの利用促進に努めてまいります。

所蔵点数や貸出点数については、令和5年3月末時点での所蔵点数1,468点、貸出点数6,586点（1,097点/月）と比較して増加していますが、引き続き継続的に利用状況を検討していくことで利用傾向の把握に努め、電子書籍の選書や購入方法の検討の資料として図書館運営に活かしていきます。

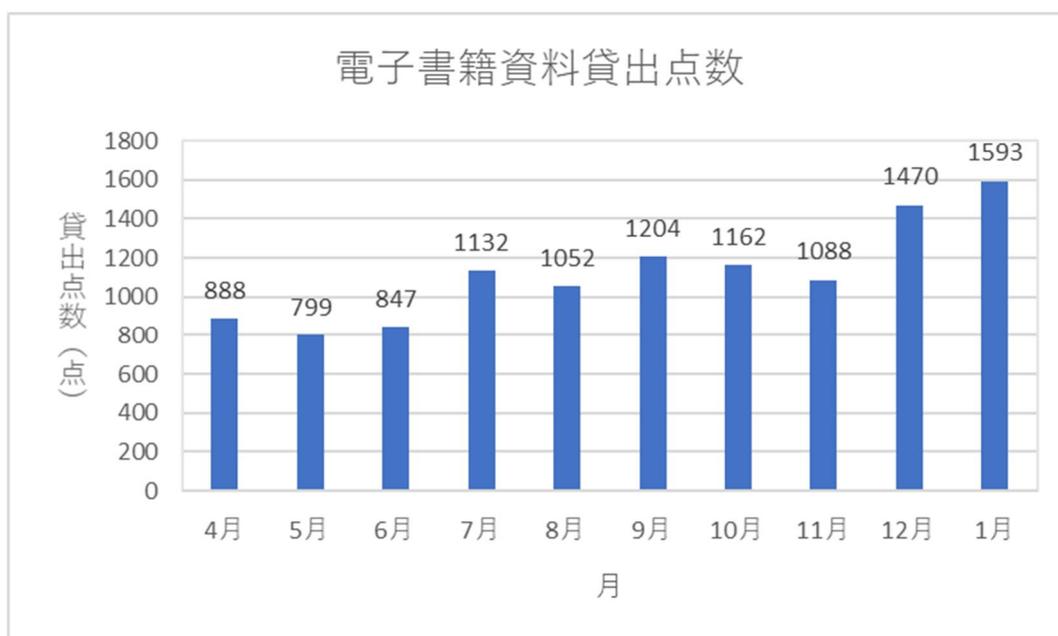
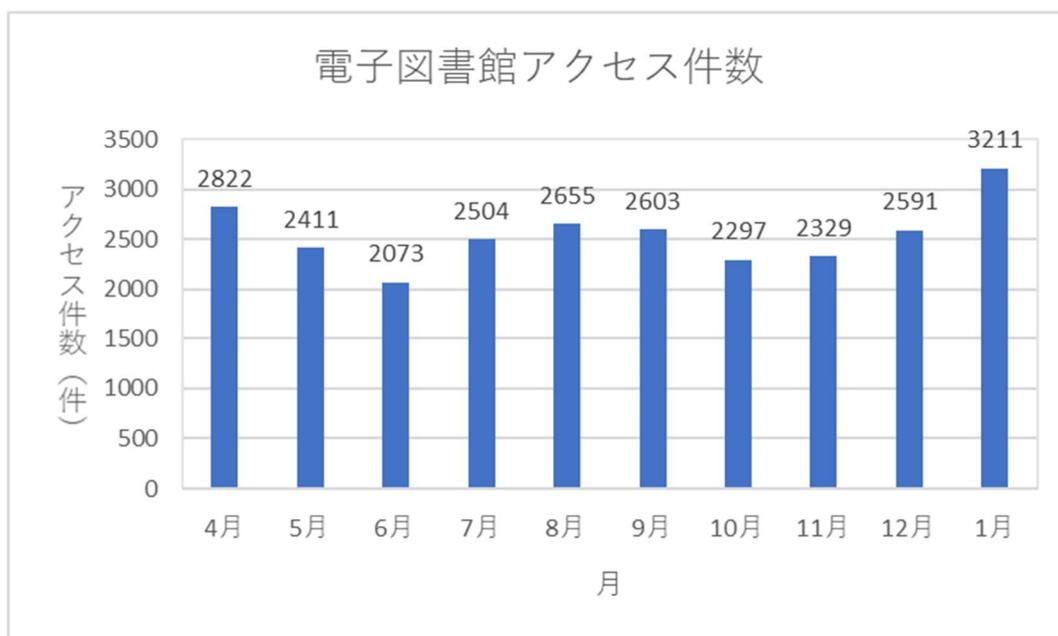
	アクセス者数	総アクセス件数	所蔵点数	資料貸出点数
2023.4 ～ 2024.1 累計数	4,401人	25,496件	2,789点	11,235点
月平均	440人/月	2,550件/月	-	1,124点/月
アクセス者数 一人当たり平均	-	5.8件/人	0.6点/人	2.6点/人

(2024年1月31日時点)

2 電子図書館の月別利用状況

月別の利用状況として、アクセス件数は月2,500件前後で推移しており、資料貸出点数は徐々に増加傾向となっています。

以上のことから、月毎のアクセス件数に多少のバラつきはあるものの電子図書館へのアクセスが実際に電子書籍の貸出に繋がっていると考えます。



ヨモツカ yomocca

公園通りの図書館通信
2024年(令和6年)2月発行 No.20
発行：つくば市立中央図書館

Health & Reading 健康と読書

本を読むと健康にならってほんとうですか？！

■ はじまりは、「NHKスペシャル AIに聞いてみた どうすんのよ? ニッポン」(2018年放送)という番組でした。NHKが独自開発したAIひろしに「健康寿命をのばすには?」と聞いたところ、なんと、「本や雑誌を読むこと」と答えました。この意外にもうれしい答えにざわついたのです。「あれ見た?」「どういうことかな?」と。■ そこで調べてみると……、健康と読書を関係づける様々な情報が見つかりました。たとえば「読書する人はしない人より長生きする」という米イェール大学の研究や、世界のあちこちで昔から「読書療法」というものが行われていたことなどです。たしかに、読書は「読むビタミン」といえるそうです。

■ 今回ヨモツカは20号になりました。そこで中央図書館の司書に声をかけ、健康に大切な左の3つのテーマのもとに心に響いた本を挙げてもらいました。司書の肉声コメントとともにお届けしますのでどうぞ中を開いてみてください。

特集 たしかに小説を読むと元気がなったり泣けたりするね

脳に効く
体に効く
心に効く

図書館にいくだけでも運動になりそう
本を読むと、想像したり、知らないことを覚えたり、脳が動いている気がします
新聞とか雑誌を読んだり、散歩の気分が本棚をぶらぶらすのもいいかも……

「読書が好き」という方も、「最近あまり本は読まないな」という方も、健康と読書という言葉がなかなか結び付かないと思う方は多いかもしれません。家の中で本を読んでいるだけで健康というのは、ちょっと難しいのかな? そんなうまい話ないかも……。でも本当にそうでしょうか? 誰かと話すようにエッセイを読む。旅をしたつもりで旅行の本を読む。野草の本を読んだら、思わず外へ探に出る。さまざまなお本には「世界」が詰まっています。今ここにはないその刺激こそ、本が持つ私たちへのすばらしい効果。あなたが読みたいと思った本。どんな本も大正解。読書で健康になつてみませんか? ヨモツカ編集長

- 記事
- 司書おすすめ 脳に効く本・体に効く本……2面
 - 司書おすすめ 心に効く本 / コラム: 読書療法・回想法・音読・研究結果……3面
 - クスツと解決! 脳トレ『お探しの本は?』 / おたのしみ「本占い」……4面
 - 令和6年度雑誌スポンサー募集……4面

つくば市立中央図書館 HP

Webから本の検索ができます。イベント情報や、図書館情報誌「ヨモツカ」も掲載中。

<https://www.city.tsukuba.lg.jp/kankobunka/bunka/toshokan/index.html>

ポケットに図書館を! 電子書籍のご案内

▶ スマホやパソコンの画面で気軽に本が読める“電子書籍”をご利用ください。詳しくは、右のQRコードから。

<https://www.city.tsukuba.lg.jp/kankobunka/bunka/toshokan/1018711.html>

こんな本はいかが?
おたのしみ「本占い」

あおのくすり あかのくすり みどりのくすり

すきなくすりを選んで4面どうぞ。

クスツと解決! 脳トレ 『お探しの本は?』

誰かが忘れていったメモ用紙。本の題名のようなものが書かれています。どんな本を探していたのでしょうか。※ 答えはこの面の右下にあります。

【例題】

ハンドバック
ヒント 第128回芥川賞受賞作

お探しの本は?
□□□□□□□□

ハンチバック
市川沙央/著

ハリー・ポッターとナツのプリンス
お探しの本は?
□□□□□□□□

沈まぬ太郎
ヒント ドラマ化されました

お探しの本は?
□□□□□□

蜂蜜と遠雷
ヒント 映画化されました

お探しの本は?
□□□□□□

カラマー族の兄弟
お探しの本は?
□□□□□□

※ 選択肢は1面右下にあります。好きなものを選んで、上下をひっくり返して見てね。

おたのしみ「本占い」

あおのくすり
あかのくすり
みどりのくすり

今、自信をなくしていませんか? 「私なんだから、ちよと投げやりな人生を味わって……」と、心静めた外の刺激を味方になっていく。前を向いて人生を生きる。自分なりのペースで生きていく。心の中がスッキリと始まった。ここから人生のターニングポイントになるかも。おすすめの本: スパリ、今気になる。おすすめの本: なかなか気持ちよさそう。おすすめの本: 散歩にはせひ、文庫本やハンドブックをお供にしてみましょう。少し疲れたときは、本の世界で休憩して。図鑑なすのハンドブックは、気になったものから世界を広げるのに役立ちます。

令和6年度 雑誌スポンサーを募集します

スポンサーになっていただける企業・個人の事業所・団体等を募集します。雑誌の最新号カバー等にスポンサー名および広告を掲出いたします。

スポンサー料 15,000円/年(年度途中からは月額1,250円で年度末まで)

認定期間 令和6年4月1日～令和7年3月31日(更新可能)

受付 令和6年2月20日～随時募集 ※ 詳しくは図書館HPをご確認ください。

令和5年度 雑誌スポンサー (令和5年11月現在)

イセファーム株式会社
新刊絵本と中古本の店 えほんや なすな
かなめ測量株式会社

Style Shop interior
Kids Creation TSUKUBA
さくら学園 SAKURA Gakuen
atelier コーミュ

ラボ整理研究室
アカデミックエクスプレス株式会社
つくば電気管理事務所
つくばワールド 行政書士事務所

つくば市立中央図書館

開館時間 9:30～19:00 ※特別開館日は17:00閉館
休館日 月曜日・祝祭日・年末年始・その他館内整理日
住所 つくば市吾妻2-8 電話番号 029-856-4311

駐 車 場 北2・南2駐車場の駐車券持参で2時間無料
自 転 車 駐 車 場 中央図書館南: 駐車証明書持参で1日サービス券有り
中央公園東・中央図書館西: 2時間まで無料

脳トレの答え

「ハリー・ポッターとナツのプリンス」 山崎豊子/著
「蜂蜜と遠雷」 J.K.ローリング/著
「沈まぬ太郎」 山崎豊子/著
「カラマー族の兄弟」 田島雄三/著

難しい本だけが、脳に効く訳ではありません。

脳トレがわりにこんな本はいかが？

司書おすすめ

脳に効く本



朗読は脳と心を活性化させることがわかっています。作品ごとに紹介と解説があり、読むとすぐに朗読を実践できます。(I)



本を読むと、こんなにイイことが!



効用



- 脳を若く保つ
「認知能力の衰退」が遅くなる
共感や想像が脳に良い
認知症の発症リスクが低減される

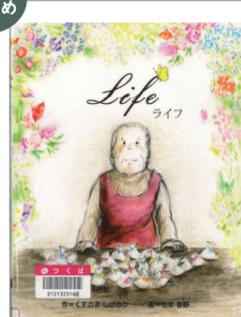
絵本特集!心を動かしてみませんか?

読書は最高のリラクセス法!



司書おすすめ

心に効く本



絵本に登場するお店の「ライフ」は、だれかが何かを置いていき、そして何かを持って帰るお店です。このお店に登場する人物を通して、人と関わりながら生きていくことを改めて実感しました。目に見える効率を追い求めるだけでなく、目に見えないものも大切だと、気づかされました。優しい絵のタッチが、しみりと心にしみわたります。(I)



効用



- ストレスを軽減する
情緒を発達させる
楽しむ読書は幸福度を高める
読書は最高のリラクセス法

『やこうれっしゃ』

E/三



西村繁男/さく (福音館書店)

上野から金沢へ向かう夜行列車の中を描写している字のない絵本。読むと、こんなだったと懐かしくなります。絵本によって昔を思い出すと脳が活性化するそう。(S)

『嘘つきアーニャの真っ赤な真実』

914.6/三



米原万里/著 (角川書店)

東欧で幼い頃を過ごした著者が、成長してその頃の親友を訪ねる話。激動の時代を感じるノンフィクションで想像力を刺激します。(A)

『脳を鍛えるブロックおりがみ』



大原まゆみ/著 横井賀津志/監修 (誠実堂新光社)

本を読んで作り方を学び、実際に指を動かして作り、美しさに感動することで楽しく脳が刺激されそう。(N)

『NHK理想的本箱』

019.9/エ



幅允孝/著

NHK「理想的本箱」制作チーム/著 (NHK出版)

「将来が見えない時に読む本」「もっとお金が欲しいと思った時に読む本」など、人生で悩み多き季節を生きる人たちへ。(R)

『「名前が出てこない」「忘れっぽくなった」人のお助けBOOK』

498.3/力

もの忘れがどうして起き、どう対処すればよいのかを解説してくれます。日常生活の中でできることがたくさん紹介されています。(O)

『小さな恋のものがたり』

726.1/三



みつはしちかこ/著 (学研)

スマイルのように小さな高校生チックと、のっぽのサリーとの恋ものがたり。トキメキを思い出すのも脳によいそうです。(S)

本ってこんなに、健康について教えてくれるんです

司書おすすめ

体に効く本



水の大切さに目覚め、軟水、硬水...いろいろあるけれどどんな水がいいの?と迷っているときに出会った本です。著者の藤田紘一郎先生は『笑うカイチュウ』で知っていたので読んでみることに。以来、自分なりに水を飲むことができるようになりました。やはり「知識」はすごいです。(T)



本は体のサプリメント!



効用



- 図書館へ足を運ぶだけで、運動になり健康に良い
読書は睡眠への導入としても体に良い

『SLEEP 最高の脳と身体をつくる睡眠の技術』

498.3/ス

ショーン・スティーブンソン/著 花塚恵/訳 (ダイヤモンド社)

睡眠は、健康な生活をおくるうえでかせないものです。良質な睡眠をとるためには何が必要か教えてくれます。(N)

『自分で治せる!腰痛改善マニュアル』

493.6/マ

ロビン・マッケンジー/著 銅冶英雄/訳 岩貞吉寛/訳 (実業之日本社)

急な腰痛が出たとき、これを読んで何とかしました。(I)

『ロングブレスの魔法』

498.3/三

美木良介/著 (幻冬舎)

お腹を引っ込めたまま、強く長い呼吸を繰り返すだけの簡単な呼吸法ですがかなり疲れます。続ければ効果がありそう。(I)

『時をかけるゆとり』

914.6/ア

朝井リョウ/著 (文藝春秋)

直木賞作家、朝井リョウの大学生時代を描いた切なくもおかしい爆笑エッセイ。“笑い”で体を元気にしましょう。(M)

棚をぶらぶら見てみよう

棚に並んだ本を見るだけでも、いろいろな発見があります。

以下は、脳や体、心に効くおすすめの分類です。ぜひ、ご自身で好みの本を探してみてください。

- 019 : 読書、読書法
494.7 : 運動療法 (492.5)
498.3 : 健康法
498.5 : 栄養学、食事療法
700 : 美術
781 : 体操
911.1 : 短歌
911.3 : 俳句

読書療法



読書が体にいいって本当?

こんなふうに読書が利用されています



回想法



音読



研究結果



音読が認知機能の低下予防に効果的であることをご存知でしょうか?

音読はまず文字を目で見て、そして音の言葉に変換して口から出力しなければなりません。このとき前頭葉の補足運動野、顔や口の筋肉に指令を出す運動野、言葉をつくり出すブローカ野などを働かせる必要があります。つまり音読は脳の多くの場所を使う活動であるため、認知機能低下予防に効果的だと言われています。

読書が体にいいという研究はあちこちで見られます。たとえば、シカゴにある世界的に有名な米ラッシュ大学医療センター病院は、成人が休憩時間などに読書のような知的行為を行うと、認知能力の衰退が32%も遅くなるという研究結果も報告しています。また、読書をする人はアルツハイマー病になる比率が低くなるという研究結果もあります。

このように、読書が心身によいということが科学的にも証明されているのです。

【参考文献】

- 『読む薬 読書こそ万能薬』五十嵐良雄/著 日本読書療法学会/監修(アチーブメント出版)
『回想脳 脳が健康でいられる大切な習慣』瀧靖之/著(青春出版社)
『回想のすすめ 豊潤な記憶の海へ』五木寛之/著(中央公論新社)
『認知症予防におすすめ図書館利用術-フレッシュ脳の保ち方』結城俊也/著(日外アソシエーツ)

百科じてんクイズにちょうせん!

赤字のことはを百科じてんでしらべて、答えを見つけよう。



Q1.魚の**アユ**は、何に似た香りがする?

Q2.**けん玉**は、どこの国から伝わった?



※答えは下にあります。



ジュニア図書館員にもちょうせんしてもらいました!

ジュニア図書館員には、百科じてんをつかったビンゴにちょうせんしてもらいました。チームごとのたいせんで、もり上がっていました!



※ジュニア図書館員とは…
夏休みに小学校5・6年生をたいしょうに、
図書館のうらがわツアーや、調べものなどのたいけんをしてもらったイベントです。



ぶんちゃんは何びきいたかな? 答えは6びき!

百科じてんクイズの答え:A1.スイカ A2.中国

小学生向け情報紙 (じょうほうし)



せ
背・つめ・はしらってなんだろう?

みなさんは、百科じてんをつかったことがありますか?

百科じてんは、たくさんのじょうほうがのっていて、しらべものをするのにとてもべんりな本です。

百科じてんを上手につかうには、“せ背・つめ・はしら”がポイントになります。

つぎのページでは、つかい方をお伝えします!

ぼく、ぶんちゃん!
ぼくが何びきいるかさがしてね!



はっこう

しりつ ちゅうおう としょかん

発行: つくば市立中央図書館 令和5年(2023年)12月

せ 背・つめ・はしらってなんだろう？

「百科じてん」は
どんな本？

百科じてんは、あらゆることの
せつめいがのっている本です。
何か知りたいときに、いちばん
さいしょは百科じてんをひいて
みましょう。

(「ひく」は「さがす」ことです)



じゅん
あいうえお順で
ならんでいる

百科じてんは、ものや、できごとを
「あいうえお」^{じゅん}順でならべています。



れい：【うみがめ】をひいてみると…??

①
せ
「背」を
みる

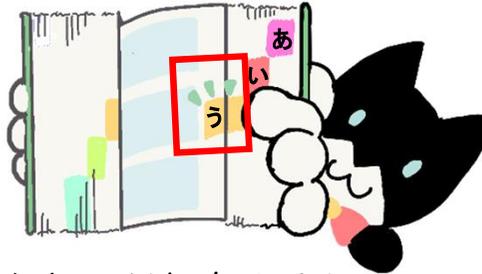


本のせなかのところを「背」
といいます。

「背」に1と書いてある本を
1かんとよびます。

①「うみがめ」の「う」は1か
んに入っているね

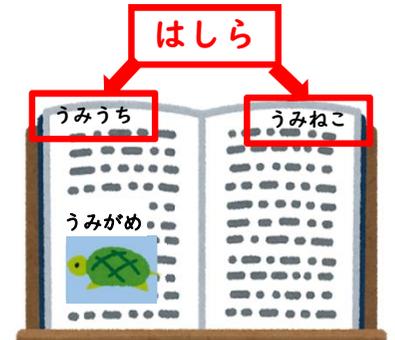
②
「つめ」は
どこ？



「背」のはんたいがわをみると、
色のマークがついています。ここ
を「つめ」といいます。
このオレンジのところはみんな
「う」で、はじまることばです。

②「う」ではじまる「うみがめ」は、
オレンジの「う」に入っているね

③
「はしら」を
つかおう



ページの上のところに、ひらがなが
ついています。これは「はしら」と
いって、左のページのはじめの
ことばと、右のページのさいごの
ことばが書かれています。

③「うみうち」と「うみねこ」の間
に「うみがめ」が書いてあるね